

●印鑑届ニ關スル件

昭和四年二月八日助役通牒

庶務課長宛

印鑑條例ノ實施ニ付テハ常ニ御注意相成居ルコト、存候ヘ共
特ニ左ノ點ニ付御配意相成度候

記

一、條例第三條ニ依リ證人ヨリ代理届ヲ爲シタル場合ハ其ノ
届書ニ押捺シタル證人ノ印鑑カ豫メ届出テ居レル印鑑ト
相違ナキコトヲ確認シタル上ニアラサレハ之ヲ受理セサ
ルコト

●佐世保市廳舍設備使用規程

昭和九年十月二十三日告示第百六十五號

第一條 本市廳舍設備目的外ノ使用ハ本規程ノ定ムル所ニ依
ル
第二條 市廳舍ノ設備ハ左ノ各號ノ一ニ該當シ市長ニ於テ管

理上支障ナク且特別ノ必要ニ基クモノト認メタル場合ニ非
ラサレハ之カ使用ヲ許可セス

- 一、教育ニ關スル諸集會
 - 二、兵事ニ關スル諸集會
 - 三、産業ニ關スル諸集會
 - 四、衛生ニ關スル諸集會
 - 五、慈善ニ關スル諸集會
 - 六、其ノ他公共又ハ公益ヲ目的トスル諸集會
- 第三條 市廳舍ノ設備ヲ使用セムトスル者ハ別記様式第一號
ニ依ル申請書ヲ使用セムトスル日ノ前日迄ニ市長ニ提出シ
豫メ其ノ許可ヲ受クヘシ其ノ事項ヲ變更セムトスルトキ亦
同シ
- 第四條 設備使用ヲ許可スル者ニ對シテハ別記様式第二號ノ
許可證ヲ交付ス其ノ變更ヲ許可スル場合亦同シ
- 第五條 設備使用時間ハ市役所ノ執務時間ニ依ル其ノ期間ハ
引續キ三日ヲ超ユルコトヲ得ス但シ市長ニ於テ特別ノ事由
アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 第六條 左ノ各室ハ使用ヲ許可セス
- 一、市カ執務上常ニ使用セル室
 - 二、市カ期限ヲ定メ貸付中ノ室

〔佐世保市例〕

〔佐世保市例〕

三、貴賓室、市長及助役應接室、新聞記者室、正副議長室
第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ市長ハ其ノ使用條件
ヲ變更シ使用ヲ停止シ又ハ許可ヲ取消スコトアルヘシ之カ
爲損害ヲ生スルコトアルモ市ハ其ノ責ニ任セス

- 一、本規程及使用許可ノ條件ニ違反シタルトキ
- 二、市長ニ於テ必要アリト認ムルトキ

第八條 使用室内ニ於テハ左ノ行爲ヲ禁ス

- 一、喧噪ニ互ル行爲
- 二、指定ノ場所以外ニ於ケル喫煙
- 三、其ノ他市長ニ於テ指示シタル事項

第九條 市廳舍設備使用ニ關シテハ物品ヲ販賣シ會券ヲ發行
シ入場料又ハ之ニ類スル金錢ヲ徵收スルコトヲ得ス

第十條 市廳舍内ニ於テハ電燈以外ノ燈火ヲ使用スルコトヲ
得ス但シ電燈ニ故障ヲ生シ點火セサル場合ハ臨時ニ蠟燭ヲ
用フルコトヲ得

第十一條 使用ノ許可ヲ受ケタル物品ハ之ヲ市廳舍外ニ持出
シ使用スルコトヲ得ス

第十二條 使用者ハ市長ノ許可ヲ得テ自己ノ費用ニ依リ臨時
ニ特別ノ設備ヲ爲スコトヲ得

第十三條 市長ハ使用ノ許可ニ際シ火災豫防危害又ハ損傷防

第五類 職制及廳規 第六節 雜ノ部

- 止ノ爲メ必要ナル施設ヲ命ジ又ハ集會人員ヲ制限スルコト
アルヘシ
- 第十四條 使用ノ許可ヲ受ケタル者ハ市長ノ承認ヲ經ルニア
ラサレハ之ヲ轉貸スルコトヲ得ス
- 第十五條 使用者ハ市長ニ於テ定メタル室ノ使用料ノ外電
燈、電話、水道、暖房、電力、瓦斯等ノ費用及備付物品ノ
貸付料ヲ前納スヘシ但シ官公署學校等ノ使用又ハ市長ニ於
テ特別ノ事由アリト認ムル場合ハ使用後納入スルコトヲ得
- 第十六條 公用ニ供シ又ハ公益ヲ目的トスルモノニシテ市長
ニ於テ特別ノ事由アリト認ムル場合ハ前條ニ依ル費用ヲ減
免スルコトヲ得
- 第十七條 使用者市外電話ヲ使用スル場合ハ係員ノ許可ヲ受
クヘシ
- 第十八條 此ノ場合ニ於ケル通話料ハ直ニ係員ニ預託スヘシ
既納ノ料金及費用ハ之ヲ還付セス但シ左ノ各號ノ
一ニ該當スルトキハ其ノ金額又ハ一部ヲ還付スルコトアル
ヘシ
- 一、不可抗力ニ因リ使用シ能ハサルトキ
- 二、第七條ニ依リ市長ニ於テ必要ト認メ其ノ使用ヲ停止シ
又ハ許可ヲ取消シタルトキ

三、使用前日迄ニ使用ノ取消又ハ變更ノ申出ヲ爲シ市長ニ於テ相當ノ事由アリト認ムルトキ

第十九條 使用者ハ其ノ使用中建物又ハ附屬物若ハ備品等ヲ毀損或ハ滅失シタルトキハ何人ノ所爲タルヲ問ハス市長ニ於テ定メタル損害額ヲ賠償スヘシ

第二十條 使用者其ノ使用ヲ終リタルトキ、使用ヲ停止セラレタルトキ又ハ使用許可ヲ取消サレタルトキハ使用室及設備ヲ原狀ニ復シ清掃ノ上市長ニ之ヲ引渡スヘシ之ニ要スル費用ハ使用者ノ負擔トス

第二十一條 使用者前二條ノ義務ヲ履行セサルトキハ市長ニ於テ之ヲ執行シ其ノ費用ヲ徵收ス

第二十二條 使用者ハ係員ノ指示其ノ他揭示事項ヲ遵守スヘシ

附則

本規定ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
別記様式第一號

- 一、使用ノ日時 年 月 日 自 時 至 時
- 二、使用ノ目的
- 三、使用室ノ種別及設備

四、使用物品ノ種類及數量

五、集會人員數

六、其ノ他

佐世保市應舍設備使用規程及市長ノ指示事項遵守可致候間使用御許可相成度此段及申請候也

年 月 日

住所

職業

氏

名

佐世保市長 殿

別記様式第二號

佐世保市應舍設備使用許可證

一、使用者氏名

二、使用ノ目的

三、使用ノ日時

四、使用室ノ種別及設備

五、使用物品ノ種類及數量

六、其ノ他

右許可ス

年 月 日

佐世保市長 印

〔佐世保市例〕

使用心得

一、本許可證ハ使用ノ際常ニ携帯シ係員ノ要求アル場合ハ何時ニテモ提示セラル、コト

二、市應舍ノ内外ニ特ニ設備ヲ施サル、場合ハ係員ノ指揮監督ヲ受ケラル、コト

三、下足(靴ヲ除ク)ノ儘入場スルコトヲ得サルコト

四、使用許可ヲ受ケラレタル物品ハ之ヲ市應舍外ニ持出シ使用セサルコト

五、釘付又ハ貼紙等ニテ建物其ノ他ノ物件ヲ毀損セラレサルコト

六、杖傘類ヲ其置場以外ニ置キ又ハ室内ニ携帯セラレサルコト

七、睡壺以外ニ痰唾ヲ吐キ又ハ灰吸器及煙草盆以外ニ煙草ノ吸殻ヲ棄ツル等ノ所爲アラサルコト

八、使用中猥リニ室内其ノ他庭園等ニ塵芥又ハ物品ヲ散亂セシメラレサルコト

九、空室ト雖使用許可以外ノ室内ニ立入ラサルコト

一〇、備付ノ外ニ火氣ヲ使用セサルコト但シ特ニ許可ヲ得タル場合ハ此ノ限りニアラス

第五類 職制及應規 第六節 雜ノ部

●佐世保市工作物使用規則

昭和五年十月二十七日告示第百八十三號

第一條 市長ニ於テ管理スル建造物等ヲ廣告設備ノ爲一時使用セムトスルトキハ別段ノ定メアルモノ、外本規則ニ依ルヘシ但シ特別ノ廣告ニ限り長期ノ設備ヲ許可スルコトアルヘシ

第二條 前條工作物ヲ使用セムトスル者ハ其ノ期間及使用方法ヲ詳具シ市長ノ許可ヲ受クヘシ

第三條 使用ノ許可ヲ受ケタル者ニシテ廣告設備ヲナス場合

ハ工作物ノ體裁ヲ害フカ如キコトナキ様注意スヘシ

第四條 左記各號ノ一ニ該當スル者ニ對シテハ其ノ使用ヲ許可セス

一、公序良俗ヲ害スト認ムルモノ

二、風致ヲ害スルモノ

三、工作物ニ障害アリト認ムルモノ

四、清潔保持上有害ナリト認ムルモノ

五、其ノ他市長ニ於テ許可スヘカラスト認ムルモノ

第五條 使用期間満了ノ際ハ直ニ設備ヲ撤廢シ原狀ニ復スヘシ

此ノ場合ニ於テ使用者其ノ義務ヲ怠リタルトキハ市長ニ於テ之ヲ施行シ其ノ費用ヲ辨償セシム

第六條 第二條ノ許可ヲ受ケスシテ廣告ノ設備ヲ爲シタルモノアルトキハ市長ハ任意之ヲ撤廢スルコトアルヘシ此ノ場合損害ヲ生スルコトアルモ其ノ賠償ノ責ニ任セス

第七條 使用中工作物ヲ汚損又ハ毀損シタルトキハ市長ハ損害金額ヲ定メ之ヲ賠償セシムルコトアルヘシ此ノ場合使用者ハ市長ノ定メタル損害金額ニ對シ異議申立テナスコトヲ得ス

第八條 使用ノ方法適當ナラスト認ムルトキ又ハ本市ニ於テ

臨時必要ヲ生シタルトキ若ハ許可後第三條及第四條該當ノ事實アリト認メタルトキハ其ノ一部又ハ全部ノ許可ヲ取消スコトアルヘシ此ノ場合使用者ニ損害ヲ生スルモ市ハ其ノ賠償ノ責ニ任セス

第九條 本則違反者ニ對シテハ爾後ノ使用ニ付許可セサルコトアルヘシ

附則

第十條 本則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十一條 從來既ニ廣告設備ヲ爲セル者ニ在リテハ本則施行ノ日ヨリ十日以内ニ所定ノ手續ヲ爲スコトヲ要ス

前項ノ手續ヲ怠ル者アリタルトキハ市長ニ於テ之ヲ撤去スルコトアルヘシ此ノ場合使用者ニ損害ヲ生スルコトアルモ其ノ賠償ノ責ニ任セス

佐世保市書類送達ニ關スル條例

昭和七年三月二十三日議決
昭和七年四月二十日告示第三十四號

第一條 本市ノ管理ニ屬スル道路堤塘其ノ他公共ノ用ニ供ス

〔佐世保市例〕

ル土地又ハ營造物ノ使用若クハ占用ニ關スル書類及使用料ノ告知督促ノ書類ハ使用者若クハ占用者ノ住所又ハ居所ニ送達ス

使用者若クハ占用者市内ニ住所又ハ居所ヲ有セザルトキハ前項ノ書類ヲ受領スル爲市内ニ代理人ヲ選定シ市長ニ申告スヘシ其ノ變更シタルトキ亦同シ

前項代理人ヲ定メタルトキハ第一項ノ書類ハ之ヲ代理人ノ住所又ハ居所ニ送達ス

第二條 書類ノ送達ヲ受クヘキ者カ其ノ住所若クハ居所ニ於テ書類ノ受取ヲ拒ミタルトキ又ハ其ノ者ノ住所居所共ニ不明ナル場合ハ書類ノ要旨ヲ本市所定ノ公告式ニ依リ公告シ公告ノ初日ヨリ七日ヲ經過シタルトキハ書類ノ送達アリタルモノト看做ス

附則

本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

書類送達ニ關スル條例施行ニ關スル件依命通牒

昭和七年四月二十七日庶務課長通牒

各課長宛

第五類 職制及廳規 第六節 雜ノ部

一四七

佐世保市行政審議會々則

昭和六年六月二十七日決裁

〔佐世保市例〕

從來道路堤塘其他公共ノ用ニ供スル土地又ハ營造物ノ使用若クハ占用ニ關スル書類及使用料ノ告知督促書類送達不能ノ場合ハ標記條例ノ制定ナカリシ爲メ送達ニ關シ法令上ノ效果ヲ生セシムルコト能ハスシテ行政處分ノ進行ヲ妨ケ居タルモ本年豫算市會ノ議決ヲ經テ右條例ヲ制定シタルニ就テハ爾今之カ履行ニ努メ併セテ迅速ニ處分ヲ執行シ事務ニ停滯ナキ様御注意相成度候

第一條 行政審議會ハ重要ナル市行政事項ヲ調査審議ス

第二條 行政審議會ハ會長一人副會長一人及委員七人ヲ以テ之ヲ組織ス

特別ノ事項ヲ調査審議スル爲必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得

第三條 會長ハ市長副會長ハ助役委員ハ各課長ヲ以テ之ニ充ツ

臨時委員ハ特別ノ技能ヲ有シ又ハ學識經驗ヲ有スル市吏員中ヨリ會長之ヲ命ス

第四條 行政審議會ニ書記一名ヲ置キ市吏員中ヨリ會長ニ於

テ之ヲ命ス

- 第五條 會長ハ會務ヲ總理ス
- 副會長ハ會長ヲ佐ケ會長事故アルトキ其ノ職務ヲ代理ス
- 書記ハ會長副會長又ハ委員ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ從事ス
- 第六條 行政審議會ハ必要ノ都度會長之ヲ招集ス
- 第七條 會議ニ付スヘキ事件ハ會長自ラ決定シ又ハ副會長、委員ノ申出ニ依リ會長之ヲ指定ス

附則

本則ハ昭和六年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

●佐世保市事務監査規程

昭和八年十二月十五日廳達第二十八號

- 第一條 市役所ニ監査員ヲ置キ會計並行政事務ノ監査ヲ爲サシム
- 第二條 監査員ノ監査スヘキ事項ノ概目左ノ如シ
 - 一 事務執行ニ關シ法令其ノ他條例規則又ハ規程ニ違背スル所ナキヤ否
 - 二 金錢及物品會計並市有財産整理ノ正否
 - 三 工事其ノ他作業ニ關スル經理ノ適否

- 四 事務ノ分擔及執行方法ノ適否
- 五 文書簿冊其ノ他事務整理ノ狀況
- 六 市各課各機關各機關ノ連絡調和
- 七 補助團體及報償契約締結會社ノ收支檢査ニ關スル事項
- 八 其ノ他市長ニ於テ特ニ監査ヲ命シタル事項
- 第三條 監査員ハ主事ヨリ之ヲ命ス但シ必要ト認ムルトキハ市吏員中ヨリ臨時監査員ヲ命スルコトアルヘシ
- 第四條 監査員ニハ其ノ事務ヲ補助セシムル爲市吏員中ヨリ事務員ヲ命シ之ニ附屬セシム
- 第五條 監査ハ市役所ニ在リテハ各課長其ノ他ニ在リテハ各其ノ所屬長又ハ擔任者ヲシテ必要ト認ムル書類ヲ提供セシメ又ハ臨時監査員ヲ派遣シテ之ヲ行フ
- 第六條 監査員ハ監査事項ニ付口頭又ハ書面ヲ以テ主務者ニ辨明セシメ又ハ必要ト認ムルトキハ關係係員ノ立會ヲ求ムルコトヲ得監査員ノ質問ニ對シテハ何等ノ秘密ヲ包藏スルコトヲ得ス
- 第七條 監査員ノ監査シタル事項ハ總テ機密トシ他ニ漏洩スルコトヲ得ス
- 第八條 監査員ハ監査終了後遲滞ナク報告書ヲ提出スヘシ
- 第九條 監査員ハ必要ト認ムルトキハ事務ノ改善刷新ニ關スルコトヲ得ス

〔佐世保市例〕

ル意見ヲ具申スヘシ

附則

本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●事務簡捷調查會規程

大正元年十月一日廳達第五號

- 一、行政事務簡捷ノ方法ヲ調査スル爲委員會ヲ設ケ委員長一名委員六名ヲ以テ之ヲ組織ス委員長ハ助役委員ハ收入役第一課長第二課長第三課長及第一課庶務係員(二名)ヲ以テ之ニ充ツ
- 一、委員ハ主査トナリ各其課ニ關スル調査事項ヲ分擔ス
- 一、委員會ハ毎月十五日(休日ニ當ルトキハ翌日)之ヲ開キ各主査ヨリ提出スル案件ニ付評議決定スルモノトス
- 一、委員會ニ於テ決議シタル事項ハ具案ノ上之ヲ市長ニ提出スルモノトス
- 一、各課各係員ハ毎月七日迄ニ調査資料ヲ其課ノ委員ニ提出スヘシ

●食堂會々則

昭和四年七月十一日決裁

第五類 職制及規程 第六節 雜ノ部

- 第一條 食堂會ハ市長助役各課長ヲ以テ組織ス
- 第二條 本會ハ各種ノ協議ヲ爲シ各課ノ聯絡ヲ圖リ事務ノ改善ヲ期スルヲ以テ目的トス
- 第三條 食堂會ニ常任幹事一名ヲ置ク
- 第四條 常任幹事ノ任期ハ一ヶ月トシ各課長輪番ニ其ノ任ニ當ルモノトス
- 第五條 會合ノ時間ハ正午ヨリ午後一時マテトシ公休日ハ休會トス
- 第六條 會合ニ缺席セントスル場合ハ理由ヲ具シ常任幹事ニ之ヲ通知スルモノトス
- 第七條 協議案ハ文書又ハ口頭ヲ以テ之ヲ提出スヘシ
- 第八條 食堂會ノ決議ハ常任幹事ニ於テ之ヲ日誌ニ記錄シ各主管課長ハ之ヲ施行ノ責メニ任スルモノトス但上司ヨリ之ヲ施行ヲ停止サレタルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 第九條 前條ノ日誌ニハ秘密ニ關スル事件ハ件名ノミヲ掲ケ其ノ内容ハ之ヲ記載セサルモノトス
- 第十條 第九條但書ノ場合ノ外各主管課長ニ於テ本會ノ決議ヲ執行セサルトキハ食堂會ハ之ヲ執行ヲ督促スルモノトス

附則

本則ハ會員ニ對シ本案決裁通知ヲ爲シタル翌日ヨリ之ヲ施行ス

● 食堂會ニ關スル件

昭和九年七月十日庶務課長通牒

各課長 課長待遇者宛

- 一、食堂ノ場所ヲ七月十一日ヨリ三階ノ委員休憩室ニ變更ス
- 一、課長待遇者モ毎月第一水曜日ニハ食堂ニ參加セラル、コト

- 一、平日ニ於テハ土曜日ハ食堂ハ休止ス
- 一、半休期間中ノ食堂ハ每週水金兩日トシ其ノ他ハ休止ス

● 佐世保市統計調査員規程

昭和二年六月十五日告示第百九號

昭和九年五月四日告示第四十三號改正

産業統計調査區並調査員數表

調査區	區	域	調査員數
第一調査區	日字大塔免 自沖新田及自小ヶ越 至白石 石及至犬ヶ倉及字上白石		壹
第二調査區	日字大塔免 自一ノ井手 至源八谷 (字上白石ヲ除ク)		壹
第三調査區	日字猫山免 自生木山及自幕間堰 至石 起及至下長尾 及字猫山、原ノ下、川ノ谷		壹

〔佐世保市例〕

第四調査區	日字猫山免 自岳ノ上 至川久保 (字猫山、原ノ下、川ノ谷ヲ除ク)		壹
第五調査區	日字木場免 自高尾 至下太田		壹
第六調査區	日字木場免 自比自岐 及字山口 至午房谷		壹
第七調査區	日字木場免 自上迎原 及字重尾、塔崎、野添、木場ノ辻 至茶ノ木畑		壹
第八調査區	日字木場免 自麓 及自大戸禮 (字野添ヲ除ク) 至西久保 及至九葉山		壹
第九調査區	日字木場免 自下狩立 及日字里免 自平之峠 至虎松 及日字里免 自祭見田		壹
第十調査區	日字里免 自岩下 及字彌四郎井手、久井手 至犬ノ尾道 (字日字、前田ヲ除ク) 及字櫻馬場、長尾		壹
第十一調査區	日字里免 自沖新田 至上打杭		壹
第十二調査區	日字里免 自濱田 (字櫻馬場ヲ除ク) 及字日字、前田 至源八谷		壹
第十三調査區	日字崎邊免 自山崎 及至上萩原 至運田 及至野中平		壹
第十四調査區	日字崎邊免 自萩原 及自迎山ノ辻 及自權高鼻 至西十郎 及至永畑 及至岩首 及字東松ノ戸		壹
第十五調査區	日字崎邊免 自高鼻 (字東松ノ戸ヲ除ク) 及自白岩 至高鼻 (字東松ノ戸ヲ除ク) 及自丸田		壹
第十六調査區	日字福石免 自川崎 及自小松原 (字原田ヲ除ク) 至鳥越 及至西川内		壹
第十七調査區	日字福石免 自六郎原 及字堤ノ谷、原田 至瀧川内		壹
第十八調査區	日字福石免 自登立 及自手黒田 (字堤ノ谷ヲ除ク) 及字須田ノ尾、拼 至下川ノ谷 及至大野原 (字堤ノ谷ヲ除ク) 及字ヶ元、下大野		壹

〔佐世保市例〕

第十九調查區	小佐世保免 自馬ノ氏 至前田	壹
第二十調查區	小佐世保免 自天久保 至大谷	壹
第二十一調查區	福石免、福石町、湖見町、白南風町、三浦町、戸尾町、松川町、勝富町、高天 町、京坪町、宮崎町、上京町、下京町、鳥地町、名切町、鹽濱町、萬津町、山縣町、本 鳥町、鳥瀨町、光月町、祇園町、宮田町、宮地町、俵町 谷郷町、八幡町、城山町、宮田町、俵町	壹
第二十二調查區	名切免一圓	壹
第二十三調查區	折橋免一圓	壹
第二十四調查區	熊ヶ倉免 自野廣及自射場ノ元 至紅葉窪及至下川内	壹
第二十五調查區	熊ヶ倉免 自奥ノ辻 至細工田	壹
第二十六調查區	山中免一圓及横尾免字繩手道、瀬戸岳	壹
第二十七調查區	横尾免 自宮田(字立平、大窪ヲ除ク)及字祇園田 至板之平	壹
第二十八調查區	横尾免 自下板之平 至梅木田及字立平、大窪	壹
第二十九調查區	中通免一圓	壹
第三十調查區	保立町、清水町、石坂町、萬徳町、福田町、木場田町、高砂町、天満町、相生 町、濱田町、松浦町、淡町、常盤町、榮町、元町、上町、園田町、比良町、東 大久保町、西大久保町、泉町、長尾町、上矢岳町、今福町、金比良町	壹
第三十一調查區	赤崎免 自鞍置場 至鍛冶屋ノ谷	壹

〔佐世保市例〕

第三十二調查區	赤崎免 自上天石 至毛船越	壹
第三十三調查區	庵浦免 自本船 至神山岳	壹
第三十四調查區	庵浦免 自柚木原(字黒岩ヲ除ク)及字大ヶ倉、大谷 至柳檀畑	壹

〔佐世保市例〕

本表調査區及調査員數ハ必要ニ應シ變更増減スルコトヲ得

●佐世保市統計調査員心得

昭和二年六月十五日決裁

- 第一條 統計調査員(以下單ニ調査員ト稱ス)ハ農林省統計報告規則、商工省統計報告規則、農林省並商工省統計報告規則施行細則及長崎縣產業統計報告規則ヲ遵守シ市長ノ指揮監督ヲ承ケ執務スヘシ
- 第二條 前條規則以外ノ統計事項ト雖モ市長ニ於テ特ニ指定シタル場合ハ之カ調査ヲ爲スヘシ
- 第三條 調査員ハ統計ニ關スル規則及材料ノ蒐集並諸表作製方法等ヲ研究シ違算ナキヲ期スヘシ
- 第四條 調査員ハ各自擔當區内ニ於ケル産業ノ狀況ニ留意シ正確ナル統計材料ヲ蒐集スヘシ
- 第五條 調査員ハ執務ニ際シテハ左ノ事項ニ注意シ調査上遺

第五類 職制及廳規 第六節 雜ノ部

- 憾ナキヲ期スヘシ
 - 一、言語動作ヲ慎ミ苟モ當業者ニ不快ノ感ヲ與ヘサルコト
 - 二、統計材料ハ課税ノ資料ニ供スルモノニアラサルカ故ニ當業者ヲシテ疑惑ヲ抱カシメサルコト
 - 三、多數ノ當業者中ニハ往々調査ヲ忌避シ又ハ事實ヲ隱蔽スル者ナキニアラサルカ故ニ調査趣旨ノ徹底ニ努ムルコト
- 第六條 蒐集シタル統計材料ハ各種類別ニ之ヲ集計製表シ所定ノ期日迄ニ市長ニ報告スヘシ
- 第七條 調査員ハ報告書提出後ニ於テモ市長ヨリ説明又ハ再調査ヲ命セラレタルトキハ調査ノ上速ニ答申スヘシ

●市費補助ニ關スル件依命通牒

牒

昭和七年四月二十七日庶務課長通牒

各課長宛

市費補助ニ關シテハ御承知ノ通り本年豫算市會ニ於テ相當論議サレタルコトニモ有之候條左記御參考ノ上將來ノ補助ニ付注意スヘキハ勿論既存補助ノ整理ニ付テモ充分調査研究ヲ遂ケ八年度該豫算編成ニ際シテハ其ノ實績ヲ舉ケル様精々御配意相成度候

追テ獎勵金ニ就テモ同様相當御考慮相成度申添候尙以上ノ要旨ハ無洩被補助團體等へ速ニ豫告シ相當ノ準備ヲ爲サシメ豫算編成期ニ至リ困難ヲ來スカ如キコト無之様最善ノ御注意相成度候

記

- 一 補助費ハ公益事業ノ發達ヲ期スル爲メ必要ナリト雖之ニ關シテハ諸種ノ弊害ヲ伴フヘキヲ以テ補助ヲ與フヘキ事業ノ適否等ニ就テハ深ク注意ヲ要ス
- 二 勸業ニ對シ補助ヲ爲サムトモハ其ノ補助ヲ受ケル事業ハ果シテ此ノ地方ニ於テ一ツノ産業トシテ發達セシムルニ足ルモノナルヤ其ノ生産物ハ如何ナル方面ニ需用セラレ其ノ需用者ハ如何ナル關係ニアルモノナルヤ又企業者ハ確實ノモノナルヤ企業ノ方法ハ適切ナルヤ等各種ノ方面

ニ涉リテ充分調査研究ヲ要ス

- 三 補助ノ期間ハ可成之ヲ豫定スルヲ可トス而シテ期間ヲ設ケルニ就テハ其ノ補助ヲ爲スヘキ事業カ果シテ豫定ノ期間ヲ以テ獨立スルヲ得ルヤ否ヤ其ノ補助期間ノ終了後ニ於ケル事業ノ興廢如何等ヲ查察スルヲ要ス
- 四 一時補助ノ方法トシテ建築費若クハ設備費ニ對シ特定補助ヲ爲スカ如キハ最モ有效ト認ム試驗室ノ建設若クハ事業改良上必要ナル機械購入費ノ指定補助ノ如キ即チ之ナリ
- 五 經常費ニ對シ永久的ニ補助スルカ如キハ之ヲ受ケル者ノ依頼心ヲ誘發スルモノニシテ適當ナラス
- 六 補助規定ヲ設ケ補助ノ條件ヲ嚴守セシメ之ニ對シテ監督ヲ勵行スルハ補助ノ目的ヲ達スル上ニ於テ必要ト認ム
- 七 多額ノ補助費ヲ得ムカ爲メ殊更ニ事業費ヲ増加シ其シキニ至リテハ虚偽ノ豫算若クハ決算ヲ作ル傾キナキニアラ
- 八 補助トシテ效ナキモノ例ヘハ補助ヲ與フルモ十分事業發達ノ見込ナク若クハ自然ニ衰頹ヲ免レサルモノ、如キ補助ハ八年度ヨリ之ヲ廢止シ又ハ減額スルコト
- 九 從來補助シツ、アル事業ニシテ既ニ相當ノ成績ヲ舉ケ其

〔佐世保市例〕

〔佐世保市例〕

ノ目的ヲ達シタルモノニシテ將來自力ヲ以テ維持經營ノ見込アルモノハ八年度ヨリ補助ヲ廢止若クハ減額スル方針ヲ取ルコト又資本家ノ自助ニ依ツテ發達ノ可能性ヲ有スル事業ニ對スル補助ノ如キ亦同シ

- 一〇 補助カ他ノ保護ト重複スルモノ例ヘハ一方ニ於テ補助ヲ受ケ他方ニ於テ減免稅ノ恩典ニ浴シ又ハ他ヨリ別ニ補助ヲ受ケ居ルモノ、如キニ對シテハ大ニ考慮ヲ要ス
- 一一 補助ニ因リテ始メテ事業起リ産業界ニ好影響ヲ齎スモノ又ハ配分カ普遍的ニシテ公平ナル結果ヲ來スモノ、如キハ之ヲ存スルモノ可ナリ
- 一二 補助ノ效用ニ比シ財政上負擔ノ餘リニ大ナルモノハ整理ヲ爲スノ必要アリ
- 一三 補助ノ效用ヨリモ財政上社會上ニ對シ損失大ナルモノアラハ之等ハ相當整理ヲ要ス

●物件保管等ニ關スル件依命

通牒

昭和四年八月二十一日庶務課長通牒

各課長宛

●建物等管理ニ關スル件

昭和九年十一月八日

庶務課長 交通課長宛

貴課ノ主管ニ屬スル各種建物ハ事業上油類使用ノ爲メ火氣取締特ニ嚴重ナルヲ要スル義ニ付此ノ點ニ關シ細心注意スルト共ニ建物及危險區域ノ土地ハ一切外部ニ使用セシメサル様格別ノ御配意相成度依命及通牒候也

公會堂管理ニ關スル件

昭和九年十二月十三日決議

佐世保市公會堂使用條例第四條ニ據リ管理上左記ノ場合ハ其ノ使用ヲ承認セサル事ニ決定相成可然乎

記

公共及公益ヲ目的トスル事業又ハ特別ノ事由ニ基ク場合ヲ除ク外直接營利ヲ目的トシテ會券ヲ發賣シ入場料又ハ之ニ類スル金錢ヲ徵收スルモノ

佐世保市公會堂附設食堂及賣店經營規程

昭和九年十一月一日告示第七十三號

第一條 公會堂附設食堂及賣店ノ經營ニ關シテハ本規程ニ依ル

第二條 食堂及賣店ノ業別左ノ如シ

- 一、食堂 和洋飲食物ノ販賣
- 二、賣店 菓子及煙草等ノ販賣

賣店ハ食堂經營者ヲシテ兼營セシム

第三條 食堂及賣店ノ業務時間ハ午前九時ヨリ午後十時迄トス

ス但シ時宜ニ依リ時間ヲ伸縮スルコトアルヘシ

第四條 營業期間中臨時休業セントスル場合ハ豫メ市長ノ承認ヲ受ケ其旨適當ノ場所ニ之ヲ揭示スベシ

第五條 食堂及賣店ノ經營ニ關スル契約期間ハ參ケ年トス市長ハ相當ノ事由アリト認ムルトキハ前項期間ノ更新ヲ承認スルコトアルヘシ

第六條 食堂ノ使用許可ヲ受ケタル者ハ委託經營者ト稱シ市長監督ノ下ニ食堂經營者ト爲スコトヲ要ス

第七條 食堂ノ使用許可ヲ受ケタルトキハ委託經營者ハ遲滞ナク保證人連署ノ上別記第一號様式ノ誓約書ヲ添へ使用料六ヶ月分ニ相當スル擔保ヲ提供スヘシ

第八條 保證人ハ能力者ニシテ市内ニ居住シ土地又ハ家屋ヲ有シ直接國稅參園以上ヲ納メ市長ニ於テ適當ト認メタル者ニ限ル

第九條 保證人ヲ變更セムトスルトキハ豫メ市長ノ承認ヲ受ケヘシ

保證人死亡シタルトキ又ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ更ニ保證人ヲ定メ市長ノ承認ヲ受ケヘシ

- 一、前條ノ要件ヲ缺クニ至リタルトキ
- 二、市長ニ於テ不適當ト認ムルニ至リタルトキ

〔佐世保市例〕

〔佐世保市例〕

第十條 委託經營者ハ第七條ノ事項ヲ履行シタル後ニアラサレハ業務ヲ開始スルコトヲ得ス但シ市長ニ於テ特ニ許可シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十一條 委託經營者ハ食堂及賣店ノ設備、飲食物又ハ販賣品ノ種目單價ニ付豫メ市長ノ承認ヲ受ケヘシ

第十二條 食堂又ハ賣店ニ特別ノ設備ヲ施シ又ハ之ヲ撤去セムトスルトキハ豫メ市長ノ承認ヲ受ケヘシ

第十三條 食堂及賣店經營ニ充テタル場所並設備ノ使用料及電燈電力暖房水道其他ノ料金ハ指定ノ期日迄ニ納入スヘシ其ノ料金ハ市長之ヲ認定ス

第十四條 食堂ハ特ニ市長ノ承認ヲ經タル場合ノ外目的外ニ使用スルコトヲ得ス食堂利用カ主トシテ集會ヲ目的トシ同時ニ宴會ヲ催ス場合亦同シ

前項ノ場合ニ於テハ市長ノ決定スル使用料ヲ其都度前納スヘシ

第十五條 一月ニ滿タサル食堂ノ使用料ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ計算ス

- 一、十五日以前ニ使用ノ許可ヲ受ケタルモノ及十六日以後ニ返還アリタルモノハ一月分
- 二、十六日以後ニ使用ヲ許可シタルモノ及十五日以前ニ返還アリタルモノハ半月分

第五類 職制及處規 第六節 雜ノ部

還アリタルモノハ半月分

第六節 雜ノ部

營繕費			
雜費			
何々			
計			
收支差引			損益
收入累計			
支出累計			
收支累計差引			損益
備考			

昭和 年 月 分 佐世保市公會堂附設食堂賣上表

種別 日別	食 堂			賣 店			計 額
	金 額	摘 要	金 額	摘 要	金 額		
1							
2							

第三號 様式

〔佐世保市例〕

3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									

〔佐世保市例〕

第六類 給與

第一節 費用辨償及給料

●佐世保市名譽職員費用辨償

支給規程

大正五年五月十一日議決
大正五年五月十一日告示第二十二號

大正九年七月二十二日告示第六十五號改正
大正十年四月二十日告示第二十九號改正

第一條 本市名譽職員ニ對スル費用辨償ハ左表ニ依リ支給ス

職名	日	額
市會議員	貳	圓
市參事會員	貳	圓
學務委員	貳	圓
傳染病 市長選任ニ 係ル醫師	五	圓
豫防委員 其ノ他ノ者	貳	圓
其他 市會ニ於テ 選任シタル 委員	貳	圓

第六類 給與 第一節 費用辨償及給料

〔佐世保市例〕

赤崎免及庵ノ浦免ニ在ル名譽職員ニシテ出席ノ爲宿泊ヲ爲シタル場合ハ前項ノ外一泊ニ付金三圓ヲ支給ス

第二條 前條日額ハ職務若ハ出席日數ニ應シ之ヲ支給ス

第三條 出席員定數ニ充タス流會ト爲リタル場合ト雖モ出席者ニハ日額ヲ支給ス

第四條 旅費ヲ要スル場合ハ本市旅費規則ニ依リ一等旅費ヲ支給ス
此ノ場合ニハ第一條ノ日額ヲ支給セス但出張巡回ノ節單ニ

第五條 第一條ノ費用辨償ハ隨時之ヲ支給ス
車馬賃又ハ汽船賃ノミヲ給スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

附則

第六條 本規程施行前ノ出席ニ對スル支給方法ハ本規程ニ依

●佐世保市吏員給料條例

昭和五年三月二十九日議決
昭和五年四月二十四日長崎縣指令第六百三號許可
昭和五年五月一日告示第八十二號

第一條 市長助役收入役ノ給料ハ年俸トシ別表第一號表ニ依

第六類 給與 第一節 費用辨償及給料

市長ノ給料ハ同表ニ掲ケタル範圍内ニ於テ市會ノ議決ニ依リ之ヲ定ム

市長關員中ニ於テ助役ノ給料ヲ定ムル必要アル場合モ亦前項ニ同シ

第二條 前條以外ノ吏員ノ給料ハ月俸トシ別表第二號表ニ依ル但シ市長ハ必要ト認ムルトキハ級俸ノ範圍内ニ於テ適宜金額ヲ定メ支給スルコトヲ得

第三條 休職者ニ對スル給料ノ支給ハ本條例ニ定ムル者ノ外吏員休職規程ノ定ムル所ニ依ル

第四條 吏員ハ毎級在職一年以上ニ至ラサレハ増給スルコトヲ得ス但シ七級俸以下ノ者ハ此ノ限ニ在ラス退職ノ場合ハ在職年數ニ拘ラス一級ヲ限リ増級スルコトヲ得

第五條 吏員ニシテ一級俸ヲ受ケ在職三年ヲ超ヘ事務又ハ技術練熟成績優良ナル者ニ對シテハ特ニ其ノ三割迄ヲ増給スルコトヲ得

第六條 兼務ヲ命セラレタル者ニ對シテハ豫算ノ範圍内ニ於テ兼務給料ヲ支給スルコトアルヘシ其ノ支給ニ關シテハ本條例第七條乃至第十五條ヲ準用ス

第七條 懲戒處分若ハ犯罪等不都合ノ行爲ニ依リ解職又ハ停

職ヲ命セラレタルトキ犯罪ニ因リ失職シタルトキハ其ノ當月分ノ給料ハ發令又ハ失職ノ當日迄日割ヲ以テ支給ス

就職ノ當月ニ於テ退職シタルトキ亦同シ

第八條 休職又ハ退職者ニシテ事務引繼ノ爲特ニ殘務整理ノ命ヲ承ケタル場合ハ事務ニ從事シタル日數ニ應シ仍從前ノ給料ヲ日割計算ニ依リ支給ス

第九條 退職ノ月ニ於テ再就職シタル者ニ對シテハ其ノ月分ノ給料ヲ支給セス但シ其ノ額力退職當時ノ給料額ニ比シ多キトキハ其ノ差額ヲ日割計算ニ依リ支給ス

第十條 給料ハ左ノ區別ニ依リ毎月二十二日ニ之ヲ支給ス但シ當日カ休日ナルトキハ繰上ケ支給ヲ爲ス

一、年俸ハ其ノ十二分ノ一

二、月俸ハ其ノ月分

第十一條 吏員ノ新任復職休職増給減給ノ場合ニ於ケル其ノ月分ノ給料ハ發令ノ翌日ヨリ起算シ日割ヲ以テ之ヲ支給ス滿期退職者カ當月再就職シタル場合亦同シ

第十二條 犯罪ニ因ラスシテ失職シタルトキ又ハ退職若ハ死亡シタルトキハ當月分ノ給料ノ全額ヲ其ノ際支給ス但シ休職者ノ場合ニ在リテハ其ノ減額セラレタル給料額トス滿期退職者ニ對シテハ日割計算ヲ以テ當月分ノ給料ヲ支給ス

〔佐世保市例〕

〔佐世保市例〕

第十三條 病氣ノ爲缺勤スルコト引續キ六十日ヲ超ユル者私事ノ故障ニ因リ缺勤スルコト引續キ三十日ヲ超ユル者及病氣私事故障連續シテ引續キ缺勤六十日ヲ超ユル者ニ對シテハ爾後ノ給料ハ日割計算ヲ以テ半減シ仍引續キ二十日以上缺勤スル者ニ對シテハ其ノ全額ヲ支給セス但シ公務ノ爲傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ又ハ服忌ヲ受クル者及父母ノ祭日父母ノ病氣看護等ノ爲特ニ市長ノ許可ヲ得テ賜暇セラレタル者若ハ傳染病豫防法ニ依リ交通ヲ遮斷セラレタル者ノ缺勤ハ此ノ限リニ在ラス

前項缺勤日數中ノ公休日缺勤日數ニ算入ス

第十四條 吏員ニシテ陸海軍ニ召集セラレ陸海軍ニ於テ俸給ヲ受クル者ハ其ノ間給料ノ支給ヲ停止ス但シ陸海軍ニ於テ受クル俸給額力吏員給料額ヨリ少額ナルトキハ其ノ不足額

ハ吏員給料ヨリ之ヲ補給ス

第十五條 日割計算ノ法ハ其ノ月ノ現日數ニ依リ前乘後除トス

第十六條 本條例施行ニ關シ必要アルトキハ市長ハ別ニ細則ヲ設クルコトヲ得

第十七條 掃除監視吏員ノ給料ハ別段ノ定アルモノヲ除クノ外本條例ヲ準用ス

附則

本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本條例施行ノ際現ニ受クル給料額ハ本條例ニ依リ受ケタルモノト看做ス

佐世保市吏員俸給規則市吏員給料支給規定及陸海軍ニ召集セラレタル市吏員俸給支給ニ關スル規程ハ之ヲ廢止ス

別表第一號表

年	市	長	助	役	收	入	役
		三、〇〇〇〇圓以上		一、八〇〇〇圓以上		二、五〇〇〇圓以上	
		八、〇〇〇〇圓以下		五、〇〇〇〇圓以下		二、五〇〇〇圓以下	

別表第二號表

第六類 給與 第一節 費用辨償及給料

職名	月												俸							
	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級	十一級	十二級								
主事、視學	二〇〇	一八〇	一六〇	一四〇	一三〇	一二〇	一一〇	一〇〇	九〇	八〇	七〇	六五	六〇	五五	五〇	四五	四〇	三五	三〇	二五
技師、市醫	一三〇	一二〇	一一〇	一〇〇	九〇	八〇	七〇	六五	六〇	五五	五〇	四五	四〇	三五	三〇	二五				
其ノ他ノ吏員																				

● 吏員退職ノ際ニ於ケル増給
ニ關スル件

昭和五年十二月八日決裁

本市吏員給料條例第四條中「退職ノ場合ハ在職年數ニ據ラズ一級ヲ限リ増給スルコトヲ得」トアルハ當分給テ受ケル者退職又ハ在職中死亡シタル場合其ノ現ニ受ケル當分給ノ餘剩額ト更ニ一給ヲ増給シ得ル精神ノ下ニ昭和五年二月市會ノ條例審査委員會ニ於テ決定致シタル次第ナルモ其ノ決定ニ關スル何等記録ナキ爲メ本案決裁相仰キ之ヲ例規トシテ保存致度右相伺候也

● 掃除監視吏員級俸ノ件

昭和九年三月三十日決裁

第一條 備人ノ給料ハ月俸又ハ日給トシ豫算ノ範圍ニ於テ之ヲ定ム
日給ハ前月二十三日ヨリ當月二十二日迄ノ分ヲ毎月二十八日之ヲ支給ス但シ當日カ公休日ナルトキハ順次繰上ク

〔佐世保市例〕

● 備人給料支給規程

昭和五年六月二日廳達第十七號

昭和七年五月三日廳達 第六號 改正
昭和七年十二月二十六日廳達第十五號 改正
昭和九年十一月二十七日廳達第二十四號 改正

第二條 日給者ノ採用増給又ハ減給ハ發令ノ日ヨリ之ヲ起算ス

第三條 兼務ヲ命セラレタル者ニ對シテハ豫算ノ範圍内ニ於テ兼務給料ヲ支給スルコトアルヘシ其ノ支給方法ニ就テハ本務給料ノ例ニ依ル

前項ノ兼務給料ハ本市雇傭人解職及死亡給與金規程ニ依ル給與金算定標準ニ算入セス

第四條 日給者公務ノ爲傷疾ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リタルトキハ法令其他別段ノ定メアルモノヲ除キ其ノ日ヨリ治療中三十日迄ハ日給全額ヲ三十一日以上百日迄ハ其ノ二分ノ一ヲ支給シ百日ヲ超ユルトキハ其ノ全額ヲ支給セス

第四條ノ二 日給者ニシテ陸海軍ニ召集セラレ陸海軍ニ於テ俸給ヲ受ケル者ハ其ノ間給料ノ支給ヲ停止ス但シ陸海軍ニ於テ受ケル俸給日額カ其ノ傭人日給額ヨリ寡少ナルトキハ其ノ不足額ヲ補給ス

第五條 日給ノ支給ニ就テハ公休又ハ服忌又ハ傳染病豫防法ニ依リ交通ヲ遮斷セラレタル爲出勤セサル日數ハ缺勤日數ニ算入セス但シ特ニ出勤ヲ命セラレタル場合ハ此ノ限リニ在ラス

缺勤日數中ノ公休日ハ缺勤日數ニ算入ス

第六類 給與 第一節 費用辨償及給料

〔佐世保市例〕

前二項ノ規定ハ本市雇傭人解職及死亡給與金規程ニ依リ給與テ受ケル備人ニ限リ之ヲ適用ス

第六條 月俸者ニ對スル給料ノ支給方法ハ市吏員給料條例ヲ準用ス

附則

本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本規程施行ノ際現ニ受ケル給料額ハ本規程ニ依リ受ケタルモノト看做ス
大正十五年三月三十一日廳達第三號佐世保市傭人給料支給規程ハ本規程施行ト同時ニ之ヲ廢止ス

● 傭人給支出ニ關スル件

昭和五年六月四日庶務課長通牒

各課長宛

本市傭人給料支給規程第一條ニ依レハ傭人給日給者ノ分ハ前月二十三日ヨリ當月二十二日迄分ヲ其ノ月二十八日ニ支給スルコトト相成居候而シテ三月ニ屬スル日數分ハ當該年度ヨリ四月ニ屬スル日數分ハ次年度ヨリ各々分割支出ノ例ナルモ右ハ市制町村制施行規則第三十六條第一號但書ニ抵觸スルヲ以テ右ハ全部次年度經費ヨリ支出スルコトニ御取扱相成様致度

第六類 給與 第二節 旅費

爲念及通牒候也

市制町村制施行規則第三十六條第一號拔萃

第三十六條 歳出ノ所屬年度ハ左ノ區分ニ依ル

- 一、費用辨償、報酬、給料、旅費、退職料、退職給與金、死亡給與金、遺族扶助料、其ノ他ノ給與、備人料ノ類ハ其ノ支給スヘキ事實ノ生シタル時ノ屬スル年度但シ別ニ定マリタル支拂期日アルトキハ其ノ支拂期日ノ屬スル年度

臨時雇増給時期ニ關スル件

昭和八年十月三十一日決裁

臨時雇ノ増給時期ニ就テハ其ノ採用方法其ノ他ニ關シ吏員又ハ備人ト異ル點アルヲ以テ特別ノ事情ナキ限り年度開始ノトキヲ以テ増給期ト定メラレ可然哉(増俸ノ必要ヲ認メタル年ニ限ル)

(參照) 右臨時雇トハ庶務係ノ臨時雇命免簿ニ在ルモノヲ謂フ

第二節 旅費

佐世保市旅費條例

明治四十三年四月二十二日告示第十一號

- 大正二年十月八日 告示 第三十三號 改正
- 大正七年九月十日 告示 第六十三號 改正
- 大正九年七月二十二日 告示 第六十六號 改正
- 大正十年十二月十二日 告示 第八十三號 改正
- 昭和六年七月二十五日 長崎縣指令第一八二號 改正許可
- 昭和六年七月二十七日 告示 第九十四號 改正

第一條 旅費ハ公務ニ依リ旅行スルトキ之ヲ支給ス

第二條 旅費ハ汽車賃、船賃、車馬賃、日當、宿泊料ノ五種トシ順路ニ依リ別表ノ定ムル所ニ從ヒ之ヲ計算ス但シ不可抗力ノ爲順路ニ依リ難キトキハ現ニ經過シタル通路ニ依リ之ヲ計算ス

第三條 汽車賃ハ前條ニ定ムルモノノ外尙左ノ區別ニ依リ之ヲ計算ス
一、運賃ノ等級ヲ二階級ニ區分スルモノニ在リテハ別表一
二等三等共上級ノ運賃其ノ他ハ下級ノ運賃トシ其ノ等級ヲ設ケサルモノニ在リテハ其ノ乘車ニ要スル運賃
二、特別ノ必要ニ依リ普通急行列車又ハ特別急行列車ニ乘

〔佐世保市例〕

〔佐世保市例〕

車シタル場合ニ於テハ其ノ乘車ニ要スル急行料金船賃ノ等級ヲ二階級ニ區分スルモノ又ハ其ノ等級ヲ設ケサルモノニ在リテハ前項第一號ヲ準用ス

第三條ノ二 特別ノ事情ニ依リ定額ノ汽車賃船賃及車馬賃ヲ以テ其ノ實費ヲ支辨シ難キ場合ハ其ノ實費額トス

第三條ノ三 日當ハ日數、宿泊料ハ宿泊數ニ應ジ之ヲ支給ス但シ水路旅行ニハ宿泊料ヲ支給セス

第三條ノ四 一市町村内ニ滞在スルコト十日ヲ超ユルトキハ其ノ超過日數ニ付日當及宿泊料ハ其ノ定額ノ二割ヲ減ス

第四條 汽車賃船賃及車馬賃ハ旅行ノ種類毎ニ經過セシ路程ヲ合算シテ之ヲ支給ス

但シ一位未滿端數ノ路程ハ切捨トス

第五條 年度若クハ日ニ依リテ旅費ヲ區分シテ計算スル必要アル場合ニ於テ汽車旅行若クハ水路旅行ニシテ其ノ區分判明ナラサルトキハ最近ノ到達地ニ著シタル日ヲ以テ其ノ路程ヲ區分シテ計算ス

第六條 陸路二十三軒未滿鐵路十六軒未滿水路十海里未滿ノ旅行ニハ日當及宿泊料ヲ支給セス

第七條 旅行中私事ノ爲メ許可ヲ得テ迂路ヲ通過スルトキハ順路ノ路程ニ應ジテ旅費ヲ支給ス

第六類 給與 第二節 旅費

第八條 旅行中退職休職若クハ死亡ノ者ニハ前職相當ノ額ヲ以テ舊任地迄ノ旅費ヲ支給ス
但シ刑事裁判又ハ懲戒等ニ依リ解職若クハ停職セラレタル者ニ對シテハ此ノ限ニ在ラス

第九條 (削除)

第十條 事務引繼殘務取調等ノ爲退職若クハ休職者ニ旅行ヲ命スルトキハ前職相當ノ旅費ヲ支給ス

第十條ノ二 別表一二等該當者ノ赴任ノ場合ニ於テハ其ノ旅費ヲ支給ス

第十一條 公務ノ爲メ市内ニ於テ車馬又ハ船ヲ要スルトキハ其ノ實費ヲ支給ス

第十二條 囑託員其ノ他ニシテ官公署ニ在ル者ニハ其ノ官公職相當ノ旅費額ヲ支給ス

前項ノ場合ニ於テ二以上ノ官公職ニ在ル者ノ旅費額ハ其ノ高キニ從ヒ之ヲ支給ス

第十二條ノ二 官公吏ニシテ本市公職ニ在ル者及別表ニ掲ケル以外ノ吏員其ノ他ニ對スル旅費額ハ市長別表ノ範圍内ニ於テ之ヲ決定ス

第十三條 市長ハ時宜ニ依リ旅費額ヲ減シ又ハ其ノ全部ヲ支給セサルコトヲ得

一六九

第六類 給與 第二節 旅費

第十四條 旅行中資格ノ變更ニ依ル旅費額ノ増減ハ發令ノ翌日ヨリ之ヲ計算ス

第十五條 外國ニ出張スル場合ハ日當宿泊料ハ其ノ三割増ト本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

附則

本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

旅費額表

等級	職名	汽車賃	船賃	車馬賃	日當	宿泊料
一等	市長、助役	一等ノ旅客運賃 但シ一等車ノ連結 ナキ線路ニ在リテ ハ二等運賃	汽車賃ノ例 ニ準ス	二十五錢	縣外 七、〇〇〇 縣内 五、五〇〇	一〇、〇〇〇 八、〇〇〇
二等	收入役、課長、視學、技師、市醫、掃除監督長	二等旅客運賃	同	二十三錢	縣外 五、〇〇〇 縣内 四、〇〇〇	八、五〇〇 六、五〇〇
三等	書記、技手、掃除監督、掃除巡視	三等旅客運賃	同	二十錢	縣外 三、五〇〇 縣内 三、〇〇〇	七、五〇〇 六、〇〇〇
四等	細菌検査助手、火葬場機關手、雇、其ノ他ノ月俸ヲ受ケル備	同	同	十八錢	縣外 三、〇〇〇 縣内 二、五〇〇	五、五〇〇 四、五〇〇
五等	給仕、使丁、其ノ他ノ日給ヲ受ケル傭人	同	同	十五錢	縣外 二、〇〇〇 縣内 一、五〇〇	三、〇〇〇 二、五〇〇

〔佐世保市例〕

囑託員其ノ他ノ者ニ對スル旅費額ノ件

昭和五年六月二日廳達第十九號

佐世保市旅費規則第十二條ニ依リ囑託員其ノ他ノ者ニ對シ支給スル旅費額左ノ通之ヲ定ム

- 一、主事、技師及掃除監督長ハ佐世保市旅費規則第二條別表中「二」ノ旅費額
- 二、火葬場機關手、保健婦、看護婦、測量手、守衛、タイヒスト及土木工事關係ノ各監督員ハ同表中「四」ノ旅費額

旅費支給ニ關スル件

大正十一年六月二十三日決裁

從來掃除監督及掃除巡視ノ崎針尾塵芥焼却場出張ニハ旅費規則第十三條ニ依リ旅費ヲ支給セザリシニ本年度ヨリ該焼却場ヲ山口村相浦ニ變更シタルモ出張ニ就テハ從來ト其ノ精神ニ於テ何等相違ナキニ依リ從來ノ通り旅費支給セス

第六類 給與 第三節 手當

第三節 手當 手當支給規則

明治四十四年八月十八日告示第二十二號

- 大正七年三月五日告示第六號改正
- 大正七年九月十日告示第六十一號改正
- 大正八年五月十五日告示第二十七號改正
- 大正九年七月二十日告示
- 大正十四年八月一日告示第八十九號改正
- 大正十五年四月五日告示第四十八號改正
- 昭和二年三月三十日告示第六十四號改正
- 昭和三年三月八日告示第九號改正
- 昭和五年三月二十日告示第三十號改正
- 昭和七年四月二十日告示第三十五號改正
- 昭和七年十二月十六日告示第七十五號改正
- 昭和九年八月二十日告示第三百三十五號改正

〔佐世保市例〕

第一條 手當ヲ分チテ外勤手當勤務手當及職務手當ノ三種トス

第二條 吏員又ハ傭人公務ノ爲市内處ノ浦免、赤崎免、熊ヶ倉免、日宇崎邊免、日宇里免、日宇猫山免、日宇木場免、日宇大塔免及日宇福石免ノ内木風又ハ旅費條例第六條ニ依リ日當及宿泊料ノ支給ヲ受ケサル地ノ出張六時間以上ニ及ヒタルトキハ第一表中甲額外勤手當ヲ支給シ宿泊シタルトキハ同表乙額外勤手當ヲ加給ス

第六類 給與 第三節 手當

月額外勤手當又ハ月額勤務手當ヲ受クル者ノ市内ノ外勤ニハ前項ノ外勤手當ヲ支給セス但シ宿泊シタルトキハ第一表ニ依ル外勤手當乙額ノミヲ支給ス

第三條 左ニ掲グル者ニハ第二表ニ依リ月額外勤手當ヲ支給ス

- 一、書記、雇ニシテ税又ハ税外收入ノ滯納處分ノ爲メ常ニ外勤ニ從事スル者
- 二、書記、雇ニシテ税又ハ給水料ノ逋脱調査ノ爲メ常ニ外勤ニ從事スル者
- 三、掃除監督、掃除巡視
- 四、書記、雇ニシテ家屋消毒ノ爲常ニ外勤ニ從事スル者
- 第四條 吏員、備人ニシテ水道ノ漏水調査ニ從事シ若ハ行旅病人死亡人アリタル場合又ハ潮間工事其ノ他非常事故ノ爲勤務時間外ニ外勤シタルトキハ第三表ノ外勤手當ヲ支給ス
- 第五條 常ニ市營屠場市營火葬場山ノ田水源地及公設市場ニ勤務スル吏員及備人ニハ第四表ニ掲グル範圍内ニ於テ豫算ノ定ムル所ニ依リ月額勤務手當ヲ支給スルコトヲ得
- 第五條ノ二 自動車運轉手同車掌及同修理工ニシテ勤務時間外ニ勤務シタルトキハ一時間ニ付日給額ノ七分ノ一ノ勤務手當ヲ支給ス

第六條 月額外勤手當及月額勤務手當ハ左ノ場合ニハ其ノ月ノ日割ヲ以テ之ヲ支給ス

- 一、病氣其ノ他私事ノ爲メ其ノ月ニ於テ缺勤十日ヲ超ユルトキ但シ父母ノ祭日又ハ忌引日數ハ缺勤日數ニ算入セス
 - 二、新任退職休職又ハ死亡ノトキ
 - 三、第三條第一號又ハ第二號ノ事務若ハ第五條ノ勤務ヲ命セラレ又ハ免セラレタルトキ
- 囑託員其ノ他ノ職務手當ノ支給ニ付テハ佐世保市吏員給料條例ヲ準用ス
- 第七條 第一表中甲額ハ日數乙額ハ宿泊數ニ應シ之ヲ支給ス
- 第三表ノ外勤手當ハ日數ニ應シ之ヲ支給ス
- 第八條 佐世保市旅費條例第十一條ハ本規則ニ依リ手當ヲ支給スル場合ニモ之ヲ適用ス
- 第九條 月額外勤手當及月額勤務手當ハ毎月末日之ヲ支給ス但シ休職日ニ當ルトキハ繰上トシ退職休職又ハ死亡ノトキハ其際之ヲ支給ス
- 第十條 第一表乃至第四表ニ該當セサル囑託員其ノ他ノ者ニ對シテハ市長ニ於テ同上各表ニ準シ相當額ヲ定メ之ヲ支給ス

第十一條 市長ハ時宜ニ依リ手當額ヲ減シ又ハ其ノ全部ヲ支一給セサルコトヲ得

第一表

職名	甲 外 勤 額 (每一日)		乙 手 勤 額 (每一泊)	
	市 長、 助 役	一 圓 五 十 錢	二 圓 五 十 錢	二 圓 五 十 錢
收入役、主事、視學、技師、市醫	一	圓	二	圓
書記、技手、掃除監督、掃除巡視	八	十 錢	一	圓 五 十 錢
雇 及 備 人	五	十 錢	一	圓

第二表

職 名	月 額 外 勤 手 當
書記、雇、掃除監督、掃除巡視	二 圓

第三表

職 名	勤 務 時 間 外 勤 手 當
吏 員	給料月額五十分ノ一
備 人	午後十二時迄ハ一時間ニ付日給ノ十分ノ一 午前零時ヨリ同七時迄ハ一時間ニ付日給ノ十分ノ一 ノ月ノ日割額ヲ以テ日給額トス

第六類 給與 第三節 手當

第六類 給與 第三節 手當

第四表

職名	月額	勤務手當
書記、技手、火葬場機關手	三	圓
雇、備人	二	圓

附則

本規則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
本改正ハ昭和三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

日額手當支給ニ關スル件

昭和七年十二月十五日決裁

水道擴張工事計畫ノ爲メ市外隣接町村へ連續十日間以上出張シ業務ニ從事スル従業員ニ對シテハ本市手當支給規則ニ依ル外勤手當全額ノ支給ヲ要セサルモノト認メラレ候ニ付規則第十一條ニ基キ別表朱書ノ日額手當ヲ支給可相成哉

別表

職名	外勤		計	日額手當(朱書)
	甲額(每一日)	乙額(每一泊)		
市長、助役	一圓五十錢	二圓五十錢	四圓	
收入、役、主事、視學、技師、市醫、書記、技手、掃除監督、掃除巡視	一圓	二圓	三圓	一圓五十錢
雇及備人	八錢	一圓五十錢	二圓三十錢	一圓二十錢
	五錢	十錢	一圓五十錢	八錢

追而十一月二十四日ヨリ楠木村内測量ノ従業員ニ對シテモ週テ本手當ヲ支給致度
備考
甲額乙額ノ合算額ノ半額(錢位四捨五入)ヲ支給ス

〔佐世保市例〕

囑託員其ノ他ノ者ニ對スル手當額ノ件

昭和五年六月二日廳達第十八號

昭和六年七月十四日廳達第十一號改正

佐世保市手當支給規則第十條ニ依リ囑託員其ノ他ノ者ニ對シ支給スル手當額左ノ通之ヲ定ム

- 一、掃除監督長長田病院醫務囑託少年職業紹介身體検査醫囑託市警豫市場診療所醫務囑託ハ手當支給規則第二條第一表中「收入、主事、視學、技師、市醫」ノ手當額
- 二、細菌検査助手、害蟲驅除督勵員囑託ハ同表中「書記、技手、掃除監督、掃除巡視」ノ手當額
- 三、火葬場機關手、職業紹介所所屬労働者取締囑託ハ同表中「雇及備人」ノ手當額

佐世保消防組員手當支給規程

大正十五年二月十日

大正五年八月一日改正
大正七年二月十三日改正
大正十三年七月十八日告示第六十七號改正

〔佐世保市例〕

第一條 消防組員ノ手當ヲ別テ左ノ三種トス

- 一、職務手當
- 二、救助手當
- 三、功勞手當

第二條 職務手當ハ第一號表ニ依リ之ヲ支給ス

第三條 救助手當ハ吊祭料遺族扶助料傷痍扶助料救護料療治料トシ第二號表ノ區別ニ依リ之ヲ支給ス

但吊祭料ヲ給スヘキ遺族ナキ時ハ死亡者ノタメ葬祭ヲ行フモノニ之ヲ支給スルコトヲ得

第四條 功勞手當慰勞手當退職手當トシ第三號表ノ區別ニ依リ之ヲ支給ス

第五條 但勤績十五年後ハ一年ヲ増ス毎二十五分ノ一ヲ増加支給ス(大正十四年四月二十六日削除)

第六條 退職手當ヲ受クヘキ權利ヲ有スルモノ在職中死亡シタルトキハ遺族ニ之ヲ支給ス遺族ノ順位ハ官吏遺族扶助法ノ規程ヲ準用ス

第七條 年手當ハ二分シテ毎年度九月及三月ニ各當月分迄ヲ支給ス

第六類 給與 第三節 手當

第六類 給與 第三節 手當

附則

第八條 本改正ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
第一號表

職務手當		種	別	組	頭	小	頭	保	消	長	防	手
年	月	出	場	手	當	當	當	當	當	當	當	當
六〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
三〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
一五	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇

第九條 既定消防組員手當支給規程ハ本改正施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

第二號表

救助手當	種	別	遺	族	傷	痕	扶	助	料	救	護	料	療	治	料
金	額	額	額	額	額	額	額	額	額	額	額	額	額	額	額
拾圓以上四拾圓以下	五拾圓以上貳百圓以下	貳拾圓以下	五拾圓以上貳百圓以下	貳拾圓以下	五拾圓以上貳百圓以下	貳拾圓以下	五拾圓以上貳百圓以下	八拾圓以下	參拾圓以上百圓以下	一日五拾錢	實	費			

第三號表

功勞手當	種	別	慰	勞	手	當	退	職	手	當
金	額	額	額	額	額	額	額	額	額	額
貳拾圓以内	七五	〇〇	〇〇	五〇	〇〇	〇〇	二〇	〇〇	〇〇	〇〇

● 死傷手當金給與規程

明治三十七年十一月十一日告示第六十七號

大正 二 年 六 月 二 十 五 日 改 正
大正 五 年 八 月 一 日 改 正
昭和七年四月二十日告示第三十七號改正

第一條 本市吏員及傭人ニシテ職務上負傷シ又ハ之ニ因リ死亡シタルトキハ法令其ノ他別段ノ定メアルモノヲ除クノ外本規程ニ依リ手當金ヲ給與ス
第二條 傷痕ノ輕重ヲ別テ左ノ五等トス
一 等 重傷死ニ至ルモノ
手當金給與額表

〔佐世保市例〕
二 等 重傷死ニ至ララスト雖モ終身不具トナリ自由ヲ辨スルコト能ハサルモノ
三 等 自由ヲ辨シ得ルト雖モ終身生計ヲ營ムコト能ハサルモノ
四 等 生計ヲ營ムコトヲ得ルト雖モ身體ヲ毀傷シ舊ニ復スルコトヲ得サルモノ
五 等 身體ヲ毀傷スト雖モ一時治療ヲ施シ舊ニ復スルモノ
第三條 手當金ヲ分チ療治料救助料吊祭料ノ三種トス
一、一 等ニ當ルモノハ療治料吊祭料救助料ヲ給ス
二、二 等 三 等 四 等 五 等ニ當ルモノハ療治料救助料ヲ給ス

給與事項	給與額
一 等 吊祭料 遺族救助料	俸給若ハ報酬一ヶ月分以内若ハ八日給三十日分以内 俸給若ハ報酬五ヶ月分以内若ハ八日給百五十日分以内
二 等 救助料	俸若ハ報酬五ヶ月分以内若ハ八日給百五十日分以内
三 等 救助料	俸若ハ報酬四ヶ月分以内若ハ八日給百二十日分以内
四 等 救助料	俸若ハ報酬二ヶ月分以内若ハ八日給六十日分以内
五 等 救助料	俸若ハ報酬一ヶ月分以内若ハ八日給三十日分以内
療治料ハ治療及看護ノ實費ヲ給ス	

第六類 給與 第三節 手當

傳染病豫防救治手當金給與規程

明治三十六年七月十七日認可
明治三十六年七月二十九日告示第四十三號

第一條 傳染病豫防救治ニ從事スル市吏員傳染病豫防委員及市ニ於テ雇入レタル醫師藥劑師看護人其他小使人夫等公務ニ依リ病毒ニ感染シ又ハ之ニ原因シテ死亡シタルトキハ本則ノ規定ニ依リ手當金ヲ給ス

第二條 手當金ハ左ノ四種トス

- 一、療治料二、給助料三、吊祭料四、遺族扶助料
- 第三條** 病毒ニ感染シタル者ニハ療治料ヲ給ス治癒シタルトキハ給助料ヲ給シ死亡シタルトキハ其ノ遺族ニ吊祭料及ヒ遺族扶助料ヲ給ス遺族ナキトキハ葬儀ヲ行フ者ニ吊祭料ヲ給ス遺族扶助料ヲ受クベキ準位ハ官吏遺族扶助法ノ例ニ依ル
- 第四條** 手當金給與額ハ別表ニ依ル但シ給料又ハ報酬ヲ受クサルモノニアリテハ給與金最高額ヲ限度トシ市長ニ於テ適宜之ヲ定ム

給料又ハ額	療治料	給助料	吊祭料	遺族扶助料
五十圓以上ノモノ	三圓	三百圓	六十圓	六百圓
三十圓以上ノモノ	二圓五十錢	二百五十圓	五十圓	五百圓
二十圓以上ノモノ	二圓二十錢	二百圓	四十圓	四百圓
十五圓以上ノモノ	一圓八十錢	百五十圓	三十圓	三百圓
十圓以上ノモノ	一圓五十錢	百圓	二十圓	二百圓

〔佐世保市例〕

十圓未滿ノモノ	一圓二十錢	七十圓	十圓	四百五十圓
小使人夫等	一圓	五十圓	十圓	四百圓

〔佐世保市例〕

傳染病豫防救治吏員手當金支給ノ件

明治三十六年七月市參事會議決
傳染病豫防救治ニ從事スル吏員及雇員ニシテ專ラ該病者又ハ病毒汚染ノ虞アル物品ニ接近スル者ニハ其ノ給料月額三分ノ一ノ月手當ヲ給ス

傳染病豫防救治吏員慰勞金支給ノ件

明治三十六年七月市參事會議決
傳染病豫防救治ニ從事スル吏員及雇員ニシテ專ラ該病者又ハ病毒汚染ノ虞アル物品ニ接近シタル者ニハ慰勞金トシテ病毒撲滅ノ後ニ於テ其ノ給料三ヶ月分範圍内ニ於テ市長適宜之ヲ給ス

第四節 恩給

佐世保市恩給條例

大正十三年三月三十一日議決
大正十三年四月二日告示第三十三號
昭和九年八月十七日告示第百二十九號改正

第一章 總則

- 第一條** 本市有給吏員及其ノ遺族ハ本條例ノ定ムル所ニ依リ本市ヨリ恩給ヲ受クルノ權利ヲ有ス
- 第二條** 本條例ニ於テ有給吏員トハ市長、助役、收入役、主事、視學、技師、市醫、書記、技手、防疫事務員、汚物掃除監視吏員、公設市場事務員、職業紹介所事務員、細菌検査助手及棧橋事務員ヲ謂フ
- 第三條** 本條例ニ於テ遺族トハ有給吏員ノ祖父祖母、父母、夫妻子及兄弟姉妹ニシテ有給吏員ノ死亡ノ當時之ト同一戶籍内ニ在ル者ヲ謂フ

第六類 給與 第四節 恩給

有給吏員ノ死亡ノ當時胎兒タル子出生シタルトキハ前項ノ規定ノ適用ニ付テハ有給吏員ノ死亡ノ當時其ノ戸籍内ニ在リタル者ト看做ス

第四條 本條例ニ於テ恩給トハ退隱料、退職給與金死亡給與金、遺族扶助料及一時扶助料ヲ謂フ

退隱料及遺族扶助料ハ年金トシ退職給與金死亡給與金及一時扶助料ハ一時金トス

第五條 恩給ノ年額及一時金額ノ圓位未滿ハ之ヲ圓位ニ滿タシム

第六條 年金タル恩給ノ給與ハ之ヲ給スヘキ事由ノ生シタル月ノ翌月ヨリ之ヲ始メ權利消滅ノ月ヲ以テ終ル

第七條 年金タル恩給ヲ受クルノ權利ヲ有スル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其權利消滅ス

- 一、死亡シタルトキ
- 二、死刑又ハ無期若ハ六年以上ノ懲役若ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタルトキ
- 三、在職中ノ犯罪行為ニ因リ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ
- 四、國籍ヲ失ヒタルトキ

第八條 恩給ヲ受クルノ權利ハ之ヲ給スヘキ事由ノ生シタル日ヨリ七年間請求セサルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

第九條 恩給權者死亡シタルトキハ其生存中ノ恩給ニシテ給與ヲ受ケザリシモノハ之ヲ其ノ遺族ニ給シ遺族ナキトキハ死亡者ノ相續人ニ給ス

前項遺族ノ順位ハ遺族扶助料支給ノ順位ニ依ル

第十條 年金タル恩給ヲ受クルノ權利ハ之ヲ讓渡シ又ハ擔保ニ供スルコトヲ得ス

第十一條 恩給ヲ受クルノ權利ハ市長之ヲ裁定ス

第十二條 有給吏員ハ毎月其ノ給料ノ百分ノ一二相當スル金額ヲ市ニ納付スヘシ

第二章 退隱料

前項ノ退隱料ノ年額ハ在職年十四年以上十五年末滿ニ對シ退職當時ノ給料年額ノ百五十分ノ五十二相當スル金額トシ十四年以上一年ヲ増ス毎ニ其ノ一年ニ對シ退職當時ノ給料年額ノ百五十分ノ一二相當スル金額ヲ加ヘタル金額トス

第十三條 有給吏員職務ノ爲メ傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ不具傷疾ト爲リ失格原因ナクシテ退職シタルトキハ之ニ退隱料ヲ給ス

前項ノ退隱料ノ年額ハ前條第二項ノ金額ニ左ノ金額ヲ加ヘタル金額トス但シ在職年十四年ニ滿タサル者ニ給スヘキ金額ハ退職當時ノ給料年額ノ百五十分ノ五十二相當スル金額ニ左ノ金額ヲ加ヘタル金額トス

一、兩眼ヲ盲シ又ハ二肢以上ヲ亡シタル者 前條第二項ノ金額ノ十分ノ七

二、前號ニ準スヘキ者 同 十分ノ六

三、一肢ヲ亡シ又ハ二肢ノ用ヲ失ヒタルモノ 十分ノ五

四、前號ニ準スヘキ者 同 十分ノ四

五、一眼ヲ盲シ又ハ一肢ノ用ヲ失ヒタルモノ 十分ノ三

六、前號ニ準スヘキ者 同 十分ノ二

本條ノ退隱料ヲ給スル者ニハ前條ノ退隱料ヲ給セス

第十四條 有給吏員職務ノ爲メ傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ失格原因ナクシテ退職シタル後五年内ニ之カ爲メ不具癡疾ト爲リ又ハ其ノ程度増進シタル場合ニ於テ其ノ期間内ニ請求シタルトキハ新ニ退隱料ヲ給シ又ハ現ニ受クル退隱料ヲ不具癡疾ノ程度ニ相應スル退隱料ニ改定ス

第十五條 有給吏員職務ノ爲メ傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ不具

癡疾ト爲ルモ有給吏員ニ重大ナル過失アリタルトキハ前二條ニ規定スル退隱料ヲ給セス

第十六條 在職年三十年ヲ超ユル者ニ給スヘキ退隱料年額ハ之ヲ在職年三十年トシテ計算ス

第十七條 退隱料ヲ受クル者再就職シ失格原因ナクシテ退職シ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ退隱料ヲ改定ス

- 一、再就職後在職一年以上ニシテ退職シタルトキ
- 二、再就職後職務ノ爲メ傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ不具癡疾トナリ退職シタルトキ
- 三、再就職後職務ノ爲メ傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ退職シタル後五年内ニ之カ爲メ不具癡疾ト爲リ又ハ其程度増進シタル場合ニ於テ其期間内ニ請求シタルトキ

第十八條 前條ノ規定ニ依リ退隱料ヲ改定スルニハ前後ノ在職年ヲ合算シ又ハ前後ノ傷疾若ハ疾病ヲ合シタルモノヲ以テ不具癡疾ノ程度トシ其年額ヲ定ム

第十九條 前二條ノ規定ニ依リ退隱料ヲ改定スル場合ニ於テ其ノ年額從前ノ退隱料年額ヨリ少キ時ハ從前ノ退隱料年額ヲ以テ改定退隱料年額トス

第二十條 退隱料ハ之ヲ受クル者左ノ各號ノ一二該當スルトキハ其間之ヲ停止ス

第六類 給與 第四節 恩給

一、有給吏員再就職スルトキハ再就職ノ月ヨリ退職ノ月迄
 二、六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタルトキハ其
 月ノ翌月ヨリ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキ
 ニ至リタル月迄但シ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタルトキ
 ハ退職料ハ之ヲ停止セス其言渡ヲ取消サレタルトキハ取
 消ノ月ノ翌月ヨリ刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコト
 ナキニ至リタル月迄之ヲ停止ス

第二十一條 有給吏員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其引續
 キタル在職年ニ付退職料ヲ受クルノ資格ヲ失フ

一、懲戒ノ處分ニ依リ退職シタルトキ
 二、在職中禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ

第二十二條 有給吏員ノ在職年ハ就職ノ月ヨリ之ヲ起算シ退
 職ノ月ヲ以テ終ル

退職シタル後再就職シタルトキハ前後ノ在職年月數ハ之ヲ
 合算ス但シ一時恩給ノ基礎ト爲ルヘキ在職年ニ付テハ前ニ
 一時恩給ノ基礎ト爲リタル在職年ノ年月數ハ之ヲ合算セス
 退職シタル月ニ於テ再就職シタルトキハ再在職年ハ再就
 職ノ月ノ翌月ヨリ之ヲ起算ス退職料ヲ受クル者前ニ退職給
 與金ヲ受ケタル時ハ最初ノ六年間其ノ退職給與金ノ六分ノ
 一ニ相當スル金額ヲ退職料年額ヨリ控除ス

第二十三條 左ニ掲クル年月數ハ在職年ヨリ之ヲ除算ス

一、退職料ヲ受クルノ權利消滅シタル場合ニ於テ其ノ權利
 ノ基礎ト爲リタル在職年
 二、第二十一條ノ規定ニ依リ有給吏員カ退職料ヲ受クルノ
 資格ヲ失ヒタル在職年

第三章 退職給與金

第二十四條 有給吏員在職年一年以上十四年未滿ニシテ退職
 シタルトキハ之ニ退職給與金ヲ給ス
 前項ノ退職給與金ノ金額ハ退職當時ノ給料月額ニ相當スル
 金額ニ在職年ノ年數ヲ乘シタル金額トス

第四章 死亡給與金

第二十五條 有給吏員在職年一年以上十四年未滿ニシテ在職
 中死亡シタル場合ニハ其ノ遺族ニ死亡給與金ヲ給ス
 前項ノ死亡給與金ノ金額ハ有給吏員ノ死亡ノ當時ノ給料月
 額ニ相當スル金額ニ其ノ有給吏員ノ在職年ノ年數ヲ乘シタ
 ル金額トス第一項ノ遺族ノ順位ハ遺族扶助料支給ノ順位ニ
 依ル

第五章 遺族扶助料

第二十六條 有給吏員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其ノ遺
 族ニハ妻、未成年ノ子、夫、父、母、成年ノ子、祖父祖母

〔佐世保市例〕

ノ順位ニ依リ之ニ遺族扶助料ヲ給ス

一、退職料ヲ給セラルル者死亡シタルトキ
 二、在職中死亡シ其ノ死亡ヲ退職ト看做シ之ニ退職料ヲ給
 スヘキトキ

前項ノ規定ニ依ル同順位ノ子數人アルトキハ有給吏員ヲ被
 相續人トシタル家督相續ノ順位ニ準シ之ヲ定ム、父母ニ付
 テハ養父母ヲ先ニシ實父母ヲ後ニス祖父母ニ付テハ養父母
 ノ父母ヲ先ニシ實父母ノ父母ヲ後ニシ父母ノ養父母ヲ先ニ
 シ實父母ヲ後ニス
 先順位者タルヘキ者後順位者タル者ヨリ後ニ生スルニ至リ
 タルトキハ前三項ノ規定ハ當該後順位者失權シタル後ニ限
 リ之ヲ適用ス

第二十七條 未成年ノ子ハ未ダ婚姻セザルトキニ限り之ニ遺
 族扶助料ヲ給ス

夫又ハ成年ノ子ハ不具癡疾ニシテ生活資料ヲ得ルノ途ナク
 且之ヲ扶養スル者ナキトキニ限り之ニ遺族扶助料ヲ給ス
 養子ハ有給吏員ノ家督相續人タルトキ又ハ有給吏員カ家督
 相續人ニシテ之ヲ戸主ト看做ストキハ其ノ死亡ノ時ニ於テ
 其ノ家督相續人タルヘキ者ニ限り之ニ遺族扶助料ヲ給ス
 前項ノ家督相續人ニハ之ニ準スヘキ者ヲ包含ス

第二十八條 遺族扶助料ノ年額ハ左ノ各號ニ依ル

一、有給吏員公務ニ因ル傷疾疾病ノ爲死亡シタルトキハ退
 職料年額ノ十分ノ八ニ相當スル金額
 二、其他ノ場合ニ於テハ退職料年額ノ十分ノ五ニ相當スル
 金額

第二十九條 有給吏員ノ死亡後遺族左ノ各號ノ一ニ該當スル
 トキハ遺族扶助料ヲ受クルノ資格ヲ失フ

一、子婚姻シ又ハ其ノ家ヲ去リタルトキ但シ父ノ屬シタル
 家ヨリ分家シ又ハ有給吏員ノ妻若ハ子ニシテ分家スルモ
 ノニ伴ヒ其ノ家ニ入りタルトキハ此ノ限ニ在ラス
 二、有給吏員女子ナル場合ニ於テ夫婚姻シ又ハ家ヲ去リタ
 ルトキ

第三十條 遺族扶助料ヲ受クル者六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ
 刑ニ處セラレタルトキハ其ノ月ノ翌月ヨリ其ノ刑ノ執行ヲ
 終リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル月迄遺族扶
 助料ヲ停止ス但シ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ受ケタルトキハ遺
 族扶助料ハ之ヲ停止セス其ノ言渡ヲ取消サレタルトキハ取
 消ノ月ノ翌月ヨリ刑ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナ
 キニ至リタル月迄之ヲ停止ス

〔佐世保市例〕

前項ノ規定ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレ刑ノ執行中又ハ其ノ執行前ニ在ル者ニ遺族扶助料ヲ給スヘキ事由發生シタル場合ニ付之ヲ準用ス

第三十一條 扶助料ヲ給セラレヘキ者

一年以上所在不明ナルトキハ次順位者ノ申請ニ依リ所在不明中遺族扶助料ヲ停止ス

第三十二條 前二條ノ遺族扶助料停止ノ事由アル場合ニ次順位者アルトキハ停止期間中遺族扶助料ハ之ヲ當該次順位者ニ轉給ス

第三十三條 遺族左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ遺族扶助料ヲ受クルノ權利ヲ失フ

- 一、其ノ家ヲ去リタルトキ但シ妻夫ノ屬シタル家ヨリ分家シ又ハ遺族タル子ニシテ分家スルモノニ伴ヒ其ノ家ニ入りタルトキ及子父ノ屬シタル家ヨリ分家シ又ハ有給吏員ノ妻若ハ子ニシテ分家スルモノニ伴ヒ其家ニ入りタルトキハ此ノ限ニ在ラズ
- 二、妻、子又ハ夫婚姻シタルトキ
- 三、不具癡疾ニシテ生活資料ヲ得ルノ途ナク且之ヲ扶養スル者ナキ夫又ハ成年ノ子ニ付其ノ事情止ミタルトキ

第三十四條 有給吏員第二十六條第一項各號ノ一ニ該當シ兄

第三條 第十一條ノ二ノ改正規定ハ本條例施行後就職シ又ハ給料ガ増額セラレタル月ノ翌月ヨリ之ヲ適用ス

第四條 本條例施行ノ際從前ノ規定ニ依リ退職料ニ付テノ最短恩給年限ニ達シタル者ニハ其ノ者ガ本條例施行後改正規定ニ依リ最短恩給年限ニ達セズシテ退職シタル場合ト雖モ退職當時ノ給料ニ依リ之ニ退職料ヲ給ス但シ其ノ年額ハ在職年ノ不足一年ニ付退職當時ノ給料年額ノ百五十分ノ一ニ相當スル金額ヲ控除シタルモノトス

書記補技手補ニ對シ恩給條例適用ノ件

昭和四年二月二十六日決裁

本市恩給條例第二條ニ於テ書記補ナル職名ナケレトモ從來書記ト同一身分ノ者トシテ取扱ハレタルニ付同條ノ有給吏員ト看做シ取扱相成可然乎
技手補ニ就テモ亦同シ

参考(舊規程)

○佐世保市有給吏員退職及死亡給與金條例

第六類 給與 第四節 恩給

弟姊妹以外ニ扶助料ヲ受クル者ナキトキハ其ノ兄弟姊妹、未成年又ハ不具癡疾ニシテ生活資料ヲ得ルノ途ナク且之ヲ扶養スル者ナキ場合ニ限り之ニ一時扶助料ヲ給ス
前項ノ一時扶助料ノ金額ハ兄弟姊妹ノ人員ニ拘ラス扶助料年額ノ一分乃至五分分ニ相當スル金額トス

附則

第三十五條 本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第三十六條 本條例施行ニ必要ナル細則ハ市長之ヲ定ム

第三十七條 佐世保市有給吏員退職及死亡給與金條例ハ本條例施行ノ日ヨリ廢止ス

第三十八條 有給吏員本條例施行ノ前後ヲ通シテ勤績シ在職十二年未滿ニシテ退職若ハ死亡シタル場合ノ退職又ハ死亡給與金ハ本條例施行前日迄ノ在職年數ニ對シテハ從前ノ佐世保市有給吏員退職及死亡給與金條例ノ規定ニ依リ其ノ後ノ在職年數ニ對シテハ本條例ニ依リ合算給與ス但シ俸給額ハ退職當時ノ俸給ニ依ルモノトス

附則

第一條 本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第二條 本條例施行前給與事由ノ生シタル恩給ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル

(佐世保市例)

(佐世保市例)

大正二年七月二十五日議決

大正十三年四月二日廢止

第一條 本市有給吏員ハ本條例ノ規定スル所ニ依リ退職給與金及死亡給與金ヲ受クルノ權利ヲ有ス

第二條 退職給與金ハ在職滿貳年以上五年未滿ニシテ退職シタル者ハ其ノ俸給一ヶ月分五年以上ニシテ退職シタル者ハ其ノ俸給一ヶ月半分ヲ以テ在職年數ノ壹ケ年ニ當テ其ノ年數ニ應ズル金額ヲ一時ニ支給ス
前項ノ支給金額ニ圓位未滿ノ端數ヲ生シタル場合ハ圓位ニ止ム

第三條 在職中特ニ功勞アルモノニハ市會ノ議決ニ依リ前條規定以上ノ金額ヲ給與スルコトヲ得

第四條 死亡給與金ハ滿二年以上在職シ其ノ在職中死亡シタル者ノ遺族ニ之ヲ支給ス

第五條 死亡給與金ノ支給額ニ就テハ第二條及第三條ヲ準用ス

第六條 遺族ノ順位ハ官吏遺族扶助方ノ規定ヲ準用ス

第七條 職務ノ爲死亡シタルトキハ在職年數ニ拘ハラズ死亡當時ノ給料十ヶ月分以内ヲ市長ニ於テ適宜金額ヲ定メ

之ヲ支給ス

第八條 左ニ掲クル事項ノ一ニ當ル者ニハ本條例ノ退職給與金ヲ支給セス

一、本市ヨリ退職料ヲ受ケル者

二、自己ノ便宜ニ依リ解職シタル者

三、懲戒處分ニ依リ解職セラレタル者

四、犯罪ニ依リ免職シタル者

五、禁錮以上ノ刑ノ宣告ヲ受ケタル者

六、國民ノ分限ヲ失ヒタル者

第九條 傳染病豫防救治ニ從事シタルニ依リ病毒ニ感染シ死亡シタル者ニハ本條例ヲ適用セス

第十條 本條例ノ退職給與金ヲ受ケタル者再ヒ就職シ爾後退職シタルトキハ在職年數ヲ其再任ノ月ヨリ起算ス

第十一條 在職年數ハ就職ノ月ヨリ起算シ退職ノ月ヲ以テ終ルモノトス

附則

第十二條 本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十三條 明治四十一年四月一日發布ノ退職給與金規定ハ本條例施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

●佐世保市恩給條例施行細則

大正十三年七月二十五日告示第七十號

昭和九年八月十七日告示第百三十號改正

第一章 恩給ノ請求

第一條 退職料ヲ受ケムトスル者ハ退職料請求書ヲ市長ニ差出スヘシ

第二條 前條ノ恩給請求書ニハ左ノ書類ヲ添付スヘシ

一、在職中ノ履歷書

二、戶籍抄本（退職後請求迄ノ間ニ於テ作製セラレタルモノ）佐世保市恩給條例（以下單ニ恩給條例ト稱ス）第十三條及第十四條ノ規定ニ依リ退職料請求書ニハ前項各號ニ掲ケル書類ノ外左ノ書類ヲ添付スヘシ

一、傷疾疾病ガ公務ニ起因シタルコトヲ認ムルニ足ルヘキ書類（例ヘハ現認者ノ現認證明書、所屬課長ノ事實證明書等）

二、症狀ノ經過ヲ記載シタル書類

三、請求當時ニ於ケル診斷書退職料ヲ改定スル場合ニ於テハ前ニ退職料證書ヲ受ケタルコトアルトキハ前二項各號ニ掲ケル書類ノ外其ノ退職料證書ヲ添付スヘシ

〔佐世保市例〕

〔佐世保市例〕

第三條 遺族扶助料ヲ受ケムトスル者ハ遺族扶助料請求書ヲ市長ニ差出スヘシ

第四條 恩給條例第二十六條第一項第一號ノ規定ニ依リ第一次ニ遺族扶助料ヲ請求スルコトヲ得ル者ガ遺族扶助料ヲ請求スル場合ニ於テハ該請求書ニ左ノ書類ヲ添付スヘシ

一、市吏員ガ既ニ退職料ノ裁定ヲ經タルトキハ其ノ退職料證書及請求者ノ戶籍謄本（市吏員死亡ノ時以後ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ）

二、市吏員カ未ダ退職料ノ裁定ヲ經サルトキハ市吏員在職中ノ履歷書及請求者ノ戶籍謄本（市吏員死亡ノ時以後ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ）

第五條 恩給條例第二十六條第一項第二號ノ規定ニ依リ第一次ニ遺族扶助料ヲ請求スルコトヲ得ル者カ遺族扶助料ヲ請求スル場合ニ於テハ該請求書ニ左ノ書類ヲ添付スヘシ

一、市吏員在職中ノ履歷書

二、請求者ノ戶籍謄本（市吏員死亡ノ時以後ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ）

前項ノ場合ニ於テ市吏員前ニ退職料證書ヲ受ケタルコトアルトキハ前項各號ニ掲ケル書類ノ外其ノ退職料證書ヲ添付スヘシ

第六條 前二條ノ場合ニ於テ市吏員ノ死亡ガ公務ニ因ル傷疾疾病ニ起因スルトキハ前二條ノ規定ニ依リノ外扶助料請求書ニ第二條第二項第一號及第二號ニ掲ケル書類並死亡者ノ死亡診斷書又ハ死體檢案書ニ添付スヘシ

前項ノ死亡診斷書又ハ死體檢案書ヲ添付スルコトヲ得サル場合ニ於テハ死亡ノ事實ヲ證スル公ノ證明書ヲ添付スヘシ

第七條 恩給條例第二十六條第一項各號ノ規定ニ依リ第二次以下ニ於テ遺族扶助料ヲ請求スルコトヲ得ル者カ遺族扶助料ヲ請求スル場合ニ於テハ該請求書ニ左ノ書類ヲ添付スヘシ

一、前遺族扶助料權者カ遺族扶助料ヲ受ケルノ權利ヲ失ヒタルコトヲ證スル書類

二、前遺族扶助料權者ノ遺族扶助料證書

三、請求者ノ戶籍謄本（市吏員死亡ノ時以後ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ）

前項ノ場合ニ於テ前遺族扶助料權者カ未ダ遺族扶助料ノ裁定ヲ經サルトキハ前項第一號ニ掲ケル書類及前遺族扶助料權者カ遺族扶助料ヲ請求スル場合ニ添付スルコトヲ要スル書類ヲ添付スヘシ

第八條 恩給條例第二十七條第二項ニ規定スル遺族扶助料ヲ請求スル場合ニハ第五條乃至前條ノ規定ニ依リノ外遺族扶助料

第六類 給與 第四節 恩給

助料請求書ニ不具痲疾ヲ證スル診斷書及生活資料ヲ得ルノ途ナク且扶養スル者ナキコトヲ證スル市町村長又ハ之ニ準スヘキ者ノ證明書ヲ添付スヘシ

第九條 恩給條例第三十一條ノ規定ニ依リ遺族扶助料ノ停止ヲ申請スル者ハ遺族扶助料停止申請書ニ左ノ書類ヲ添付シ市長ニ之ヲ差出スヘシ

一、遺族扶助料權者ノ所在不明ナルコトヲ證スル公ノ證明書
二、請求者ノ戶籍謄本（市吏員死亡ノ時以後ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ）

前項ノ場合ニ於テハ同時ニ恩給條例第三十二條ノ規定ニ依リ遺族扶助料轉給ノ請求ヲ爲スヘシ

第十條 恩給條例第三十二條ノ規定ニ依リ遺族扶助料ノ轉給ヲ請求スル者ハ其事由ヲ記載シタル遺族扶助料轉給請求書ニ請求者ノ戶籍謄本（市吏員死亡ノ時以後ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ）ヲ添付シ市長ニ之ヲ差出スヘシ但シ前條ノ規定ニ依リ請求者ノ戶籍謄本ヲ添付シタル場合ニ於テハ其ノ添付ヲ要セス

第十一條 退職給與金ヲ受ケムトスル者ハ退職給與金請求書ニ在職中ノ履歷書ヲ添付シ市長ニ差出スヘシ

前項ノ請求ヲ爲サムトスル場合ニ於テハ其ノ請求書ニ左ノ書類ヲ添付スヘシ

一、市吏員在職中ノ履歷書
二、請求者ノ戶籍謄本（市吏員死亡當時ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ）
三、死亡診斷書又ハ屍體檢案書

第十二條 恩給條例第二十五條ノ規定ニ依リ死亡給與金ヲ受ケムトスル者ハ死亡給與金請求書ヲ市長ニ差出スヘシ前項ノ請求ヲ爲サムトスル場合ニ於テハ其ノ請求書ニ左ノ書類ヲ添付スヘシ

一、市吏員在職中ノ履歷書
二、請求者ノ戶籍謄本（市吏員死亡當時ノ請求者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ）
三、死亡診斷書又ハ屍體檢案書

第十三條 恩給條例第三十四條ノ規定ニ依リ一時扶助料ヲ受ケムトスル者ハ一時扶助料請求書ヲ市長ニ差出スヘシ前項ノ請求ヲ爲サムトスル場合ニ於テハ其ノ請求書ニ不具痲疾ヲ證スル診斷書及生活資料ヲ得ルノ途ナク且扶養スル者ナキコトヲ證スル市町村長又ハ之ニ準スヘキ者ノ證明書ノ外左ノ書類ヲ添付スヘシ

〔佐世保市例〕

一、市吏員カ既ニ退隱料ノ裁定ヲ經タルトキハ其退隱料證書及請求者ノ戶籍謄本（市吏員死亡當時請求者トノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ）

二、市吏員カ未タ退隱料ノ裁定ヲ經サルトキハ市吏員在職中ノ履歷書及請求者ノ戶籍謄本（市吏員死亡當時請求者トノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ）

第十四條 恩給請求書類ハ別紙（第一號乃至第十六號）様式ニ依リ作製スヘシ

第二章 恩給ノ裁定

第十五條 市長ニ於テ恩給請求書ヲ受付ケタルトキハ之ヲ審査シ恩給ヲ受ケル權利アリト認メタルトキハ年金タル恩給ニ付キテハ退隱料證書又ハ遺族扶助料證書ヲ、一時金タル恩給ニ付キテハ裁定通知書ヲ交付ス市長ニ於テ恩給ヲ受ケル權利ナシト認メタルトキハ理由ヲ附シテ其ノ請求書ヲ却下ス

第十六條 權利者ニ於テ恩給ノ裁定ニ誤謬アルコトヲ發見シタルトキハ證據書類ヲ添付シ裁定ノ改訂ヲ請求スヘシ市長ニ於テ恩給ノ裁定ニ誤謬アルコトヲ認メタルトキハ其ノ誤謬ヲ訂正シ又ハ裁定ヲ改訂ス前項ノ場合ニ於テハ權利者ニ之ヲ通知シ又ハ新證書ヲ交付

第六類 給與 第四節 恩給

〔佐世保市例〕

第十七條 市長ノ審査上必要アリト認ムルトキハ請求者ニ出頭ヲ命ジ又ハ必要ナル書類ノ提出ヲ命スルコトアルヘシ

第三章 恩給ノ支給

第十八條 年金タル恩給ノ支給ヲ受ケムトスル者ハ毎年一月、四月、七月、十月ノ四期ニ於テ各其ノ前月分迄ノ請求書ヲ毎期十日迄ニ到着スル様市長ニ差出スヘシ但シ前支給期月ニ支給スヘカリシ恩給ハ支給期月ニ拘ラス支給ス

前項ノ請求ヲ爲サムトスル者ハ現住地市町村長若ハ之ニ準スヘキ者ノ現住證明ヲ與書シタル請求書ニ退隱料ニ於テハ恩給條例第七條及第二十條第二號ニ遺族扶助料ニ於テハ第二十九條第三十條及第三十三條ニ抵觸セサル旨ノ本籍市町村長又ハ之ニ準スヘキ者ノ證明書ヲ添付スヘシ

第十九條 第二十條ノ規定ニ依リ支給スル恩給又ハ新ニ證書ヲ下付セラレ若ハ權利消滅等ノ事由ニ依リ支給期月ニ拘ラス支給ヲ受ケムトスル者ハ其都度請求書ヲ差出スヘシ

第二十條 恩給ヲ受ケル者死亡シタル爲遺族ニ於テ其生存中ニ係ル給額ヲ受領セムトスルトキハ恩給條例第二十六條第一項ニ規定スル相當順位者ハ自己ノ名ヲ以テ死亡者ノ恩給ノ請求ヲ爲スコトヲ得

第二十一條 前條ノ規定ニ依リ恩給ノ支給ヲ受ケムトスル者ハ其ノ請求書ニ請求者ノ戸籍謄本(死亡シタル權利者ノ死亡當時ニ於ケル請求者ノ身分關係ヲ明瞭ニシ得ルモノ)ヲ添付シ市長ニ差出スヘシ

第四章 異動通知

第二十二條 年金タル恩給ノ支給ヲ受ケル者恩給條例第二十条第二十九條第三十條又ハ第三十三條ノ規定ニ該當スルトキ及第二十七條第一項ノ未成年ノ子婚姻シタルトキハ證據書類ヲ添ヘ本人ノ遺族又ハ縁故者ヨリ速ニ其ノ旨ヲ市長ニ届出ツヘシ

第二十三條 年金タル恩給ヲ受ケル者其ノ本籍又ハ現住所ヲ變更シタルトキハ速ニ其ノ旨ヲ市長ニ届出ツヘシ

第五章 退隱料又ハ扶助料證書ノ返還及再交付

第二十四條 年金タル恩給ヲ受ケル者死亡シ又ハ受ケル權利ヲ失ヒタル場合ニ於テ恩給ヲ受ケヘキ順位者ナキトキハ恩給證書ヲ速ニ市長ニ返還スヘシ

第二十五條 恩給證書若ハ裁定通知書ヲ亡失シ又ハ毀損シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ證據書類ヲ添ヘ市長ニ其ノ再交付ヲ申請スルコトヲ得

ヲ申請スルコトヲ得 前項ノ規定ニ依リ恩給證書又ハ裁定通知書ノ再交付ヲ申請セムトスル者ハ再交付申請書ヲ作製シ左ノ書類ヲ添付シ市長ニ差出スヘシ

一、恩給證書又ハ裁定通知書ヲ亡失シタルモノナルトキハ死亡ノ顛末及其ノ後ニ於テ執リタル措置ヲ記載シタル書類並其ノ事實ヲ證明スルニ足ルヘキ警察官署等ノ公ノ證明書但シ裁定通知書ヲ亡失シタル場合ニ於テハ警察官署等ノ公ノ證明ヲ要セス

二、恩給證書又ハ裁定通知書ヲ毀損シタルモノナルトキハ其ノ顛末書又ハ毀損シタル恩給證書又ハ裁定通知書

第二十六條 恩給證書又ハ裁定通知書ノ再交付アリタルトキハ從前ノ恩給證書又ハ裁定通知書ハ其效力ヲ失フ亡失ナリ由トシテ恩給證書又ハ裁定通知書ノ再交付アリタル後從前ノ恩給證書又ハ裁定通知書ヲ發見シタルトキハ速ニ市長ニ返還スヘシ

第二十七條 年金タル恩給ヲ受ケル者其ノ氏名ヲ變更シタルトキハ恩給證書ニ戸籍抄本ヲ添ヘ其ノ旨ヲ市長ニ届出ツヘシ 前項ノ場合ニ於テ市長ハ恩給證書ニ改氏名ノ事實ヲ記載シ

タル上權利者ニ返付ス

第六章 恩給基金ノ整理

第二十七條ノ二 納付金ハ收入役ニ於テ給料ヨリ控除ス

第二十七條ノ三 基金ハ各會計毎ニ別記第十七號様式ノ恩給基金整理簿ニ依リ之ヲ整理ス

第二十七條ノ四 納付金ハ個人別ニ別記第十八號様式ノ納付金人名別内譯表ニ依リ之ヲ整理シ之ヲ收入役ニ通知ス

附則

第二十八條 本則ハ大正十三年四月二日ニ選リ之ヲ施行ス

第一號書式

退隱料請求書

年 月 日(職名)ヲ退職致候ニ付退隱料ヲ給與相成 證據書類相添ヘ請求候也

本籍地 現住所

退隱當時ノ職名

年 月 日

氏

名印

佐世保市長氏名殿

第二號書式

退隱料請求書

第六類 給與 第四節 恩給

年 月 日(職名)ヲ退職致候ニ付恩給條例第十三條(又ハ第十四條)ノ規定ニ依リ退隱料ヲ給與(改定)相成證據書類相添ヘ請求候也

本籍地 現住所

退職當時ノ職名

年 月 日

氏

名印

佐世保市長氏名殿

第三號書式

遺族扶助料請求書

右者 年 月 日死亡候ニ付遺族扶助料ヲ給與相成 證據書類相添ヘ請求候也

本籍地 現住所

年 月 日

氏

名印

佐世保市長氏名殿

第四號書式

遺族扶助料請求書

前遺族扶助料權者 氏

名

第六類給與 第四節恩給

右者 年 月 日失權候ニ付扶助料ヲ給與相成度證據書類相添へ請求候也

市吏員又ハ退隱料權者トノ身分關係

本籍地
現住所
年 月 日
氏 名印

佐世保市長氏名殿

第五號書式

年 月 日(職名)ヲ退職致候ニ付退職給與金ヲ給與相成度履歷書相添へ請求候也

本籍地
現住所

退職當時ノ職名

年 月 日
氏 名印

佐世保市長氏名殿

第六號書式

退職給與金請求書
年 月 日(職名)ヲ退職致候處 年 月 日ヨリ 年 月 日迄(職名)トシテ就職致候ニ付退職給與金ヲ給與相成度履歷書相添へ請求候也

本籍地
現住所

退職當時ノ職名

年 月 日
氏 名印

佐世保市長氏名殿

第七號書式

一時扶助料請求書
市吏員又ハ退隱料權者ノ退職當時ノ職名氏 名
右者 年 月 日死亡ニ付恩給條例第三十四條ノ規定ニ依リ一時扶助料ヲ給與相成度證據書類相添へ請求候也

本籍地
現住所

市吏員又ハ退隱料權者トノ身分關係

年 月 日
氏 名印

佐世保市長氏名殿

第八號書式

死亡給與金請求書
市吏員職名 氏 名
右者 年 月 日在職中死亡候ニ付恩給條例第二十二條ノ規定ニ依リ死亡給與金ヲ給與相成度證據書類相添へ請求候也

〔佐世保市例〕

五條ノ規定ニ依リ死亡給與金ヲ給與相成度證據書類相添へ請求候也

本籍地
現住所

市吏員トノ身分關係

年 月 日
氏 名印

佐世保市長氏名殿

第九號書式

遺族扶助料轉給請求書
停止中ノ遺族扶助料權者 氏 名
右者犯罪(所在不明)ニ因ル遺族扶助料停止期間中遺族扶助料ヲ轉給相成度證據書類相添へ請求候也

本籍地
現住所

市吏員トノ身分關係

年 月 日
氏 名印

佐世保市長氏名殿

第十號書式

遺族扶助料停止申請書
停止セラルヘキ遺族扶助料權者 氏 名
第六類給與 第四節恩給

右者 年 月 日以來所在不明ニ付遺族扶助料ヲ停止相成度證據書類相添へ申請候也

本籍地
現住所

市吏員トノ身分關係

年 月 日
氏 名印

佐世保市長氏名殿

第十一號書式

再審査請求書
年 月 日退職ニ因リ退隱料及増加退隱料ヲ給セラレ候處未タ傷痍(疾病)回復セサルヲ以テ再審査相成度證據書類相添へ請求候也

本籍地
現住所

退職當時ノ職名

年 月 日
氏 名印

佐世保市長氏名殿

第十二號書式

履歷書
元職名 氏 名
年月日生

年月日	記事	發令者(本市關係分)

右相違無之候也

年月日

氏

名印

備考

一、履歷書ハ一通提出スヘシ

一、學歷、位記、勳記、賞與及本廳關係以外ノ記事ハ要

セス

一、公職ノ任免轉任昇給等順ヲ逐ヒ間隙ナキ様詳記スヘシ

第十三號書式

現認證明書

市吏員ノ職名

氏 名

右者年月日午前(後)時何地ニ於テ(何)ニ從事中(何)ニ因リ(何)ノ事情ノ下ニ負傷(發病)シタルコトヲ現認候也

現住所又ハ官職名

年月日

現認者 氏

名印

備考

本證明書ニハ傷病當時ノ狀況ヲ成ルヘク詳細ニ記載シ現認者多數アルトキハ二名以上連名スヘシ

第十四號書式

事實證明書

市吏員ノ職名 氏

名

右者 年 月 日ヨリ(何)ニ從事中 年 月 日(何)ノ狀況ニ於テ(何)ニ從事シ 月 日頃ヨリ

(何)ノ病狀アルヲ訴ヘ爾後(何)ノ處置ヲ施シタリ

右證明ス

所屬長 氏

名印

〔佐世保市例〕

年月日

備考

一、本證明書ニハ公務傷病ノ原因タル事實ヲ詳細ニ記載スヘシ

第十五號書式

退隱料又ハ扶助料證書(裁定通知書)再交付申請書

一、證書ノ記號番號(裁定通知書ノ番號)

一、證書ノ日附(裁定通知書ノ日附)

一、退隱料(扶助料)

右退隱料(扶助料)證書(裁定通知書)ヲ亡失(毀損)致候ニ付再交付相成度申請候也

年月日

退職當時ノ職名又ハ市吏員トノ身分關係

本籍地

現住所

氏

名印

〔佐世保市例〕

佐世保市長氏名殿

第十六號書式

退隱料(增加退隱料又ハ遺族扶助料)金請求書

第 號(證書番號)

年額 金 何 圓

一金 圓 錢 也

但何年何月渡分

右請求候也

現住所

元職名

氏 名印

又ハ何職何某寡婦(其他續柄)

氏 名印

佐世保市長氏名殿

備考

一、請求者未成年者ナルトキハ親權者又ハ後見人連署ス

ベシ

● 恩給證書其他恩給ニ關スル 諸様式

大正十三年十一月四日伺定

一、恩給證書、恩給原簿用紙及恩給裁定用紙ノ様式ヲ定ムルコト左ノ如シ

但シ恩給證書ノ紙質及寸法左ノ如シ

紙質 鳥ノ子厚手

豎 七寸五分

横 一尺二分

退隱料證書 (表面)

退第 號

恩給證書

元佐世保市

年 月 日生

年 月 退職

退隱料年額金 圓

右佐世保市恩給條例ニ依リ給ス

年 月 日

佐世保市長

(裏面)

一、恩給ヲ受ケルノ權利ハ之ヲ讓渡シ又ハ擔保ニ供スルコトヲ得ス

一、表書ノ年額ハ毎年四月、七月、十月及翌年一月ノ四期

ニ於テ各其ノ前月分迄ヲ支給ス其ノ支給ヲ受ケムトスル

トキハ現住市町村長若ハ之ニ準スヘキ者ノ現住ノ旨與書

證明シタル請求書ニ左ノ各號ニ牴觸セサル旨ノ證明書ヲ

添付シ市長ニ提出スヘシ

一、死刑又ハ無期若ハ六年以上ノ懲役若ハ禁錮ノ刑ニ處

セラレタル者

二、六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ其ノ執行中

ノ者

三、國籍ヲ喪失シタル者

一、受給者其ノ本籍又ハ現住所ヲ變更シタルトキハ速ニ市

長ニ届出ツヘシ

一、受給者ノ氏名ヲ變更シタルトキハ本證書及戶籍抄本ヲ

添ヘ其ノ旨ヲ市長ニ届出ツヘシ

一、本證書ヲ亡失シ又ハ毀損シタルトキハ其ノ事由ヲ具シ

證據書類ヲ添ヘ市長ニ證書ノ再交付ヲ申請スルコトヲ得

證書ノ再交付アリタルトキハ從前ノ證書ハ其ノ效力ヲ失

(佐世保市例)

(佐世保市例)

フ亡失ヲ理由トシテ證書ノ再交付ヲ受ケタル後從前ノ證書ヲ發見シタルトキハ速ニ之ヲ返還スヘシ

一、受給者死亡シタル場合ニ於テ佐世保市恩給條例ニ依リ

扶助料ヲ受ケヘキ遺族アルトキハ本證書ヲ添ヘ扶助料ヲ

請求スヘシ

其ノ遺族ナキトキハ本證書ノ占有者ハ速ニ之ヲ返還スヘシ

扶助料證書 (表面)

扶助 號

恩給證書

元佐世保市

年 月 日生

扶助料起算ノ初月 年 月

遺族扶助料年額金 圓

右佐世保市恩給條例ニ依リ給ス

年 月 日

佐世保市長

(裏面)

一、恩給ヲ受ケルノ權利ハ之ヲ讓渡シ又ハ擔保ニ供スルコトヲ得ス

一、表書ノ年額ハ毎年四月、七月、十月及翌年一月ノ四期

ニ於テ各其ノ前月分迄ヲ支給ス其ノ支給ヲ受ケムトスル

トキハ現住市町村長若ハ之ニ準スヘキ者ノ現住ノ旨與書

證明シタル請求書ニ左ノ各號ニ牴觸セサル旨ノ證明書ヲ

添付シ市長ニ提出スヘシ

一、死刑又ハ無期若ハ六年以上ノ懲役若ハ禁錮ノ刑ニ處

セラレタル者

二、六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ其ノ執行中

恩給金額											年度別	每期給額	
大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正			
年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	一期 三月二月	年度別	圓
月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	二期 六月五月		圓
月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	三期 九月八月		圓
月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	四期 十二月十一月		圓
大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	年度別		圓
年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	一期 三月二月		圓
月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	二期 六月五月		圓
月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	三期 九月八月		圓
月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	四期 十二月十一月		圓

〔佐世保市例〕

恩給金額											年度別	每期給額	
大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正			
年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	一期 三月二月	年度別	圓
月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	二期 六月五月		圓
月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	三期 九月八月		圓
月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	四期 十二月十一月		圓
大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	大正	年度別		圓
年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	年度	一期 三月二月		圓
月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	二期 六月五月		圓
月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	三期 九月八月		圓
月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	月日	四期 十二月十一月		圓

〔佐世保市例〕

●市吏員恩給額算定標準ニ關スル件

昭和五年五月五日決裁

本市恩給條例ニ依ル恩給額ノ裁定ハ昭和五年三月二十九日市會ニ於テ議決シタル市吏員給料條例左記議決條件ニ依リ取扱相成可然乎

記

本條例第六條ノ兼務ヲ命セラレタル者ノ兼務給ハ吏員恩給額算定標準額ニ算入セサルモノトス

●佐世保市雇傭人解職及死亡

給與金規程

大正十三年七月十七日議決
大正十三年七月十八日告示第六十一號

大正十四年七月二十二日告示第八十一號改正

第一條 本市雇傭人ニシテ解職又ハ死亡シタル場合ハ本規程ニ依リ給與金ヲ給與ス

第二條 本規程ニ於テ雇傭人トハ雇、守衛、看護婦、學校醫

助手、圖書館助手、電話係、給仕、使丁職工、水栓手、常傭工夫、常傭人夫、屠夫、橋夫其ノ他之ニ準スヘキ者ヲ謂フ但シ兼務ノ者ハ此ノ限ニ在ラス

第三條 雇傭人ヲ解職シタル場合ハ勤続滿二年以上ノ者ハ左ノ割合ヲ以テ勤続年數ノ一年ニ當テ其ノ年數ニ應スル金額ヲ一時ニ給與ス但シ勤続年數ハ二十年ヲ以テ之ヲ止ム月給者ハ解職當時ノ月給一ヶ月分

日給者ハ在職十年未滿ノ者ハ解職當時ノ日給二十日分トシ在職滿十年以上ノ者ハ解職當時ノ日給三十日分
前各項ノ金額ニ圓位未滿ノ端數ヲ生スル場合ハ之ヲ圓位ニ滿タシム

第四條 雇傭人滿二年以上在職シ死亡シタル場合ハ其ノ遺族ニ死亡給與金ヲ給與ス死亡給與金ノ支給額ハ前條ノ規程ヲ準用ス

第五條 職務ノ爲死亡シ又ハ傷疾ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ之方爲解職シタルトキハ解職又ハ死亡給與金ヲ給シ仍其ノ半額ニ當ル金額迄ヲ増加給與スルモノトス
前項ノ解職及死亡給與金ハ在職年數二年以上ノ者ニ付テハ前二條ニ依リ算出シタル金額、二年未滿ノ者ニ付テハ二年ノ者ニ給スル額トス

〔佐世保市例〕

〔佐世保市例〕

本條ノ增加給與金ハ死亡ノ狀況、傷疾疾病ノ程度ニ依リ市長適宜之ヲ定ム

第六條 左ニ掲クル事項ノ一ニ該當スル者ニハ解職給與金ヲ給與セス

一、本市ヨリ退隱料ヲ受クル者

二、懲戒ニ依リ解職セラレタル者

三、禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

第七條 勤続年數ハ就職ノ月ヨリ起算シ解職ノ月ヲ以テ終ル

第八條 死亡給與金ヲ給與スル遺族ノ順位ハ本市恩給條例ニ依ル

附則

第九條 本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十條 佐世保市諸傭人一時給與金規程ハ本規程施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス

●佐世保市雇傭人解職及死亡

給與金規程第二條中雇傭人

ニ準スヘキ者ノ範圍ノ件

第六類 給與 第四節 恩給

二〇九

昭和五年四月二十五日廳達第十四號

昭和五年九月十五日廳達第二十三號改正

昭和八年三月三十一日廳達第八號改正

昭和八年九月一日廳達第十七號改正

本市雇傭人解職及死亡給與金規程第二條中雇傭人ニ準スヘキ者ノ範圍ヲ左ノ通定ム

火葬場機關手、測量手、保健婦、タイピスト、園丁、給水夫、都市計畫測量夫、土木工夫、修路夫、建築工夫、衛生夫、便所掃除人夫、自動車運轉手、自動車車掌、自動車修理工、掃除夫、掃除婦、ローラー運轉手、船長、機關士、船夫、火葬場助手、浴場機關手、見習職工

●恩給法ニ依ル給與ヲ受ケサル本市立學校職員退職又ハ死亡給與金給與ノ件

大正十三年七月十七日議決
大正十三年七月十八日告示第六十八號

恩給法ニ依ル給與ヲ受ケサル本市立學校職員ニシテ退職又ハ死亡シタルトキハ佐世保市雇傭人解職及死亡給與金規程ニ準

シ給與金ヲ給與ス但シ佐世保市立小學校教員退職慰勞金給與規程廢止ノ件但書該當者ノ勤続年數ハ大正十三年四月一日ヨリ起算ス

附則

本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●小學校教員退職慰勞金給與規程廢止ノ件

大正十三年三月三十一日一三三號第四百四十號許可
大正十三年三月三十一日一三三號第四百四十號許可
大正十三年四月二日告示第三十三號

市會ノ議決ヲ經佐世保市立小學校教員退職慰勞金給與規程ハ大正十三年三月三十一日限り之ヲ廢止ス但シ規程廢止前ヨリ引續キ在職スル者ニシテ將來退職スル場合ハ從前ノ規程ニ依リ慰勞金ヲ給與ス其ノ給與金額ハ規程廢止當時ノ月俸額ト廢止當日迄ノ在職年數トヲ標準トシテ算定シ規程廢止當日在職シ其ノ在職年數三年未滿ノ者ニ對シテハ本俸一ヶ月分ヲ給與ス

參考

○佐世保市立小學校教員退職慰勞金給與規程
第一條 滿三ヶ年以上本市小學校ニ在職セル教員ニシテ自己ノ便宜ニヨラス退職セシ場合ハ慰勞金ヲ給與ス

前項ニ該當セル者ニシテ在職中死亡セシトキハ其ノ遺族ニ慰勞金ヲ給與ス

第二條 給與金額ノ標準ハ本市在職滿三ヶ年ヲ本俸一ヶ月半トシ以上滿二ヶ年ヲ加フル毎ニ本俸一ヶ月半分ヲ加フ

第三條 第一條ニ該當スルモノニシテ本市教育上特ニ功勞顯著ナリト認ムルモノハ第二條ノ標準額ヲ超ヘテ給與スルコトアルヘシ

第四條 休職期間(學校修學期間ハ除ク)ハ通算ス

第五條 此規程ニ依リ一旦給與ヲ受ケシモノ再ヒ就職シタル場合ハ再任ノ日ヨリ起算ス

第六條 教育上特ニ功勞アル者ハ前各條ノ規程ニ依ラス慰勞金ヲ給與スルコトアルヘシ

〔佐世保市例〕

第五節 被服其ノ他

●被服並附屬品給與規程

大正十年七月二十日議決
大正十年七月二十六日廳達第七號

大正十四年四月二十六日改正
昭和四年三月九日告示第十九號改正
昭和五年三月二十日告示第三十七號改正
昭和六年四月一日告示第二十九號改正
昭和八年三月十七日廳達第六號改正
昭和九年十月十五日廳達第十五號改正

第一條 給與品ハ每給與期ニ於テ其ノ種別品質代價保存期間給與ノ要否其他必要ナル事項ヲ調査シ其ノ都度市長之ヲ決定ス

第二條 長靴及短靴ハ給與期ニ於ケル時價ヲ以テ現金給與チ爲スコトヲ得

第三條 給與品ノ種別保存期間及其ノ給與ヲ受クベキ者ノ範圍ハ別表ノ定ムル所ニ依ル

給與品ノ夏期用ハ五月中ニ冬期用ハ九月中ニ之ヲ支給シ其ノ保存期間ハ支給ノ翌月ヨリ之ヲ起算ス

前項以外ノ給與品ハ保存期間開始ノ日ニ之ヲ給與ス
第二項ノ給與期以外ニ於テ給與ヲ要スル場合ハ一時現在品

第六類 給與 第五節 被服其ノ他

〔佐世保市例〕

ヲ貸與シ次ノ給與期ニ於テ新品ト引替ヘ現在品ヲ以テ代用シ難キ事由アルトキハ新品ヲ給與シ其ノ保存期間ノ計算ニ付テハ次ノ當該給與期ニ給與シタルモノト看做ス

第四條 轉職休職退職若ハ死亡シタルトキハ其ノ給與品保存期間内ニアルモノハ總テ之ヲ返納セシム但シ代金給與ノ場合ハ月割ヲ以テ殘額ニ對スル相當金額ヲ辨償セシム

第五條 第三條ノ期間中故意又ハ自己ノ過失ニ依リ汚染若ハ破損シ使用ニ堪ヘサラシメ又ハ亡失シタルトキハ調製價格ノ月割ヲ以テ殘額ニ對スル相當金額ヲ辨償セシム

第六條 修補等保存使用ニ要スル費用ハ總テ使用者ノ自辨トス

第七條 兼務職ニ對シテハ被服其ノ他附屬品ヲ給與セス但シ特ニ給與ノ必要アリト認メラル、モノニアリテハ此ノ限ニ在ラス

附則

本規程ノ改正ハ昭和八年度ヨリ之ヲ施行ス

本規程施行前受ケタル給與品ニシテ第三條第二項ノ給與期以外ニ於テ保存期間ノ滿ツル場合ハ次ノ當該給與期迄之ヲ延長ス

服制ハ別段ノ定メアルモノ、外市長之ヲ定ム

第六類給與 第五節被服其ノ他

第一號表

種別	職別	保		存		期	
		年	月	年	月	年	月
帽	子	三	年	三	年	三	年
夏服		三	年	二	年	二	年
冬服		三	年	三	年	二	年
日覆		三	年	三	年	三	年
帽章		無	期	無	期	無	期
外套	套	四	年	四	年	四	年
長靴		三	年	二	年六月	二	年六月
短靴		一	年	一	年	一	年
雨合羽		三	年	三	年	二	年

外勤吏員、掃除監視吏員、書記及雇
(公設市場、魚市場、棧橋、荷揚場
=勤務スル者及自動車ノ操車監
督=從事スル者、消毒=從事ス
ル者)守衛、保健婦

水栓手、職工

火葬場機關手、電工兼機關手、
火夫、消毒夫、火葬場助手、男
給仕、使丁、園丁、棧橋々夫、給
水夫、掃除夫

第二號表

〔佐世保市例〕

第三號表

種別	職別	保		存		期	
		年	月	年	月	年	月
帽	子	一	年	一	年	一	年
夏服		一	年	一	年	一	年
冬服		一	年	一	年	一	年
日覆		二	年	二	年	二	年
帽章		無	期	無	期	無	期
外套	套	二	年	二	年	二	年
短靴		一	年	一	年	一	年
雨合羽		一	年	一	年	一	年

自動車運轉手、自動車々掌、船員

自動車々掌

三期

年

無期

期

要

自動車修理工、タイピスト、女給仕、電話掛、掃除夫

電話掛、タイピスト

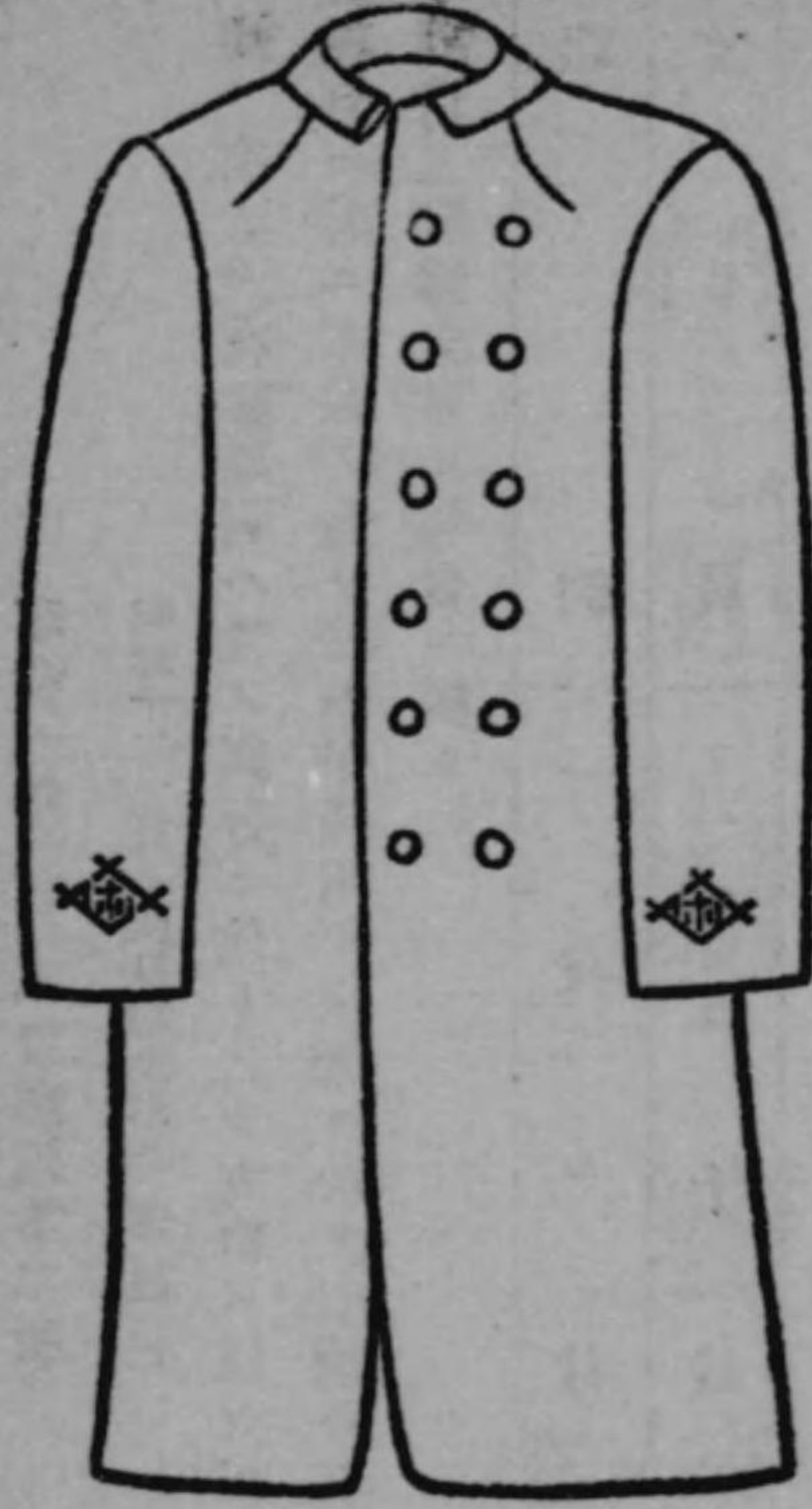
一二年

女給仕ニハ支給セズ

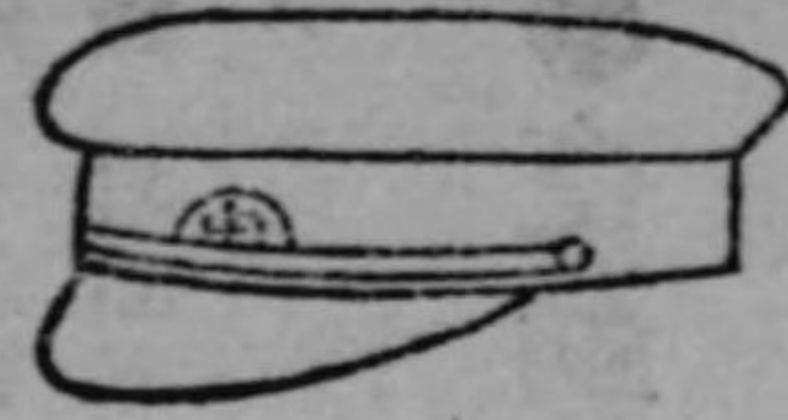
自動車修理工ノミニ給與

第六類給與 第五節被服其ノ他

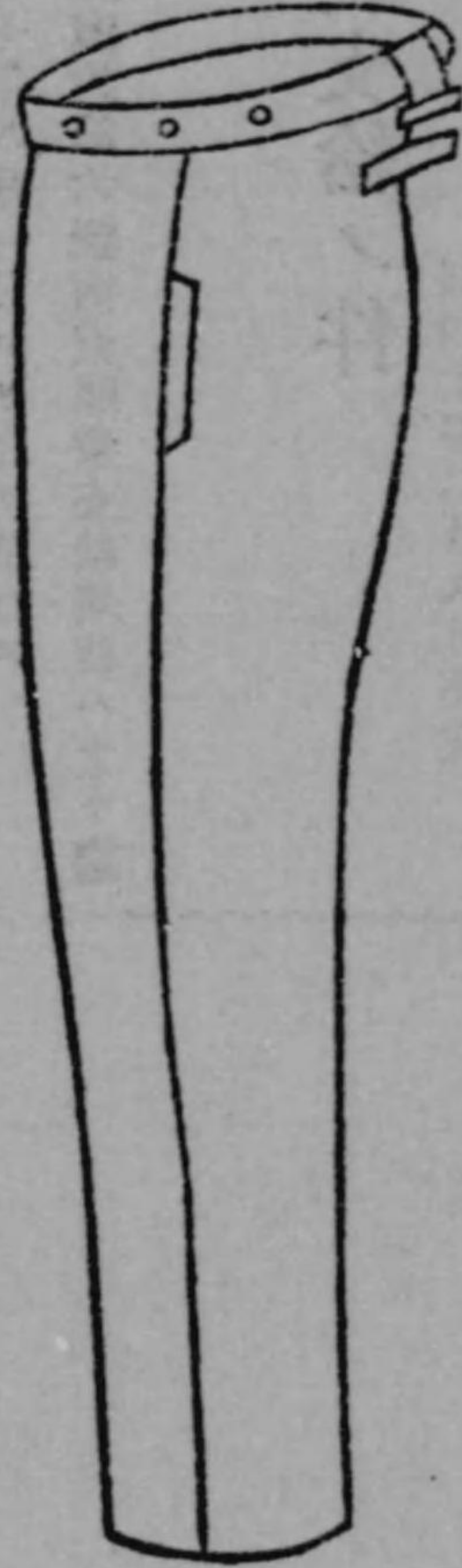
面前套外



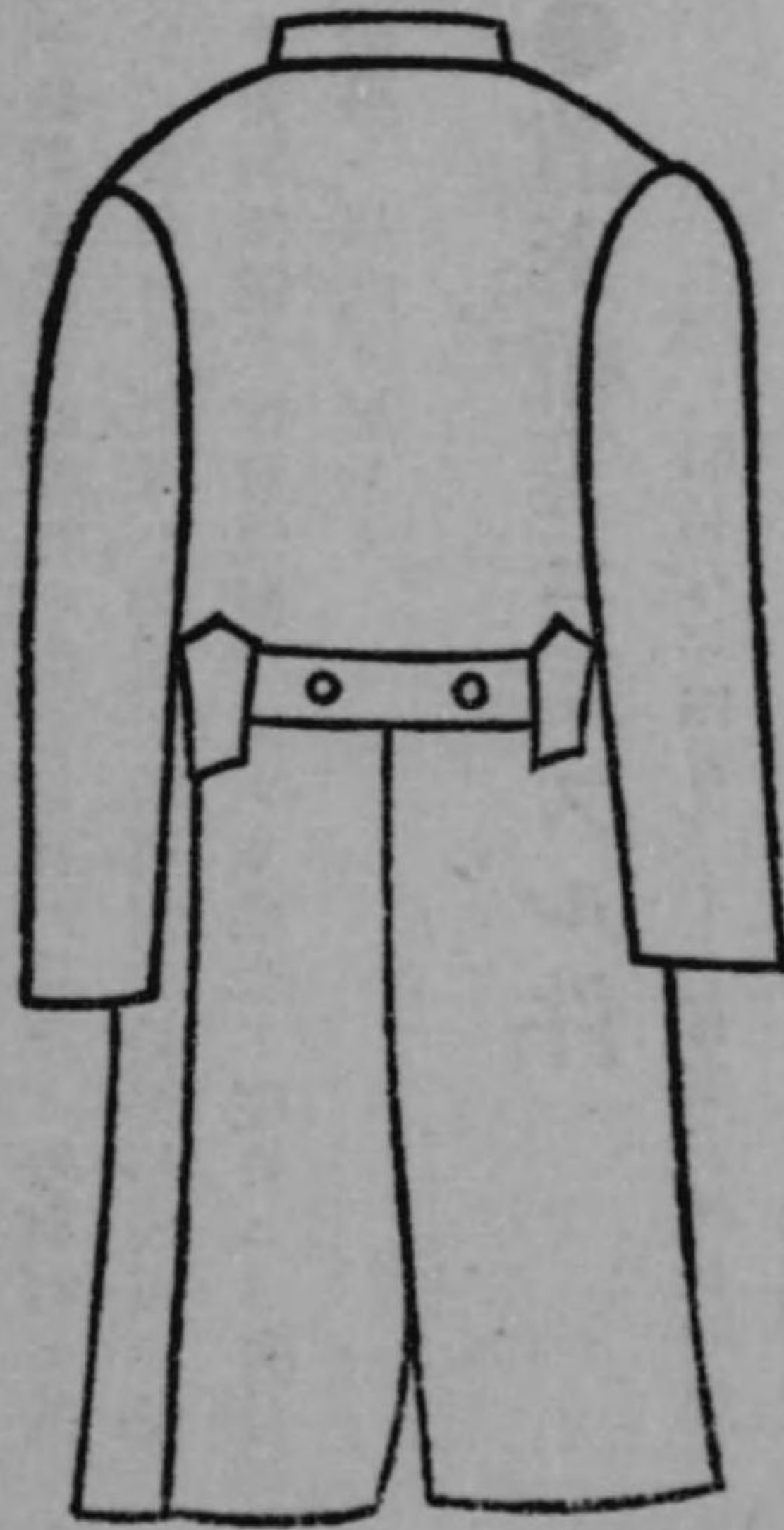
子帽



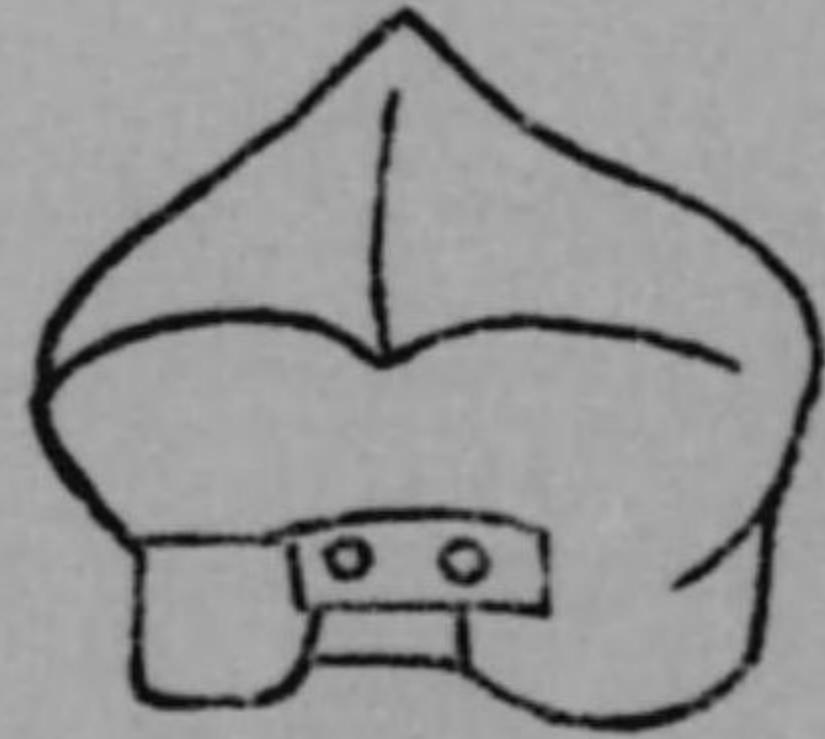
袴



面後套外



巾頭

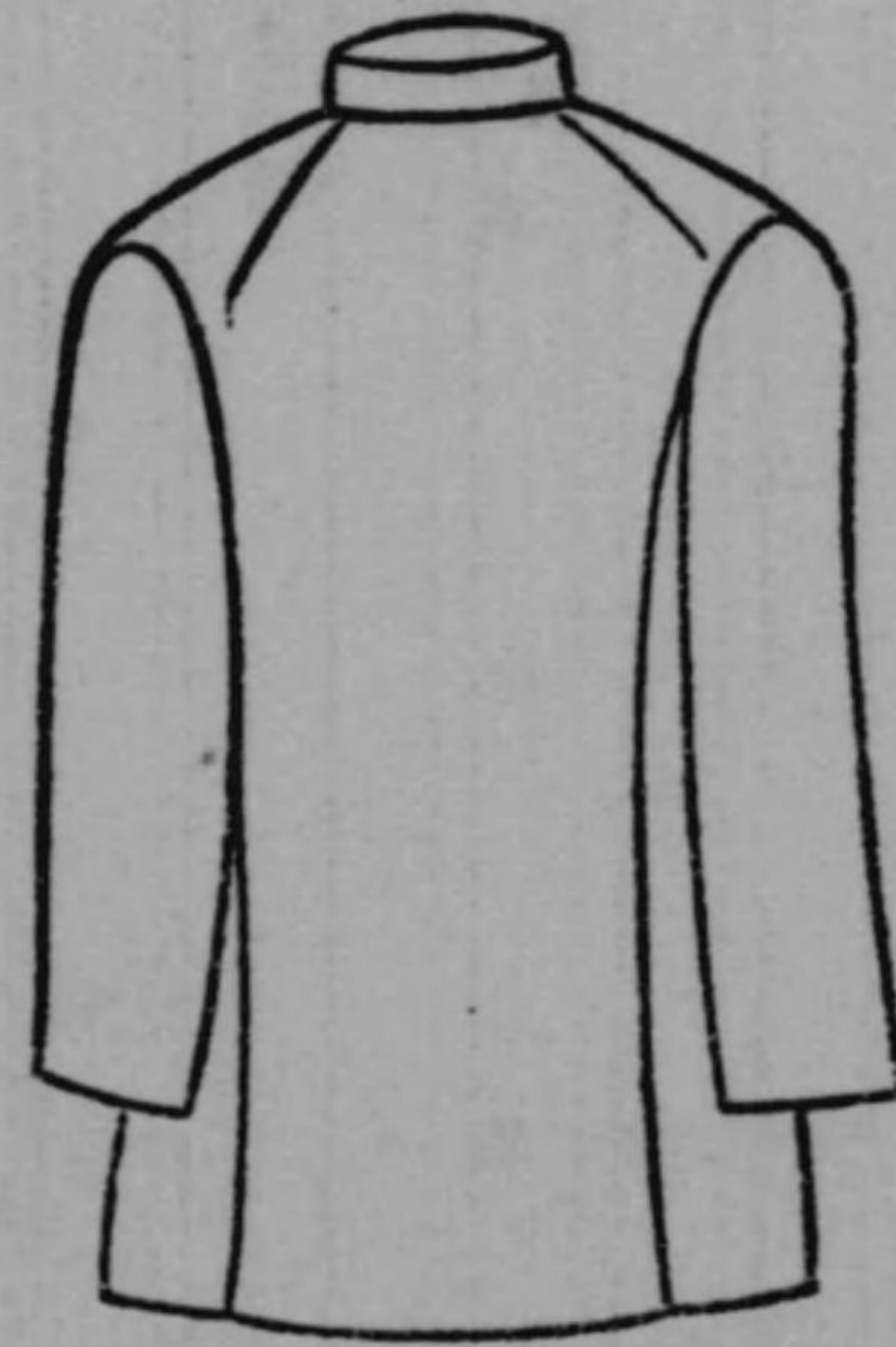


〔佐世保市例〕

面前衣上



面後衣上



〔佐世保市例〕

套			
襟	帽	釦	袖
章	覆		章
上衣ニ同シ	地質ニ同シ	上衣ニ同シ	上衣ニ同シ

●宿直及夜勤賄料支給規程

昭和七年三月五日廳達第二號

昭和十年二月十四日廳達第四號改正

第一條 宿直及夜勤賄料ハ左ノ區分ニ依リ之ヲ支給ス但シ夜勤賄料ハ特ニ市長ノ命ヲ受ケ午後四時以後ニ於テ引續キ五時間以上勤務シタル場合ニ限ル

職別	一	夜	ニ	付
吏員		五	十	錢
傭人		三	十五	錢

特別ノ事情アルトキハ宿直賄料ハ豫算ノ定ムル所ニ依リ其ノ倍額迄ヲ支給シ夜勤賄料ハ之ヲ減額又ハ停止スルコトアルヘシ

第二條 本規程ハ昭和七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第三條 昭和五年三月廳達第六號宿直賄費支給規程ハ之ヲ廢止ス

●夜勤賄料支給ノ件

昭和十年二月九日決裁

昭和七年三月五日廳達第二號宿直及夜勤賄料支給規程中第一條ノ職別即チ筆生ヨリ雇又ハ書記ニ任命セラレタル者ニ對スル夜勤賄料支給ノ起算日ハ發令當日ハ筆生ノ給與額ニ據リ從テ發令ノ翌日ヨリ雇又ハ書記ノ給與額ヲ給與相成可然哉
追テ給料條例及旅費規則中何レモ發令ノ翌日ヨリ昇格相當ノ給與ト相成リ居レリ

●消毒靴等ニ關スル件

昭和八年四月二十五日庶務課長通牒

衛生課長宛

防疫費ニ屬スル消毒靴、長田病院所屬醫師用ノ靴及屠場ニ於テ用フル靴ハ從來消耗品トシテ年々當該吏員ニ對シ交付シ來リタルモ八年度ヨリハ之ヲ備品トシテ取扱フコトニ決定相成候條右ニ御了知相成度此段及通知候也

第七類
財
務

第一節
會計

第二節
財產

第三節
稅務

第七類 財務

第一節 會計

●市金庫設置

明治四十五年四月一日

佐世保市現金出納及保管ノ爲佐世保市金庫ヲ置ク

●市金庫指定

明治四十五年四月一日

大正十四年二月十日議決改正

大正十四年九月十一日告示第百二號改正

佐世保市金庫事務取扱ハ大正十四年十月一日以降株式會社佐世保銀行並株式會社佐世保商業銀行ニ指定ス

●市金庫ヨリ徴スル擔保ノ件

昭和六年四月二十八日議決

佐世保市金庫事務取扱ヲ爲ス株式會社佐世保銀行並株式會社佐世保商業銀行ヨリ徴スル擔保ハ各有價證券額面金壹萬五千圓ヲ提供セシムルモノトス

●佐世保市收入證紙發行規程

〔佐世保市例〕

大正十年三月二十九日許可
大正十年三月二十九日告示第二十五號

大正十五年五月一日告示第六十九號改正

昭和四年三月九日告示第十八號改正

昭和四年七月五日告示第八十七號改正

第一條 本市使用料及手数料中左ニ掲ケル料金ハ收入證紙ヲ以テ徴收ス

一、戶籍法ニ依ル手数料

二、寄留法ニ依ル手数料

三、市制第百十三條第二項ニ依リ徴收スル手数料

四、本市火葬場使用料條例ニ依ル使用料

五、本市屠場使用料條例ニ依ル使用料

第二條 收入證紙ハ壹錢五厘拾錢拾五錢貳拾錢參拾錢五拾錢

壹圓五圓拾圓ノ十種トス

第三條 收入證紙ノ形式ハ市長之ヲ定ム

第四條 收入證紙ニ依リ徴收シタル手数料ニ對シテハ領收證

ヲ發行セス

第五條 收入證紙ハ市長ノ指定シタル吏員ニ於テ之ヲ抹削ス

ヘシ

年度第 號	
收入證紙賣上金拂入票	
年	額
月	日分
年 月 日	
右 拂 込 候 也 佐 世 保 市 收 入 役	
備	考
種別 貼 用 高 賣上高増ニ對スル減	額

〔佐世保市例〕

● 收入證紙ノ形式

大正十年三月三十一日告示第二十七號
大正十五年五月一日告示第七十號追加

- 一 縱 五分 横 八分 様式省略
- 五 圓 薄綠色拾 圓 海老茶色壹 圓 赤色五拾錢 紫色參拾錢 朱色貳拾錢 黃色拾五錢 青色拾錢 綠色五錢 藍色壹錢 茶色

● 出納檢查規程

明治三十六年一月二十日廳達第二號

- 第一條 例月檢查ハ毎月十日之ヲ行フ但休日ニ當ルトキハ順延トス
- 臨時檢查ノ期日ハ市長ニ於テ時々之ヲ指定ス
- 第二條 例月檢查ハ前月末日臨時檢查ハ其日ノ現在ニ據リ之ヲ檢查ス
- 第三條 收入役ハ毎月末日ノ現在ニ據リ別紙様式ノ通現金收納表收入金計算表及經費受拂計算表ヲ調製シ諸帳簿證書類

ヲ添ヘ翌月七日迄ニ市長ニ提出スヘシ
臨時檢查ヲ行フトキハ前項ノ例ニ依リ其時々提出ヲ命スルコトアルヘシ

第四條 檢查ヲ爲スヘキ要領左ノ如シ

- 一、市長又ハ監督官廳ノ命ナクシテ收入支出ヲ爲シタルコトナキヤ否
- 一、支出豫算表ニ豫定ナキ費用ヲ支拂ヒタルコトナキヤ否
- 一、豫算ノ目的ニ違フコトナキヤ否
- 一、所屬年度ヲ誤リタルモノナキヤ否
- 一、計數ニ違フトコロナキヤ否
- 一、現金ハ帳簿ト符合スルヤ否
- 一、右ノ外法律命令等ニ違ヒ收入支出ヲシタルコトナキヤ否

第五條 檢查ヲ了シタル時ハ別紙様式ニ依リ檢定書甲乙二本

ヲ調製シ市長收入役ニ於テ各之ヲ保管シ諸帳簿證書類ハ收入役ニ返付スルモノトス

附則

第六條 本規程ハ本月二十五日ヨリ之ヲ施行ス

現金出納

科 目	收入濟額		仕拂濟額		現在 有金高
	本月分	累計	本月分	累計	
國稅					
縣稅					
市費					
水道費					
市基本財産					
教育基本財産					
罹災救助資金					
獎學資金					
屠場基本財産					
水道基本財産					
産業獎勵資金					
道路改良資金					
合計					
市費有價證券					
水道費有價證券					
合計					

備考 1、本表收入濟額ノ内郵便局收入月末殘額計
 (イ)國稅 (ロ)縣稅 (ハ)市費
 2、本月中仕拂命令發行額ノ内未拂額計
 (イ)市費 (ロ)水道費

大 正 年 度

大 正 年 月

現金出納並歳入出計算表

佐世保市收入役

大 正 年 月 日

佐世保市長

市長
助役

第一課長
第二課長
第三課長

課員
課員
課員

取扱主任

第七類財務 第一節會計

二三〇

水道費歲出

經臨	常時	部部																		
歲	出	計																		
合		計																		

基本財產

市基本財產歲入出

區	分	豫算額	收		支		濟	額	計	殘	額
			前月迄累計	本月分	本月分	計					
歲	入										
歲	出										
	計										
	計										

〔佐世保市例〕

教育基本財產歲入出

〔佐世保市例〕

歲	入	出	計																	
歲	入	出	計																	

罹災救助費金歲入出

歲	入	出	計																	
歲	入	出	計																	

獎學資金歲入出

歲	入	出	計																	
歲	入	出	計																	

前新聞紙其ノ他ノ方法ニ依リ公告スルモノトス但公告ニハ入札ノ場所日時品名數量契約擔當者ノ氏名ヲ記載スルモノトス

第三條 物品供給ノ競争入札ニ加ラントスルモノハ特ニ資格ヲ指定シタルモノノ外ハ物品販賣若ハ製造ノ營業ニ従事セ

ル證明書ヲ提出スヘシ
第三條ノ二 無制限ノ競争入札ニ付スルチ不利ト認ムル場合及急施ヲ要シ第二條ノ期間公告ヲ爲ス暇ナキ場合ハ當業者ヲ指名シテ競争入札ニ付スルコトヲ得此ノ場合ハ前條ノ證明書ヲ提出セシムルヲ要セス(大正六年五月追加)

第四條 入札ハ其ノ場所ニ入札函ヲ置キ入札ヲ投入セシム

第五條 入札ハ指定シタル時間内ニ限ルモノトス其ノ時間外ニ於テハ如何ナル事情アルモ受理セサルモノトス

第六條 入札書ハ總テ封書トシ表面ニ品名及入札者ノ氏名ヲ記載スヘシ

第七條 入札書ハ單價ヲ以テ落札者ヲ定ムルト全價ヲ以テ落札者ヲ定ムルトキハ契約擔當者ニ於テ豫メ之ヲ定ム

第八條 全價ヲ以テ落札者ヲ定ムル場合ハ品種毎ニ數量單價代價ノ明細書ヲ入札書ニ添付スヘシ

第九條 單價ヲ以テ落札者ヲ定ムル場合ハ全價ニ誤謬アルモ

單價明瞭ナレハ入札ヲ有效トス又全價ヲ以テ落札者ヲ定ムル場合ハ單價ニ誤謬アルモ全價明瞭ナレハ入札ヲ有效トス

第十條 入札者ハ入札前資格證明書及入札保證金ヲ係員ニ差出スヘシ

第十一條 左ニ掲グル入札ハ無効トス
一 物品ノ名稱代價記載ナキモノ若クハ記載アルモ不明瞭ニシテ認識シ難キモノ
一 入札保證金ヲ納メサルモノ
一 資格ノ證明ナキモノ
一 營業證明書ナキモノ
一 代理人ニシテ委任狀ナキモノ

第十二條 入札ハ係員二名以上立會入札者ノ面前ニ於テ開札ス豫定價格以内ノ最低價ヲ以テ落札ト定ム但シ入札者ニシテ立會サルモノアルトモ開札ノ執行ヲ停止セス

第十三條 入札ノ結果豫定價格ヲ超過シタル時ハ更ニ時間ヲ限リ再入札ヲ爲サシムルコトアルヘシ

〔佐世保市例〕

第十四條 入札保證金ハ見積代價百分ノ五以上契約保證金ハ請負代價百分ノ十以上トシ市長之ヲ定ム

第十五條 入札保證金及契約保證金ハ現金若クハ政府發行ノ公債證書及市長ニ於テ確實ト認ムル有價證券ヲ以テ納付スヘシ但シ其ノ價格ハ公債證書ハ額面トシ其ノ他ノ有價證券ハ時價ニヨリ之ヲ定ム

第十六條 入札保證金ハ落札者確定ノ上落札者ノ外ハ直ニ還付ス

第十七條 落札者ノ入札保證金ハ契約締結ノ後還付ス若シ市長ノ指定シタル期限内ニ落札者契約ヲ締結セサル時ハ之ヲ沒收シテ市ノ所得トス

第十八條 契約書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ
一 物品ノ名稱數量代價
一 物品納入期限
一 物品納入場所
一 保證金額及其ノ處分方法

第十九條 左ニ掲グル物品ハ隨意契約ニ依リ購入スルコトヲ得
一 一個人又ハ會社等ニ専有スル物品ヲ買入ルル時
二 非常急速ノ際物品ノ買入ヲ爲スニ指名競争入札ニ付スル

暇ナキトキ
三 特別ノ技術家ニアラサレハ製造シ得サル物品ヲ買入ルル時
四 試験ノ爲メ物品ヲ買入ルル時
五 競争入札ニ付スルモノ入札者ナキ時又ハ再度ノ入札ニ付スルモ豫定價格ニ超過シタル時
六 價格參拾圓未滿ノ物品ヲ買入ル、時

第二十條 隨意契約ノ場合及價格百圓未滿ノ物品供給ノ場合ハ契約書ヲ省略シ請書ヲ以テ代用スルコトヲ得

第二十一條 物品ノ検査ヲ行フ時ハ請負人ヲシテ其ノ検査ニ立會セシムヘシ請負人自己ノ便宜ニ依リ現場ニ立會セサル時ハ検査ノ結果ニ對シ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス

第二十二條 検査員ニ於テ試験ノ爲メ納入物品ノ一部ヲ使用シタル時ハ合格ノ時ト不合格ノ時トヲ論セス請負人ノ負擔トス

第二十三條 契約ノ期限内ニ完納シタル物品ヲ検査ノ結果排却シタル時ハ市長ハ更ニ期限ヲ定メ代品納入ヲ命スルモノトス但シ代品ノ納入期限ハ前請負日數ニ超過スルコトヲ得

- 第二十四條 契約書ニ定メタル納入ノ場所ニ於テ物品領收済迄ノ費用ハ凡テ請負人ノ負擔トス
- 第二十五條 物品ノ所有權ハ納入場所ニ於テ検査終了後物品ノ引渡ヲ以テ移轉スルモノトス其ノ以前ニ於テ毀損亡失若クハ性質ヲ變更スルコトアルモ市ハ其ノ責ニ任セス
- 第二十六條 天災事變其ノ他防制スヘカラサル事故ニヨリ期限内ニ納入スルコト能ハサル時ハ遅クトモ期限迄ニ其ノ事故ヲ證明スルニ足ルヘキ證據書類ヲ添付シ市長ニ差出スヘシ市長ハ之レヲ調査シ至當ト認メタル時ハ延期ヲ許可スルコトアルヘシ
- 第二十七條 契約ノ規定ニ多少不適合ノ物品ト雖モ實用ニ適シ急遽ノ際之レカ納入ヲ必要トスル場合ハ市長ハ相當代價ヲ見積協議ノ上購入スルコトアルヘシ
- 第二十八條 物品供給請負人納期ニ後レ物品ヲ納入シタル時ハ需用ノ緩急ニ應シ領收スルコトアルヘシ
此ノ場合ニ於テ延滞日數一日毎ニ其ノ代價ノ二百分ノ一ニ當ル金額ヲ違約金トシテ納入スヘシ
- 第二十九條 前條ノ違約金ハ仕拂代金ト相殺ヲ爲スモノトス若シ相殺シ能ハサルモノハ契約保證金ヲ以テ辨済ニ充ツル

- モノトス
- 第三十條 契約ニ依リ物品完納前既納代價ノ支拂ヲ請求スルトキハ事實ヲ調査シ既納物品代價ノ五分ノ四以内ヲ支拂フコトアルヘシ
- 第三十一條 請負人契約ノ履行ヲ完フセサル時ハ契約ノ全部若クハ一部ヲ解除シ其ノ解除ニ對スル契約保證金ハ之ヲ沒收シテ市ノ所得トス
- 第二章 賣却
- 第三十二條 賣却ノ場合ハ總テ競争入札ニ付シ物品ノ名稱數量契約案ヲ定メ競争入札ニ加ラントスルモノヲシテ熟覽セシムヘシ
- 第三十三條 賣却スヘキ物品ハ數量ヲ定メ又ハ記號番號ヲ付シ一定ノ場所ニ陳列シ入札者ノ縦覽ニ供スヘシ
- 第三十四條 入札者ハ入札前入札保證金ヲ係員ニ差出スヘシ
- 第三十五條 入札者入札後ハ現品ノ品質數量等ニ關シ異議ヲ申立ツルコトヲ得ス
- 第三十六條 第三條乃至第八條ノ規定ハ物品賣却ニモ適用ス
- 第三十七條 入札ハ豫定價格以上ニ於ケル最高金額ノ入札者ヲ以テ落札者ト定ム若シ入札ノ結果豫定價格ニ達セサル時ハ更ニ再入札ヲ爲サシメ尙ホ豫定價格ニ達セサル時ハ入札

〔佐世保市例〕

ヲ取消スモノトス其ノ開札及入札ノ手續ニ關シテハ第十二條第一項第二項ノ規定ヲ準用ス

第三十八條 賣却物品ハ代金完納ノ後現品ノ交付ヲ受ケルモノトス

第三十九條 契約書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 物品ノ名稱、數量、代價
- 一 物品代金納入期限
- 一 物品引取期限

第四十條 物品ノ引渡ヲ受ケタルトキハ直チニ領收證ヲ差出シ指定ノ期限内ニ引取ルヘシ

若シ期限内ニ引取ラサル時ハ市ハ適宜之ヲ處分シ之ニ要スル費用ハ契約保證金ヲ以テ充當ス

第四十一條 物品引渡後ハ其ノ物品ニ對シ市ハ何等責ヲ有セス

第四十二條 左ニ掲ケル物品ノ賣却ハ隨意契約ニヨリ賣却スルコトヲ得

入札ニ附スルモ入札者ナキ時若クハ再入札ニ附スルモ尙ホ豫定價格ニ達セサル時

見積價格十圓未滿ノ物品ヲ賣却スル時

第四十三條 物品賣却ノ場合モ第十四條乃至第十七條第二十

條ノ規定ヲ適用ス但シ第二十條ノ適用ハ隨意契約ノ場合ニ限ル

● 物品出納規程

大正五年五月十七日廳達第一號

〔佐世保市例〕

- 第一條 物品ハ之ヲ分テ常用品臨時用品ノ二種トシ常用品ヲ備品消耗品、臨時用品ヲ材料器具ノ二種トス
- 第二條 各係ニ物品取扱主任ヲ置キ係内需用ノ物品ヲ取扱ハシム但シ常用品中消耗品ハ會計係ニ於テ取扱フモノトス
- 第三條 物品ノ數量ハ別ニ指定スル稱呼ヲ用フルモノトス
- 第四條 常用品ハ需用者ニ於テ退廳一時間前迄ニ會計係ニ請求スルモノトス
- 第五條 會計係ハ用途ノ豫定シ得ル常用品ハ見積ヲ以テ購入シ設備シ置クモノトス
- 第六條 臨時用品ハ各係ニ於テ其購入要件ヲ整備シ會計係ニ請求スヘシ
- 第七條 會計係ニ於テ前條物品ノ請求ヲ受ケタル時ハ必ス二回以内ニ手續ヲ了シ成規ニヨリ購入ノ手續ヲ了スヘシ
- 第八條 會計係ニ於テ物品購入ノ手續終了シタル時ハ一件書類ヲ請求ノ各係ニ移轉スルモノトス

● インキ筆墨等ノ購入ニ關スル件依命通牒

昭和六年九月一日庶務課長通牒

各小學校長 各課長
成徳高等女學校校長

吏員職員各自カ通常事務ニ使用スルインキ筆墨ノ類ヲ市費ヲ以テ購入スル向有之候得共爾今鑑隊歡迎其他品評會等ノ臨時事務ノ場合必要ナルモノ、外自辨トシ公費購入ヲ絕對ニ禁セラレ候條所管一般へ此ノ旨御示達相成度候
追テ公用封筒ヲ私翰ニ用フヘカヲサレハ勿論ノ儀ニ候ヘ共往々ニシテ尙此ノ弊アルヲ相認メ候條之亦注意方御示達相成度候

● 工事費等ノ豫算殘額ニ關スル件依命通牒

昭和五年十二月五日庶務課長通牒

各課長宛

工事費等ノ豫算計上ハ其ノ設計等夫々基本可有之ハ申ス迄モナキ義ニ候處當市ニ於テハ從來既定計畫實施ノ結果豫算ニ殘

餘ヲ生スルコトアレハ直ニ之ヲ財源トシテ別ニ新タナル計畫ヲ樹テ當初豫算ノ全額若ハ一部ヲ使消スルコト往々有之誠ニ遺憾ノ次第ニ有之殊ニ目下財政緊縮ノ折柄ニ付之等ハ大ニ慎重ノ取扱ヲ爲シ其ノ殘餘額ハ後年ノ財源ニ充當スヘク考慮スヘキハ勿論ノ義ニ有之候條將來絶體ニ斯ルコト無之様御留意相成度候

● 郵便切手出納ニ關スル件依命通牒

昭和六年十月二十二日庶務課長通牒

各課長宛

各課ニ於テ購入シタル郵便切手ニ就テハ夫々受拂簿ヲ設ケ其ノ出納ヲ明カニシ居ラル、コト、ハ存候ヘ共右ハ必ス課長ノ決裁ヲ經タル上ニアラサレハ出納セシメサルコト、シ若シ急ヲ要スル場合ニハ事後承認ヲ得セシムル等特ニ嚴重監督相成度候

● 既定經費流用ニ關スル件

昭和四年十二月二十一日廳達第二十號

〔佐世保市例〕

豫算ニ計上シタル既定經費ハ庶務課長ニ合議ノ上決裁ヲ經ルニアラサレハ之ヲ他ノ經費ニ流用スルコトヲ得ス

● 工事監督員給及賞與支辨ニ關スル件依命通牒

昭和六年九月二日庶務課長通牒

土木課長宛

標記經費ノ支辨ニ付テハ從來職名不統一ノ結果其ノ取扱ニ統

制ヲ缺キ整理上支障尠ナカラサリシヲ以テ曩ニ職名ヲ統一相成候ニ就テハ九月以降ノ支出ハ豫メ各監督員別ニ其ノ所屬費目ヲ限定シ之方範圍ニ於テ經理スルコト、シ從來ノ通り亂雜ニ陷ラザル様精々御監督相成度候
追テ來年度以降ハ年度開始前豫メ計畫ヲ樹テ本文ノ通り御取扱相成度候

● 市廳舍設備使用料ノ件

昭和九年十月二十三日告示第百六十六號

各室使用料

室名	室使用料	電燈電力料	暖房料	水道瓦斯料	室内整理料	室備坪數
正廳	八〇〇	五〇	三〇	一〇〇	一〇〇	八〇五
休憩室	一五〇	一〇	一〇	二〇	二〇	一七〇
議場	一三〇〇	七〇	五〇	一〇〇	一〇〇	八二〇〇
議員控室一號	二〇〇	一〇	一〇	二〇	二〇	二二〇〇
議員控室二號	二〇〇	一〇	一〇	二〇	二〇	二二〇〇
參事室	二〇〇	一〇	一〇	二〇	二〇	二二〇〇

參事會室	二五〇	一〇	三〇	三〇	二六五〇
委員會室	二五〇	二〇	三〇	三〇	二三五〇
應接室二號	一〇〇	一〇	二〇	二〇	一〇五〇
構内及屋上庭園	一坪三錢				

附記

- 一、暖房及電燈電力料ハ暖房及電燈電力ヲ使用スル場合之ヲ納入セシム
- 一、水道瓦斯其ノ他ノ料金ハ湯水ヲ要セサル場合ト雖之ヲ納入セシム
- 一、室内整理料ハ使用者ニ於テ室内ヲ整理セサル場合之ヲ納入セシム
- 一、正應使用ノ場合ハ使用者ノ希望ニ依リ休憩室ノ使用料ヲ免シ之ヲ使用セシムルコトアルヘシ
- 一、特種ノ事由ニ依リ電力水道瓦斯等ヲ著シク使用スル場合ノ料金ハ別ニ定ム

物品貸付料

品名	數量	貸付料ノ附	記
卓子	一脚	〇五〇	各室備付定數ヲ除ク
卓子	一枚	一〇〇	同上
椅子	一脚	〇三〇	同上
灰皿	一個	〇一〇	同上

〔佐世保市例〕

品名	數量	貸付料ノ附	記
花瓶	一個	二〇〇	
茶碗	一個	〇〇五	
茶盆	一個	〇二〇	
茶瓶	一個	〇二〇	
フラスコ	一組	〇三〇	
揚示板	一個	〇三〇	
草履	一足	〇一〇	

〔佐世保市例〕

●電燈電力瓦斯暖房等ノ負擔額ニ關スル件

昭和九年十月十三日庶務課長通牒
衛生、交通、教育、庶務各課長 收入投宛

當廳内各室ノ電燈電力瓦斯暖房等ノ負擔額ニ關スル件別紙ノ通決定致候ニ付此段及通知候也

別紙(左記)

當廳内左記關係各室ノ電燈、電力、瓦斯暖房等ノ負擔額ハ從來割當歩合ヲ以テ決定セルモノアル共今般市廳舎設備使用規定制定ニ伴ヒ割當歩合ヲ以テ決定スルハ種々不合理ナル點アルニ鑑ミ左記ノ通本年五月分ヨリ實費負擔額決定相成可然乎

記

一、水道擴張事務所屬

月額拾貳圓 内譯

薪炭費七圓參拾八錢

電燈電力費四圓六拾貳錢

一、一般水道事務所屬

月額六拾貳圓 内譯

薪炭費貳拾四圓參拾錢

電燈電力費參拾七圓七拾錢

一、自動車監督詰所

月額六圓五拾錢 内譯

四拾ヲツト四個壹個ニ付壹圓五錢

及百五拾ヲツト壹個貳圓參拾錢ノ

一、公會堂 電燈料定額トス
電燈電力瓦斯代ハ計量器ニ依リ計
算ス

一、圖書館 同

一、一般會計事務所屬

當廳内各事務室及其ノ他ニ關シ其ノ費用ノ負擔額決定セル
モノヲ會計ノ請求總額ヨリ控除シ殘額ヲ一般會計ニテ負擔
スルモノトス但シ特殊ノ事由ニ依リ電力瓦斯等ヲ著シク使
用シタル場合ノ費用ハ適當ノ方法ヲ以テ使用シタル會計ノ
負擔額額ヲ別ニ定ム

●電燈電力瓦斯水道暖房等ノ

實費徵收ノ件

昭和九年十月十三日庶務課長通牒

各事務所宛

本市廳舍内貴事務室ノ電燈電力瓦斯水道暖房等ノ實費額別紙
ノ通決定致候ニ付此段及通知候也

別紙(左記)

本市廳舍内左記各事務所ニ對シ本年五月分ヨリ貸付期間中左
ノ通電燈電力(扇風機ニ使用スル如キ特種ノモノヲ除ク)瓦斯
水道暖房等ノ實費徵收相成可然乎

記

一、內務省佐世保國道改良事務所

毎月拾五圓宛但シ本年五月ヨリ同九月迄ハ市ノ都合ニ依リ
事務室ノ一部ヲ使用セザル爲毎月拾圓ニ減額

一、長崎縣佐世保稅務出張所

毎月拾圓宛

一、長崎縣穀物検査所佐世保支所

毎月五圓宛

一、長崎縣國防協會佐世保支部

毎月壹圓參拾錢宛

一、佐世保市在郷軍人聯合分會

毎月壹圓拾錢宛

一、佐世保市教育會

毎月壹圓拾錢宛

一、佐世保市體育協會

毎月壹圓拾錢宛

一、日本赤十字社佐世保市委員部

毎月七拾錢宛

一、愛國婦人會佐世保市幹事部

〔佐世保市例〕

〔佐世保市例〕

第二節 財產

●恩賜救濟資金保管規程

大正八年二月二十八日議決

第一條 恩賜金ノ殘金貳千八百八拾參圓五拾四錢ハ之ヲ銀行ニ
預ケ入レ保管ス

第二條 前項ノ預金ヨリ生スル利子ハ毎年度通常豫算ニ編入
シ市内貧民救助費ニ充ツルモノトス

●御下賜金保管規程

大正六年一月二十二日許可
大正六年二月十三日告示第四號

大正九年六月二十九日告示第五十四號改正
大正十五年十一月二十六日告示第七十四號改正

第一條 御下賜金ハ之ヲ特別會計トナシ銀行ニ預ケ入レ特別
ノ利子ヲ附シ之ヲ保管ス

第二條 御下賜金ヨリ生スル利子ハ毎年市立小學校兒童ノ成
績優良ナル者ニ對スル賞與ノ費用ニ充ツルモノトス

●華頂宮御下賜金保管規程

二四九

毎月七拾錢宛

一、佐世保市農會

毎月貳圓拾錢宛

一、佐世保市方面事業期成會

毎月壹圓拾錢宛

●葬儀供花價格ニ關スル件

昭和九年三月十九日庶務課長通牒

各課長宛

當鎮守府ニ於ケル海軍關係葬儀ニ於テハ司令長官名義ノ花輪
ハ從來一對拾五圓程度トシテ實施相成居候處爾今拾圓程度ニ
依リ實施セラル、事ト相成候條當市ヨリ提供スル花輪モ右ニ
準ズル事ニ決定致候條爲念及通知候也

第七類 財務 第二節 財產

大正十三年八月二十日十三地第一七八一號許可
大正十三年八月二十日告示第六十四號

- 第一條 御下賜金五百圓ハ之ヲ銀行ニ預入レ特別ノ利子ヲ附シ保管ス
- 第二條 前條ノ預金ヨリ生スル利子ハ毎年度通常豫算ニ編入シ市ノ社會事業費ニ充ツルモノトス

●佐世保市基本財産管理規則

明治四十五年一月十三日許可

大正七年三月二十六日改正許可
昭和二年二月二十五日告示第二十一號改正

- 第一條 市基本財産ハ之ヲ特別會計トス
- 第二條 市基本財産ハ左ニ掲ケル收入ヲ以テ蓄積ス但市會ノ決議ニ依リ用途ヲ特定シタルモノハ此ノ限リニアラス
 - 一、市基本財産ニ充當スル目的ヲ以テ爲シタル寄附金
 - 二、市有土地又ハ建物賣却代金
 - 三、市基本財産ヨリ生スル收入金
 - 四、法令又ハ本市條例及規則ニ依リ市ニ歸屬スル過料過怠金又ハ違約金但シ請負工事ヨリ生スル違約金ヲ除ク
 - 五、從來特別蓄積金トシテ蓄積セル市有資金

- 第三條 市基本財産ハ現金若ハ公債證書又ハ債券トシ公債證書ハ日本銀行甲種登錄簿ニ登錄又ハ日本銀行ニ保護預ト爲シ現金ハ確實ナル銀行ニ預入レ利殖ヲ爲スモノトス
市カ財政ノ都合ニ依リ一時借入ヲ爲サムトスル場合ハ市ニ對シ相當利附ヲ以テ運用スルコトヲ得

附則 本則ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●特別基本財産ノ信託ヲ爲ス

ノ件

昭和三年九月十九日議決

- 松尾良吉氏ノ寄附ニ係カル佐世保市獎學資金五百圓ハ三井信託株式會社ヘ信託ス
- 第一條 指定金錢信託契約書案
委託者ハ左記金額ヲ信託ノ財産トシテ受託者ニ交付シ其管理運用利殖及處分ノ委託ヲ爲シ受託者ハ之ヲ承諾シ該金錢ヲ受領ス
一金五百圓也
將來委託者カ本信託財産ヲ増加スル目的ヲ以テ金錢ヲ交付シタルトキハ受託者ハ之ヲ受入レ書面ヲ以テ其ノ受入レヲ

〔佐世保市例〕

證スルモノトス

- 第二條 信託期間ハ昭和 年 月 日ヨリ向フ貳箇年トス
- 第三條 本契約ノ受益者ハ左記ノ者トス
長崎縣 佐世保市

佐世保市

- 第四條 本信託財産タル金錢ハ確實ナル銀行ニ預入ル、外貨付金ニ依リ之ヲ運用スルモノトス但シ其一部ヲ以テ公債又ハ確實ナル社債ヲ購入スルコトヲ妨ケス
前項ノ金錢ハ他ノ同種ノ信託財産タル金錢ト合同運用ヲ爲スコトヲ得ルモノトス此ノ場合ニ於ケル信託財産ハ本條金錢ノ合同運用金錢總額ニ對スル割合ニ依リテ之ヲ算定ス
前項ノ規定ニ依リ合同運用ヲ爲ス場合ニ於テ取得シタル信託財産ノ登記登錄又ハ信託財産ナルコトノ表示及記載ハ受託者ノ都合ニ依リ之ヲ爲ササルコトヲ得
- 第五條 信託料ハ信託元本ニ對シ年千分ノ二十以内ノ割合ニ於テ受託者之ヲ定メ收益中ヨリ差引キ取得スルコトヲ得但シ信託料ヲ差引キタル收益率カ信託元本ニ對シ年八分以上ノ割合ニ當ルトキハ受託者ハ信託料ノ元本ニ對スル歩合ヲ年千分ノ三十ノ割合迄増加スルコトヲ得ルモノトス
- 第六條 本信託財産ニ關スル租稅公課其他信託事務ノ處理ニ

第七類 財務 第二節 財產

〔佐世保市例〕

- 必要ナル諸費用ハ受託者ニ於テ本信託財産中ヨリ之ヲ差引キ支辨スルコトヲ得ルモノトス
- 第四條ニ依ル合同運用ヲ爲ス場合ニ於テハ前項ノ支辨額ハ各信託財産ノ割合ニ依リ之ヲ定ムルモノトス
- 第七條 受託者ハ毎年五月及十一月末ノ決算期ニ於テ本信託ニ關スル收支ノ計算ヲ爲シ其純收益金ハ之ヲ各決算期毎ニ受益者ニ支拂フモノトス
前項ノ計算ニ付テハ計算書ヲ作り之ヲ受益者ニ報告スルモノトス
- 第八條 本信託終了シタルトキハ受託者ハ本契約書ト引換ニ信託財産ヲ金錢ニテ受益者ニ支拂フモノトス
- 第九條 受託者カ萬一本信託元本ニ損失ヲ生セシメタルトキハ受託者ハ完全ニ其補填ノ責ニ任スルモノトス
- 第十條 本契約ハ期間内解除ヲ爲ササルモノトス
- 第十一條 本契約ニ依ル受益權ハ賣買讓渡又ハ質權ノ目的ト爲スコトヲ得サルモノトス
- 第十二條 本契約書ハ貳通ヲ作成シ委託者及受託者ニ於テ各壹通ヲ所持スルモノトス

●佐世保市獎學資金設置並管

理規程

昭和三年九月二十六日告示第九十號

- 第一條 本市ハ指定寄附金ヲ以テ獎學資金ヲ設ク
- 第二條 本資金ハ左ニ掲クル收入ヲ以テ之ヲ蓄積ス
 - 一、指定寄附金
 - 二、第三條ノ支出剩餘金
- 第三條 本資金ヨリ生スル收入ハ毎年一般會計豫算ニ編入シ左記該當者ニ補給ヲ爲スノ外就學ノ義務ヲ果スニ困難ナル本市兒童ノ就學獎勵費ニ充ツ
- 本市出身者ニシテ高等教育ヲ受クル場合市長ニ於テ特ニ學費ノ補給ヲ必要ト認ムル者
- 第四條 本資金ハ確實ナル銀行ニ預金ス但シ第三條ノ目的ニ支障ナキ範圍ニ於テ金錢信託ヲ爲シ又ハ公債其他確實ナル有價證券ノ購入ヲ爲スコトヲ得
- 第五條 第三條ノ支出額ハ毎年度資金ヨリ出スル利子總額ノ範圍ヲ超ユルコトヲ得ス
- 第六條 本規程施行ニ必要ナル細則ハ市長之ヲ定ム

附則

本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●佐世保市獎學資金設置並管理規程施行細則

昭和四年十二月七日決裁

- 第一條 佐世保市獎學資金設置並管理規定ニ依ル學資ノ補給又ハ就學獎勵ハ本則ノ定ムル所ニ依ル
- 第二條 本市ニ五ヶ年以上住所ヲ有シ且ツ左ノ各號ニ該當シ資力不充分ノ爲修學ノ目的ヲ達スルコト能ハサル者アルトキハ豫算ノ範圍内ニ於テ本人ノ願出ニ依リ其ノ學資ノ一部ヲ補給スルモノトス
 - 一、素行善良身體強健學力優秀ニシテ成業ノ見込アル者
 - 二、左ノ學校ニ在學スル者又ハ入學セムトスル者
 - 帝國大學
 - 高等學校
 - 官公立各種專門學校
- 其ノ他市長ニ於テ適當ト認ムル學校
- 第三條 學資ノ補給ヲ受ケムトスル者ハ左記書類ヲ具シ市長ニ願出ツヘシ
 - 一、學資ノ補給額(第一號書式)
 - 二、履歷書(第二號書式)

〔佐世保市例〕

三、學業成績調書(第三號書式)

四、在籍若ハ出身學校長ノ人物考定書(第四號書式)

五、戶籍謄本

六、身體檢查書(第五號書式)

七、資産調書(第六號書式)

第四條 學資受給者ノ選定其ノ他學資補給ニ關スル事項ヲ審議スル爲調査委員七名ヲ置ク其ノ任期ハ四年トシ市長之ヲ囑託ス

第五條 學資ノ補給額ハ左ノ範圍ニテ之ヲ定ム

一、帝國大學 一人月額參拾圓以內

二、其ノ他 一人月額貳拾五圓以內

第六條 學資ハ市長ノ指定シタル月ヨリ毎月之ヲ本人ニ支給ス

第七條 學資補給ノ決定ヲ受ケタル者ハ第七號書式ニ依リ二十日以内ニ親權者(又ハ後見人)及保證人二名連署シタル誓約書ヲ市長ニ差出スヘシ

第八條 保證人ハ本市内ニ住所ヲ有シ獨立ノ生計ヲ營ム二十歳以上ノ男子ニシテ直接國稅年額五圓以上ヲ納ムル者タルヘシ

保證人ニシテ市長ニ於テ不適當ト認メタルトキハ變更ヲ命

第七類 財務 第二節 財產

スルコトアルヘシ

第九條 保證人ニシテ前條ノ要件ヲ缺クニ至リ若ハ市長ノ命アリタルトキハ一ヶ月以內ニ保證人變更届ヲ差出スヘシ保證人死亡シタルトキ又ハ其ノ住所若ハ氏名ヲ變更シタルトキ亦同シ

第十條 受給者ハ左ノ事項ヲ市長ニ報告スヘシ

一、卒業シタルトキ又ハ休學退學若ハ當初ノ目的ヲ變更セムトスルトキ

二、學校長ノ證明アル毎學年末學業成績表

三、身分ノ異動アリタルトキハ其ノ事項

四、其ノ他報告ヲ命セラレタル事項

第十一條 受給者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ學資ノ補給ヲ廢止又ハ停止ス

一、第九條及前條ノ規定其他ノ市長ノ發スル命令ヲ遵守セサルトキ

二、操行不良疾病其ノ他ノ事由ニ依リ成業ノ見込ナシト認メタルトキ

三、休學若ハ退學シタルトキ

四、其ノ他市長ニ於テ補給ノ要ナシト認メタルトキ

第十二條 學資ノ補給ヲ廢止シタルトキハ補給シタル學資ノ一部又ハ全部ヲ一時若ハ數回ニ互リ償還セシムルコトアル

〔佐世保市例〕

第七類 財務 第二節 財產

第十三條 市長ハ本則施行ニ關シ必要ナル命令ヲ發スルコトヲ得
 第十四條 兒童ノ就學ニ付テハ豫算ノ範圍内ニ於テ長崎縣兒童就學獎勵規程第三條第一項ヲ準用シ之ヲ獎勵ス
 第一號書式
 學資補給願

本籍 何
 現住所 何
 戶主トノ續柄 何
 右 何
 本籍 某印
 現住所 某印
 職業 何
 親權者(後見人) 何
 年 月 日

佐世保市長宛
 第二號書式
 履歷書

本籍 何
 現住所 何
 年 月 日
 一、何年何月何日官公立學校何科ニ入學シ何年何月何日何科ヲ卒業ス(卒業證書寫添付ノコト)
 一、何年何月何日官公立何々學校ニ入學シ現ニ何々科何學年修業中
 一、何年何月何日何學校ニ於テ何ヨリ賞ヲ受ク(賞狀アルモノハ其ノ寫ヲ添フルコト)
 一、何年何月何日何々ノ職ニヨリ罰ヲ受ク
 其ノ他官衙學校又ハ會社等ニ就職セル者ハ其ノ任免事項兵役關係アルモノハ其ノ事項ヲ記入スルコト
 右之通相違無之候也
 年 月 日
 右 何 某印

〔佐世保市例〕

第三號書式

學業成績調書

右ハ何年何月何日本校第何學年何科ニ入學(何年何月何日卒業シタル者ニシテ本校在學中)(目下第何學年何科在學中ノモノニシテ)既往ノ學業成績左記ノ通り相違無之候也
 年 月 日
 氏 名
 年 月 日 生
 何學校長 氏 名印

〔佐世保市例〕

第 一 學 年	第 二 學 年	第 三 學 年	第 四 學 年	第 五 學 年	第 六 學 年	第 七 學 年	第 八 學 年	第 九 學 年	第 十 學 年	採 行 及 落 席 次	出 席 日 數	缺 席 日 數
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何			
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何			
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何			
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何			
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何			
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何			
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何			
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何			
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何			
何	何	何	何	何	何	何	何	何	何			

備考

1. 各學科ハ點數ヲ記入スルコト
 2. 國語數學等ハ各分科ノ點數ヲ記入スルコト
 3. 席次ハXトシ分母ハ學級人員分子ハ本人ノ席次ヲ記入スルコト
- 第七類 財務 第二節 財產

第七類財務 第二節財產

第四號書式
人物考定書

何 某
年月日生

一、性 行
一、才 能
一、特 徵
一、其 他
右之通候也

年 月 日

何學校長 氏 名印

第五號書式

身體検査書

何 某
年月日生

一、營 養
一、體 重
一、身 長
一、胸 圍
一、概 評

第六號書式

資産調査書

何 某
年月日生

一、脊 柱
一、視力及屈折狀態
一、色 神
一、眼 疾
一、聽 力
一、耳 疾
一、齒 牙
一、其他疾病異常
一、既往症
右検査候處相違無之候也

年 月 日

醫 何 某印

本籍 何
現住所 何
本人 何
年月日生 某

一、戸主及家族ノ職業
二、戸主及家族ノ財産

第七號書式

誓約書

右 何 某印

三、戸主及家族ノ納税額(前年度ニ於ケル國税及市税額)
四、生活狀況
五、學費支辨ニ困難ナル事情
六、其他參考トナルヘキ事情

年 月 日

私儀今般何々學校在學中學資金トシテ毎月金何圓補給ノ御許可ヲ得候ニ就テハ之ニ關スル規定堅ク相守リ誓ツテ所定ノ學科ヲ履修可仕萬一補給金ノ償還ヲ命セラレタル節本人ニ於テ果タササル場合ハ親權者(後見人)保證人連帶ニテ之カ辨濟ノ責ニ任スヘク此段誓約候也

年 月 日

本籍 何
住所 何
本人 何
本籍 某印
住所 何

●佐世保市教育基本財産管理規則

明治四十五年一月十三日許可
大正七年三月二十三日改正

第一條 教育基本財産ハ之ヲ特別會計トス

第二條 教育基本財産ハ左ニ掲ケル收入金ヲ以テ蓄積ス

一、教育基本財産ニ充當スルノ目的ヲ以テ爲シタル寄附金
二、用途ヲ指定セサル寄附金
三、教育基本財産ヨリ生スル收入金

第三條 教育基本財産ハ現金若ハ公債證書又ハ債券トシ公債證書ハ日本銀行甲種登錄簿ニ登錄又ハ日本銀行ニ保護預ケヲ爲シ現金ハ確實ナル銀行ニ預入レ利殖ヲ爲スモノトス

第七類財務 第二節財產

第七類 財務 第二節 財產

市力財政ノ都合ニ依リ一時借入ヲ爲サムトスル場合ハ市ニ對シ相當利附ヲ以テ運用スルコトヲ得

附則

第四條 本規則ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
第五條 本改正ハ大正七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●佐世保市屠場基本財産管理規則

明治四十五年三月二十九日許可

- 第一條 本市屠場改善及擴張ノ爲メ基本財産ヲ設ケ屠場基本財産ト稱ス
- 第二條 屠場基本財産ハ之ヲ特別會計トス
- 第三條 屠場基本財産ハ左ニ掲クル收入ヲ以テ之ヲ蓄積ス
 - 一、毎年度豫算ノ定ムル所ノ屠場基本財産繰入金
 - 二、屠場基本財産ヨリ生スル收入
- 第四條 屠場基本財産ハ現金又ハ有價證券トシ有利且ツ確實ナル方法ヲ以テ之ヲ保管スルモノトス
- 第五條 屠場基本財産ハ屠場擴張及改造ノ費途ニ充ツルノ外之ヲ支消セサルモノトス

第六條 本規則ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●佐世保市水道基本財産管理規則

明治四十五年三月二十九日許可

- 第一條 本市水道保全及擴張ノ爲メ基本財産ヲ設ケ水道基本財産ト稱ス
- 第二條 水道基本財産ハ之ヲ特別會計ト爲ス
- 第三條 水道基本財産ハ左ニ掲クル收入ヲ以テ之ヲ蓄積ス
 - 一、毎年度豫算ノ定ムル所ノ水道基本財産繰入金
 - 二、水道基本財産ヨリ生スル收入
- 第四條 水道基本財産ハ現金又ハ有價證券トシ有利且ツ確實ナル方法ヲ以テ之ヲ保管又ハ運用スルモノトス
- 第五條 水道基本財産ハ水道公債償還及水道保全改良竝ニ擴張ノ費途ニ充ツルノ外之ヲ支消セサルモノトス
- 第六條 本規則ハ明治四十五年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

●佐世保市罹災救助資金設置

及管理規程

大正二年三月七日議決
大正二年三月七日許可

- 第一條 罹災救助ノ爲メ罹災救助資金ヲ設ケ
- 第二條 罹災救助資金ハ特別會計トス
- 第三條 罹災救助資金ニ對シ縣ヨリ補助ヲ受ケタルトキハ其ノ資金ニ編入スルモノトス資金ニ對シ寄附ヲ受ケタル場合モ亦同シ
- 第四條 罹災救助資金ハ現金及公債證書又ハ債券トス
- 第五條 公債證書ハ日本銀行國際登錄簿ニ登錄シ若クハ日本銀行保護預ケト爲シ又ハ郵便局保管預ト爲ス
- 第六條 罹災救助資金若クハ市金庫又ハ確實ナル銀行ニ預入チ爲ス
- 第七條 罹災救助資金ハ非常災害ニ罹リ縣ノ救助ヲ受ケルチ得サル者ヲ救助スル爲メ支出スルモノトス市ノ全部又ハ一部ニ互ル非常災害ニ罹リ縣ノ救助ヲ受ケル場合ト雖モ特ニ救助ノ必要アルトキハ亦前項ニ同シ
- 第八條 罹災救助ノ爲メ支出スヘキ費目左ノ如シ
 - 一、避難所費

- 一、食料費
- 一、被服費
- 一、治療費
- 一、小屋掛費
- 一、就業費

- 第八條 第六條ノ救助支出額ハ毎年度資金ヨリ生スル利子ノ總額ヲ超ルコトヲ得ス但年度内支出ノ必要ナキカ又ハ殘餘ヲ生シタルトキハ之ヲ資金ニ編入スルモノトス
- 第九條 市ノ土木費、教育費、衛生費ニ充ツル爲メ利付貸付ヲ爲スコトアルヘシ
- 第十條 本規程ハ大正二年度ヨリ之ヲ施行ス

●佐世保市産業獎勵資金規程

大正七年三月二十八日許可

大正九年六月十五日改正許可
大正十年五月十九日改正許可
大正十年五月二十日告示第三十六號
昭和五年三月二十日告示第三十二號改正

第一條 本資金ハ特別會計トス

- 第二條** 本資金ハ左ニ掲クル金員ヲ積立テ之ニ充ツ
- 一、本資金ニ指定セル寄附金及勸業ニ屬スル事務ヨリ生スル收入金但シ市カ既定事業ニヨリ受クル補助金ヲ除ク
 - 二、勸業費(但シ魚市場ニ關スル豫算ヲ除ク)及市費ヲ以テスル勸業補助費ニシテ豫算ニ剩餘ヲ生セシ金額
 - 三、本資金ヨリ生スル利子
- 第三條** 本資金ハ産業獎勵上必要アリト認ムルモノニ貸付スル外確實ナル銀行ニ預ケ入レ利殖ヲ爲スモノトス但シ必要ト認ムル事業ニ對シ獎勵金ヲ交付スルコトヲ得
- 第四條** 本資金ノ貸付及獎勵金交付ニ關スル手續ハ市長之ヲ定ム

附則

第五條 本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●佐世保市道路改良資金規程

大正七年三月二十三日許可

- 第一條** 本資金ハ特別會計トス
- 第二條** 本資金ハ左ニ掲クル金員ヲ積立テ之ニ充ツルモノトス但シ他ノ特別會計ノ收入ニ屬スルモノハ此ノ限ニアラス

一、本資金ニ指定セル寄附金

- 二、土地建物ヨリ得ル收入
 - 三、本資金ヨリ生スル利子
 - 四、請負工事ヨリ生スル違約金
- 第三條** 本資金ハ現金トシ有利ニシテ確實ナル方法ニヨリ利殖ヲ爲スモノトス
- 第四條** 本資金ハ道路ノ改良補修ニ要スル費途ニ充ツルモノトス
- 第五條** 本資金ヲ使用セムトスルトキハ其ノ金額ヲ一般ノ歳入ニ繰入レ一般ノ歳出トシ拂出スルモノトス

附則

第六條 本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●佐世保市住宅組合貸付金設置管理規程

大正十一年三月二十七日告示第二十二號

- 第一條** 本市内ニ於ケル住宅組合ハ資金貸付ノ爲佐世保市住宅組合貸付金ヲ設ク
- 第二條** 佐世保市住宅組合貸付金ハ特別會計トス

(佐世保市例)

(佐世保市例)

第三條 佐世保市住宅組合貸付金ハ長崎縣社會施設費貸付金ヨリ借受ケ之ヲ住宅組合ニ貸付クルモノトス

第四條 貸付金ノ利率ハ前條借受金ト同利率トス

第五條 貸付金ニ對シテハ住宅組合ヲシテ相當擔保ヲ提供セシムルモノトス

第六條 本規程施行ニ關スル細則ハ市長之ヲ定ム

附則

第七條 本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●佐世保市住宅組合貸付金設置管理規程施行細則

大正十一年六月二十日佐世保市告示第四十九號

- 第一條** 本市住宅組合貸付金(以下單ニ貸付金トス)ノ供給ヲ受ケムトスル組合ハ左記事項ヲ具シ市長ニ申込ヘシ
- 一、貸付ヲ受ケムトスル金額
 - 二、建設スル住宅數及其ノ設計書(圖面添付)但シ住宅ヲ購入スル場合ニ在リテハ其構造並ニ買收價格
 - 三、住宅敷地ノ地番坪數住宅建設前ニ在リテハ其ノ豫定地借地ニ係ルモノハ借入ノ方法
 - 四、住宅地ヲ購入スルモノニ在リテハ其ノ地番地目坪數並

ニ造成費

- 五、事業方法書
 - 六、當該年度歲入出豫算及事業計劃書
 - 七、組合及組合員ノ資産並ニ負債調書其ノ經歷
 - 八、貸付金力所要額ニ達セサルトキノ計劃
 - 九、償還期限及据置期限及利率
 - 十、擔保物件名
- 第二條** 前條ノ申込ヲ爲シタル組合ニシテ市長ヨリ貸付決定ノ通知ヲ受ケタルトキハ一ヶ月以内ニ左記書類ヲ提出シ貸付金ノ交付ヲ受クヘシ
- 一、借用證書(抵當權設定登記ヲ要スルモノハ其ノ手續ヲ經タルモノ)
 - 二、借入ニ關スル總會ノ決議書
 - 三、償還年次表
 - 四、抵當物件ニ對スル登記簿謄本
 - 五、住宅敷地力借地ナルトキハ其ノ契約書寫
 - 六、擔保力建物ナルトキハ其ノ保險證書
- 第三條** 貸付金ノ元金及利息ノ償還ハ毎年度二期ニ分チ前半年度分ハ八月一日迄ニ拂込ムヘシ
- 前項ノ期日ヲ遅延シタル場合ハ其ノ日ヨリ年七分二厘ニ相

第七類 財務 第二節 財產

當スル延滞利ヲ付スルモノトス

第四條 前條第一項ノ一期ニ滿タサル期間ノ貸付金利息ハ貸付金交付ノ日ヨリ償還當日迄ノ日割計算トス

第五條 有限責任及保證責任組合ニ在リテハ理事監事及市長ノ指定スル組合員二名以上連帶シテ債務ヲ保證スヘシ

第六條 擔保物件ハ總テ前位ニ抵當權ノ存在セサルモノナルコトヲ要ス

第七條 擔保物件ノ價格ハ市長之ヲ認定シテ其ノ貸付金額ヲ定ム

第八條 本貸付金ニ依リテ建造スル住宅竝ニ宅地ヲ擔保ニ供スルモノハ提供ノ運ヒニ至ル迄貸付ケタル資金ハ市長ニ於テ保管ス此ノ場合ニ於テ組合力償還ヲ怠リタルトキハ市長ハ償還金ニ相當スル金額ヲ其ノ保管セル貸付金ヨリ受領スルモノトス但シ組合ハ預金ヲ爲ス銀行竝ニ期間ニ付希望ヲ申出ツルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ擔保物件タル建造物ノ出來高ニ應ジテ貸付金ヲ交付スルモノトス

第九條 擔保物件タル建物ニ對スル保險金受領者ハ之ヲ市長トシ保險價格ハ豫メ市長ノ承認ヲ經ヘシ

市長ニ於テ保險金ヲ受領シタルトキハ第八條ノ例ニ依リ取

扱フモノトス

第十條 組合ニ於テ第一條ニ依ル申込書記載事項ヲ變更セムトスルトキハ豫メ市長ノ承認ヲ受ケルコトヲ要ス

第十一條 貸付金ノ交付ヲ受ケタル後三ヶ月以内ニ事業ニ著手セス又ハ本規程ニ違反シタルモノニ對シテハ貸付金ヲ一時ニ返還セシムルコトアルヘシ

第十二條 貸付金貸借ニ要スル費用ハ總テ貸付ヲ受ケタル組合ノ負擔トス

附則

第十三條 本細則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

借用書様式

金圓借用證書 (墨書)

一金 圓也

前記ノ金額左ノ契約ヲ以テ借用正ニ受領候也

一、借用金ハ大正何年何月何日ヨリ同何年何月何日迄ニ元

利金ヲ年賦償還トス

二、年賦期間中利率ハ年何分何厘トシ別紙償還年次表ノ通

左記方法ニ依リ佐世保市金庫ニ拂込ムモノトス

一、前半年度分

毎年八月

日迄

一、後半年度分

毎年二月

日迄

〔佐世保市例〕

- 三、償還期日ヲ遅延シタル場合ハ其ノ日ヨリ年七分二厘ニ相當スル延滞利子ヲ支拂フモノトス
- 四、連帶保證人ハ借主ト共ニ其ノ義務ヲ負擔スルモノトス
- 五、擔保物件末尾記載ノ通り
- 六、佐世保市住宅組合貸付金設置竝ニ管理規程施行細則其ノ他市長ノ命令ヲ嚴守シ決シテ違背セサルモノトス

年月日

佐世保市何町何番地

(組合印)

借主 何々組合

理事 何

某

同 何

某

同 何

某

住所 連帶保證人

某

住所 連帶保證人

某

連帶保證人

某

佐世保市長 殿

(抵當物件)

第七類 財務 第二節 財產

● 佐世保市恩給基金設置竝ニ管理規程

〔佐世保市例〕

昭和九年八月十七日告示第三百三十一號

第一條 本市恩給條例ニ依リ給與金ニ充ツル爲恩給基金ヲ設

ク

第二條 本基金ハ特別會計トシ左記各號ニ該當スル收入ヲ以

テ蓄積ス

一、恩給條例ニ依ル納付金

二、基金ヨリ生スル收入

三、指定寄附金

第三條 前條蓄積金ノ收支ハ一般會計特別會計水道費、同交

通事業費、同公益質屋費等各會計所屬毎ニ金額ヲ區分ス

第四條 基金ノ元本ハ豫算ニ定メテ第一條ノ目的ニ充ツルノ

外現金トシ有利確實ナル方法ヲ以テ預金又ハ市費ニ運用ス

ルモノトス

附則

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

● 佐世保市營魚市場費積立金規程

昭和四年三月九日告示第二十二號

- 第一條 水産業者ノ福利ヲ増進スルニ必要ナル本市營魚市場附設事業費及本魚市場ノ改善充實ニ充ツル爲佐世保市營魚市場費積立金ヲ設ク
 - 第二條 本積立金ハ特別會計トス
 - 第三條 本積立金ハ本市營魚市場費ノ剩餘金及本積立金ヨリ生スル收入ヲ以テ蓄積ス
 - 第四條 本積立金ハ確實ナル銀行ニ預入ルルモノトス
- 附則
本規程ハ昭和四年度ヨリ施行ス大正十一年五月二日告示第三五號佐世保市營魚市場附設事業費積立金規程ハ本規程施行ト同時ニ廢止シ其ノ積立金ハ本積立金ニ編入ス

第三節 稅務

● 特別稅家屋稅條例

明治三十六年六月二十四日許可
明治三十六年七月七日告示第三十五號
明治三十七年七月十二日內務大臣許可改正

- 第一條 本市内ノ建物ニ對シ家屋稅ヲ賦課ス
- 第二條 本稅ハ建物ノ所有者ニ賦課ス
- 第三條 本稅ハ建物ノ賃賃價格ヲ標準トシテ課稅ス其稅率ハ賃賃價格百分ノ十五以内トス
- 第四條 前條ノ賃賃價格及ヒ稅率ハ毎年度市會ニ於テ之レヲ議定ス
- 前項ノ賃賃價格ハ借家ノ場合ト否トニ拘ラス總テ市會ノ評定ニ依ルモノトス
- 第五條 左ノ各號ニ該當スル建物ニハ課稅セス但第一號第二號ノ建物ハ其ノ學校社寺若クハ設立者ノ所有ニ屬シ借家ニアラサルモノニ限ル
- 一、成規ニ據リ許可ヲ經タル私立學校ニシテ直接校用ニ供スル部分
- 二、直接宗教ノ用ニ供スル堂宇會堂說教所又ハ講義所

〔佐世保市例〕

〔佐世保市例〕

三、一時作業ノ爲使用スル假小屋
四、其ノ他市會ノ議決ニ依リ市ノ公益ヲ裨補スルモノト認メタル建物

- 第六條 納稅義務者ハ市長ノ定ムルトコロニ從ヒ其ノ義務ノ發生變更又ハ消滅ニ關スル届出ノ義務ヲ有スルモノトス
- 第七條 課稅上必要アル場合ハ吏員ヲ派遣シ日出ヨリ日沒迄ノ間其ノ建物ヲ檢査スルコトアルヘシ
- 第八條 第六條ニ依リ市長ノ定メタル届出ヲナサス又ハ虛偽ノ届出ヲナシタルトキ若クハ前條ノ檢査ヲ拒ミタルトキハ適當ノ課稅標準ヲ定メ課稅スルコトヲ得
- 第九條 納稅義務者本市内ニ住所又ハ居所ヲ有セザルトキハ納稅ニ關スル事項ヲ處辨セシムル爲メ本市内ニ住居スルモノヲ納稅代人ニ定メ雙方連署市長ニ届出ツヘシ
- 第十條 左ノ諸件ヲ犯シタルモノハ壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス爲メニ本稅ヲ通脫シタルトキハ之ヲ追徵ス
- 一、正當ノ事由ナク第六條ニ依リ市長ノ定メタル届出ヲナサス又ハ虛偽ノ届出ヲナシタルモノ
- 二、第九條ノ届出ヲ爲サ、ルモノ

● 特別稅家屋稅納稅義務者届出規程

- 第一條 本市特別稅家屋稅納稅義務者ハ此規定ニ依リ書面ヲ以テ本市長ニ届出ツヘキモノトス
- 前項ノ届書ニハ届出人連署人ノ住所職業氏名ヲ記載シ捺印スルヲ要ス
- 第二條 家屋ノ新築買受又ハ讓受ケヲナシタルトキハ別紙様式ニ依リ五日以内ニ届出ツヘシ其買受ケ讓受ニ依ルモノハ前所有者ノ連署ヲ要ス
- 前項ノ場合ニ於テ競買又ハ死跡相續ニ係ルモノハ前所有者ノ連印ヲ要セス但シ其事實ヲ證スヘキ書面ヲ添付スルコトヲ要ス
- 第三條 家屋ノ増築又ハ改築ヲナシタルトキハ家屋ノ位置種類(石造木造瓦葺板葺平家二階家類)坪數及用途ヲ詳記シ五日以内ニ届出ツヘシ
- 第四條 家屋ノ毀壞シ亡失シ若クハ從來特別稅家屋稅ヲ賦セラルヘキ家屋ニシテ特別稅家屋稅條例第五條第一號及ヒ第二號ニ該當スル場合ハ三日以内ニ其ノ旨届出ツヘシ
- 第五條 納稅義務者住所ヲ移轉シ又ハ改氏名ヲナシタルトキハ三日以内ニ其ノ旨届出ツヘシ
- 第六條 第二條第一項ニ依リ連署ヲ要スル場合ニ於テ連署ヲ

第七類 財務 第三節 稅務

拒ミ又ハ連署シ難キ事由アルトキハ屆書ニ其旨附記スヘシ
此場合ニ於テハ同條第二項但書ノ規定ヲ準用ス

附則

第七條 本市ニ於テ現ニ特別稅家屋稅ヲ課セサルヘキ家屋ノ
所有者ハ第二條ニ準シ明治三十六年八月三十一日限リ屆出
ツヘシ

家屋所有屆様式

一位置

佐世保市何町何番地(又ハ何免何何番地)

一種類

木造(又ハ石造煉瓦造)瓦葺(又ハ板葺草葺)平家建(又ハ

二階三階建)

一棟數及坪數

何棟何坪何合同何

一棟 何坪何合同何

內 一棟 階上何坪何合同何

一棟 三階何坪何合同何

一用途

住家(又ハ營業所製造場倉庫物置場等)

右明治何年何月何日新築(買受讓受)此段御屆候也

明治何年何月何日

何縣何郡市町村何番地何職業

所有者(買受人讓受人) 何 某

何縣何郡市町村何番地何職業

賣渡人(讓渡人) 何 某

市長 宛

備考

一、壹棟ニシテ用途ヲ異ニスル場合ハ用途及ヒ坪數ヲ内
課ニ區別掲記スヘシ

二、届出人又ハ連署人ニシテ寄留ノ場合ハ原籍地ヲ掲記
スヘシ

三、家屋ノ位置種類坪數用途等ヲ記入セル略圖添付ヲ要
ス

●特別稅宴席消費稅條例

大正九年四月二十七日內務省陸地第三六號許可
大正九年七月十日告示第三十八號

大正九年十一月十一日改正 許司
大正九年十一月十七日告示第九十八號改正

第一條 本市ニ特別稅宴席消費稅ヲ設定ス

第二條 宴席消費稅ハ本市内ノ料理店貸座敷席貸及飲食店其

(佐世保市例)

(佐世保市例)

ノ他之ニ類似ノ場所ニ於テ飲食又ハ遊興ノ爲一人一回金參
圓以上ノ金員ヲ消費セシ者ニ之ヲ賦課ス

第三條 宴席消費稅ハ消費金額百分ノ五以内トス

第四條 前條ノ賦課率ハ毎年度市會ニ於テ之ヲ議定ス

第五條 第二條ノ營業者ハ納稅義務者ノ納稅管理人ト爲リ納
稅ニ關スル事項ヲ處理スヘシ

營業主本市内ニ居住セサルトキハ其ノ管理者ヲ以テ納稅管
理人トス

第六條 納稅管理人ハ毎十日間ニ於ケル消費人員金額竝ニ課
稅上必要ノ事項ヲ遲滞ナク市長ニ申告スヘシ但シ本條ノ期
間ハ市長ニ於テ之ヲ伸縮スルコトヲ得

第七條 宴席消費稅ハ隨時之ヲ徵收ス

第八條 納稅管理人ニハ手数料トシテ納入金額百分ノ五ヲ交
付ス

第九條 市長ハ市吏員ヲシテ營業者ノ帳簿書類等ヲ其ノ營業
時間内ニ於テ隨時檢査セシムルコトアルヘシ

藝妓組合又ハ券番ニ設備セル藝妓ノ營業ニ關スル帳簿書類
ニ就テモ亦同シ

第十條 左記各號ノ一ニ該當スル者ニ對シテハ五圓以下ノ過
料ヲ科ス

第七類 財務 第三節 稅務

第七類 財務 第三節 稅務

第七類 財務 第三節 稅務

第七類 財務 第三節 稅務

第七類 財務 第三節 稅務

第七類 財務 第三節 稅務

第七類 財務 第三節 稅務

第七類 財務 第三節 稅務

第七類 財務 第三節 稅務

第七類 財務 第三節 稅務

加稅ヲ賦課スルトキハ本條例ノ施行ヲ停止ス

●特別稅宴席消費稅條例施行
細則

大正九年七月十日告示第三十九號

第一條 特別稅宴席消費稅ハ本市主要道路ノ開修擴張及改善
ノ資ニ充ルモノトス

第二條 特別稅宴席消費稅ハ料理店、貸座敷、席貸、飲食店
及旅人宿等ノ營業者ニ於テ條例第二條ノ消費者ヨリ宴會又

及旅人宿等ノ營業者ニ於テ條例第二條ノ消費者ヨリ宴會又

及旅人宿等ノ營業者ニ於テ條例第二條ノ消費者ヨリ宴會又

及旅人宿等ノ營業者ニ於テ條例第二條ノ消費者ヨリ宴會又

及旅人宿等ノ營業者ニ於テ條例第二條ノ消費者ヨリ宴會又

及旅人宿等ノ營業者ニ於テ條例第二條ノ消費者ヨリ宴會又

及旅人宿等ノ營業者ニ於テ條例第二條ノ消費者ヨリ宴會又

及旅人宿等ノ營業者ニ於テ條例第二條ノ消費者ヨリ宴會又

及旅人宿等ノ營業者ニ於テ條例第二條ノ消費者ヨリ宴會又

及旅人宿等ノ營業者ニ於テ條例第二條ノ消費者ヨリ宴會又

第七類 財務 第三節 稅務

ハ飲食遊興ノ都度之ヲ徵收スヘシ

第三條 條例第三條ノ課稅標準ハ消費行爲連續數日ニ涉ルトキト雖モ之ヲ一回ト看做ス

第四條 一人一回ノ消費金額ニ壹圓未満ノ端數アルトキハ之ヲ切捨テ課稅ス

第五條 條例第六條ノ申告書ハ第一號様式ニ依リ毎月一日ヨリ十日迄ヲ第一期、十一日ヨリ二十日迄ヲ第二期、二十一日ヨリ末日迄ヲ第三期トシ各期間ニ於ケル分ヲ毎期末日後三日以内ニ提出スヘシ

第六條 徵收義務者ノ徵收セシ税金ハ第二號様式ノ拂込書ニ第一號様式

宴席消費稅課稅標準額申告書

大正 年 月 日
佐世保市長 殿

佐世保市 町 番地 名印
徵收義務者職業 氏

消費期間	消費金額	消費者人員	摘要
自 月 日 至 月 日			

備考 消費金額中壹圓未満ノ端數ハ算入セサルモノトス(第四條參照)

第二號様式(本書ハ市役所ニ於テ調製シ拂込ノ時々交付スルモノトス)

領 收 證 書

振替貯金口座番號 佐世保特壹番	市	稅 特 別 稅	月分第	期隨時
大 正 年 度	拂込人			
一金 圓	宴席消費稅			
此領收證書ハ佐世保市金庫、郵便局、郵便貯金局又ハ同支局ノ受入日 附印ノ押捺ニ依リ其效力ヲ生ス				
印 附 日 入 受				
大 正 年 度 拂込人				

振替貯金口座番號
佐世保特壹番

市

稅
特
別
稅

月分第

期隨時

原

一金

圓

宴席消費稅

加入者

佐世保市收入役

備

考

印附日入受局便郵

印附日局金貯便郵

數 口 萬 千 百 拾 圓 拾 錢 厘

日

計

第

號

大

正
年度
拂込人

町

番地

〔佐世保市例〕

拂

込

書

振替貯金口座番號
佐世保特壹番

市

稅
特
別
稅

月分第

期隨時

〔佐世保市例〕

一金

圓

宴席消費稅

右拂込候也

大正 年 月 日

印附日入受局便郵

印附日局金貯便郵

●佐世保市特別稅戶別稅條例

大正十二年六月五日許可
大正十二年六月十二日告示第四十六號

- 第一條 市ニ特別稅戶別稅ヲ設定ス
- 第二條 本稅ハ家屋稅ノ賦課ヲ受ケサル家屋ニ居住シ一戶ヲ構フル者及一戶ヲ構ヘサル獨立ノ生計ヲ營ム者ニ對シ之ヲ賦課ス船舶ヲ一定ノ場所ニ定著セシメ又ハ假小屋ニ居住シ一戶ヲ構ヘ若ハ獨立ノ生計ヲ營ム事實アルトキハ其ノ船舶、假小屋ハ之ヲ家屋ト看做ス
- 第三條 本稅ノ賦課額ハ左記各號ニ依リ市會之ヲ議決ス
 - 一、四月一日現在納稅義務者居住ノ家屋ニ就キ其ノ使用スル部分ニ對シ縣稅家屋稅並ニ其ノ附加稅ノ合算額ヲ賦課ス
 - 二、同一家屋中ニ二人以上ノ納稅義務者居住シ其ノ使用ノ區域明カナラサルトキハ平分シテ之ヲ賦課ス
 - 三、特別ノ事情アリト認メタルトキハ前各號ニ依リ算出シタル金額ノ五割以內ヲ輕減シ其ノ賦課額ヲ決定スルコトヲ得
- 第四條 本稅ハ左ノ期限ニ依リ之ヲ徵收ス

- 第一期 其ノ年 八月十日ヨリ 年額ノ二分ノ一
- 第二期 其ノ年 十一月十五日ヨリ 年額ノ二分ノ一
- 第三期 其ノ年 十二月十五日限
- 第五條 賦課期日後納稅義務ノ發生シタル者ニ對シテハ發生ノ翌月ヨリ月割ヲ以テ之ヲ賦課ス但シ他市町村ヨリ轉入シタル者ニ對シテハ他市町村ニ於テ戶數割附加稅又ハ家屋稅附加稅ノ賦課ナキ部分ニ付テノミ賦課ス
- 賦課期日後新ニ納稅義務ノ發生シタル者ニ對スル賦課額ハ第三條ノ規定ニ依リ定メタル他ノ納稅義務者ノ賦課額ニ比準シテ之ヲ定メ隨時徵收ス
- 賦課期日後納稅義務ノ消滅シタル者ニ對シテハ其ノ消滅シタル月迄月割ヲ以テ賦課ス但シ既ニ徵稅令書ヲ發シタル場合ニ於テハ其ノ賦課額ハ之ヲ變更セス
- 第六條 本稅ハ左ニ掲クル課稅ヲ受ケタル家屋ニ居住スル者ニ對シテハ課稅セス
 - 一、私法人使用建物稅
 - 二、人寄席稅
 - 三、演劇場稅
 - 四、火葬場稅
 - 五、市場稅

〔佐世保市例〕

- 第七條 納稅義務者ハ左記各號ノ一ニ該當シタルトキハ滯滞ナク其ノ事項ヲ市長ニ届出ツヘシ
 - 一、納稅義務ノ發生又ハ消滅シタルトキ
 - 二、使用家屋ニ異動アリタルトキ
- 第八條 前條ノ届出ヲ怠リタルトキハ五圓以下ノ過料ヲ科スルコトアルヘシ

〔佐世保市例〕

- 第九條 本條例ハ大正十二年度分ヨリ之ヲ適用ス
- 大正十二年度分ニ限リ賦課期日ハ別ニ之ヲ定ム

●佐世保市特別稅戶數割條例

昭和二年三月五日議決
昭和二年三月三十一日告示第七十號

昭和七年四月二十日告示第三十九號改正

- 第一條 大正十五年法律第二十四號第二十二條ノ規定ニ依リ特別稅戶數割ヲ賦課ス
- 第二條 本稅ハ本市內ニ一戶ヲ構フル者又ハ一戶ヲ構ヘサルモ獨立ノ生計ヲ營ム者ニ之ヲ賦課ス
- 第三條 本稅ハ毎年度四月一日現在ニ依リ之ヲ賦課ス
- 賦課期日後新ニ納稅義務ノ發生シタル者ニハ隨時之ヲ賦課ス

- 追賦課ノ賦課期日ハ其ノ都度市會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム
- 前項ノ追賦課ハ其賦課期日現在ノ納稅義務者ニ對シ最近賦課ノトキ算定シタル資力ヲ標準トシテ之ヲ賦課ス但シ未ダ其算定ナキ者ノ資力ハ新ニ算定スル所ニ依リ
- 第四條 本稅ノ徵收期限ハ別ニ之ヲ定ム
- 第五條 本稅ノ納稅義務者ハ毎年四月二十日限リ資力算定ノ標準タル所得ノ種類及金額ヲ詳記シ市長ニ申告スヘシ
- 賦課期日後新ニ納稅義務ノ發生シタル者ハ其ノ發生ノ日ヨリ五日以內ニ前項ニ依リ申告ヲ爲スヘシ
- 前二項ニ依リ申告ヲ爲サ、ル者及其ノ申告ヲ不當ト認メタル者ノ所得額ハ市長ニ於テ之ヲ調査ス
- 納稅義務者ニシテ納稅義務消滅シタルトキハ五日以內ニ其ノ事實ヲ詳記シ市長ニ届出ツヘシ
- 第六條 大正十五年內務、大藏省令地方稅ニ關スル法律施行規則第二十四條ノ規定ニ依リ所得額ヨリ控除スヘキ金額左ノ如シ
 - 一、所得額千圓以下ナルトキ 一人ニ付 百圓
 - 二、所得額千圓以上ナルトキ 一人ニ付 百圓

年十四歲未滿者ハ六十歲以上ノ者又ハ不具癡疾者

第七類財務 第三節 稅務

- 二、所得額貳千圓以下ナルトキ 一人ニ付 七拾圓
- 三、所得額參千圓以下ナルトキ 一人ニ付 五拾圓
- 第七條 前條ニ規定スル金額ノ控除ヲ受ケムトスル者ハ第五條ニ依ル申告ト同時ニ市長ニ申請スヘシ
- 第八條 本稅總額中納稅義務者ノ資産ノ狀況ニ依リ資力ヲ算定シテ賦課スヘキ額ハ其ノ總額ノ十分ノ二トス
- 第九條 本稅納稅義務者ノ資力及賦課額ハ毎年度市會ニ於テ之ヲ議決ス
- 第十條 左ニ掲グル者ニハ本稅ヲ賦課セス
 - 一、公費ノ救助ヲ受クル者但シ災害ニ依リ一時ノ救助ヲ受クル者ハ此ノ限ニ在ラス
 - 二、學生、生徒、塾生ニシテ修學ノ爲メ學校若ハ他家ニ寄寓又ハ合宿スル者
 - 三、職工、人夫等ニシテ會社又ハ事業主ニ於テ一定ノ場所ニ合宿セシムル者
- 前項ニ規定スルモノ、外市會ニ於テ公益上其ノ他ノ事由ニ依リ課稅ヲ不適當ト議決シタル者
- 第十一條 詐偽其ノ他ノ不正ノ行爲ニ依リ本稅ヲ遁脫シタル者ハ其ノ遁脫シタル金額ノ三倍ニ相當スル金額(其ノ金額

- 五圓未滿ナルトキハ五圓)以下ノ過料ヲ科スルコトアルヘシ
- 第十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五圓以下ノ過料ヲ科スルコトヲ得
 - 一、本條例第五條ノ規定ニ依ル申告ヲナサ、ルトキ
 - 二、虚偽ノ申告ヲナシタルトキ
 - 三、本稅ノ遁脫ヲ圖リタルトキ
- 第十三條 本條例施行ニ關シ必要ナル細則ハ市長之ヲ定ム
- 附則 本條例ハ昭和二年度分ヨリ之ヲ施行ス
- 附則 (昭和七年告示第三十九號) 本改正ハ昭和七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

● 佐世保市特別稅戶數割條例 施行細則

昭和二年六月二十四日決裁

〔佐世保市例〕

- 一、住所所在地及氏名ヲ變更シタルトキ
- 二、相續ニ因リ納稅義務ヲ繼承シタルトキ

附則 本細則ハ昭和二年度分ヨリ施行ス

〔佐世保市例〕

注◎ 申告書ヲ書ク前ニ表裏面ノ説明及注意ヲ能ク見ラレタシ (別紙ハ左記)
 ◎意 本申告書ハ四月二十日迄ニ是非出サレタシ
 幼老不具癡疾者ニ對スル控除モ申請セヌト控除出來マセヌカラ其記入ヲ忘レヌヤウ注意セラレタシ

(表 面)

昭 和	年 度	戶 數	割 課 稅 標 準	申 告 書
佐 世 保 市	長 殿	カ ナ チ ヲ ツ	ケ ル コ ト	氏 世 帶 主
現 住 所	免 町	番 地	職 業	大 字
本 籍 地	縣 府	市 郡	村 町	番 地
所得總計金	圓 也	屋 商 號 號	番 電 話 號	

第七類財務 第三節 稅務

市のたに納むる金の已

所得ノ種類	所得ノ場所	其ノ二 營業及其ノ他ノ所得	合計金	所得ヲ生スル場所	其ノ一 勤勞所得
			圓	圓	圓
所得ノ種類	所得ノ場所	總收入又ハ必經必要費要得差年引額所氏所得名者	圓	圓	圓
所得ノ種類	所得ノ場所	賣上又ハ必經必要費要得差年引額所氏所得名者	圓	圓	圓
所得ノ種類	所得ノ場所	總收入又ハ必經必要費要得差年引額所氏所得名者	圓	圓	圓

(一) 所得ヲ生スル場所ノ欄ニハ受給官公署名等ヲ書クコト
 (二) 俸給料賞與年金恩給退隱料各種加給手當歳費被服料等ハ前年中ノ收入額但シ前年一月一日ヨリ引續シ給テ受ケナイ者ハ本年ノ豫算年額ヲ書クコト
 (三) 賞與又ハ賞與ノ性質ヲ有スル給與ハ前年三月一日ヨリ本年二月末日迄ノ收入額ヲ書クコト
 (一) 所得ノ種類欄ニハ何々販賣何製造又ハ旅人宿貸家賃金利子株式配當等ト書クコト
 (二) 所得ノ種類欄ニハ何々販賣何製造又ハ旅人宿貸家賃金利子株式配當等ト書クコト
 (三) 賣上又ハ總收入金額欄ニハ前年中ノ賣上又ハ總收入金額但シ前年一月一日ヨリ引續シ付テハ本年ノ豫算年額ヲ書クコト
 (一) 法人ヨリ受クル利益若ハ利息ノ配當又ハ剩餘金ノ分配ハ前年三月一日ヨリ本年二月末日迄ノ收入額但シ無記名株式ノ受給ニシテハ同期間内ニシテ金額ヲ總收入金額欄ニ書クコト
 (二) 株式ノ消却又ハ退社ニ因リ受領セシ金額ハ其受領金額ヨリ拂込済金額又ハ出資金額ヲ控除シタテ残額ヲ利益ノ配當ト看ル

〔佐世保市例〕

が身の福と利なりて現る

所得ノ種類	段別又ハ坪数	土地ノ所在地	總收入金額	必經必要費要得差年引額所	自作貸付借地別	地主又ハ住名	其ノ三 宅地田畑山林雜地ノ所得	差引所得年額合計金
								圓
所得ノ種類	段別又ハ坪数	土地ノ所在地	總收入金額	必經必要費要得差年引額所	自作貸付借地別	地主又ハ住名	其ノ三 宅地田畑山林雜地ノ所得	差引所得年額合計金
所得ノ種類	段別又ハ坪数	土地ノ所在地	總收入金額	必經必要費要得差年引額所	自作貸付借地別	地主又ハ住名	其ノ三 宅地田畑山林雜地ノ所得	差引所得年額合計金

(一) 所得ノ種類欄ニハ何々販賣何製造又ハ旅人宿貸家賃金利子株式配當等ト書クコト
 (二) 所得ノ種類欄ニハ何々販賣何製造又ハ旅人宿貸家賃金利子株式配當等ト書クコト
 (三) 賣上又ハ總收入金額欄ニハ前年中ノ賣上又ハ總收入金額但シ前年一月一日ヨリ引續シ付テハ本年ノ豫算年額ヲ書クコト
 (一) 法人ヨリ受クル利益若ハ利息ノ配當又ハ剩餘金ノ分配ハ前年三月一日ヨリ本年二月末日迄ノ收入額但シ無記名株式ノ受給ニシテハ同期間内ニシテ金額ヲ總收入金額欄ニ書クコト
 (二) 株式ノ消却又ハ退社ニ因リ受領セシ金額ハ其受領金額ヨリ拂込済金額又ハ出資金額ヲ控除シタテ残額ヲ利益ノ配當ト看ル

〔佐世保市例〕

氏名	生年月日	職業	世帯主トノ續柄	不具癡疾ノ由	年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	自家坪		借家坪	
										坪	家坪	坪	家坪
					年月日	年月日	年月日	年月日	年月日	町(村)	番地	町	番地
										同上	氏名	同上	氏名

(一) 四月一日現在ニテ十四歳未滿若ハ六十歳以上ノ者ヲ書クコト
 (二) 前項ノ十四歳未滿ノ者ハ以後ニ生レタル者六十歳以上ノ者ハ以前ニ生レタル者(註) 日以前ニ生レタル者毎年順次變更スルモノリ其都度記入スルモトス

一般注意

(一) 戸數割ハ一戸ヲ構フル者又ハ一戸ヲ構ヘサルモ獨立ノ生計ヲ營ム者(水交社下宿屋等ニ起臥スル者ヲ含ム)ニ賦課ス

〔佐世保市例〕

(二) 職業欄ニハ海軍機關大尉海軍一等主計兵曹裁判所書記巡査何々銀行員旅人宿茶卸小賣商何々商店店員海軍工廠何部何工場何工等ト詳細ニ書クコト

〔佐世保市例〕

(三) 同居家族中ニ所得アルモノハ同一申告所ニ列記スルコト

(四) 死亡者又ハ自己以外ノ名義ノ不動産(主ニ土地)等ニシテ事實自己ノ所得トナリツ、アルモノアラバ地主又ハ借主住所氏名欄ニ死亡者又ハ其ノ他ノ不動産所有者ノ氏名及續柄ヲ書クコト

(五) 必要ノ經費トハ仕入品ノ原價原料品ノ代價場所物件ノ修繕料又ハ借入料場所物件又ハ業務ニ係ル公課雇人ノ給料種苗蠶種肥料ノ購買費農具ノ修繕費家畜其ノ他ノ飼養料其他收入ヲ得ルニ直接必要ナルモノニ限ル但シ家事上ノ費用及之ニ關聯スルモノハ之ヲ控除セサルコト

(六) 差引所得年額欄ニハ賣上又ハ總收入金額ヨリ必要ノ經費ヲ控除シタル殘額ヲ書クコト

(七) 本書各欄ノ下ニ記載セル計算方法ニ依リ算出シタル總所得一萬二千圓以下ナルトキハ其所得額中勤勞所得ニ限リ左ニ相當スル金額ヲ控除シマス

(イ) 一萬二千圓以下一割(ロ) 六千圓以下二割(ハ) 三千圓以下三割(ニ) 千五百圓以下四割(ホ) 八百圓以下五割(ヘ) 前項ニ依リ控除ナシタル差引總額三千圓以下ナル場合ハ納稅義務者及之ト生計ヲ共ニスル同居家族中年度開始ノ日ニ於テ年齢十四歳未滿若ハ六十歳以上ノ者又ハ不具癡疾者アルトキハ納稅義務者ノ申請ニ依リ其所得額ヨリ左ノ金額ヲ控除シマス但シ雇人ノ如キ扶養義務ナキモノハ控除シマセシ(イ) 所得千圓以下ナルトキハ一人ニ付百圓(ロ) 同貳千圓以下ナルトキ同七十圓(ハ) 同參千圓以下ナルトキ同五十圓本規則ニテ不具癡疾者トハ心神喪失ノ常況ニ在ル者聾者啞者盲者其他重大ナル傷疾ヲ受ケ又ハ不治ノ疾患ニ罹リ常ニ介護ヲ要スル者ヲ云ヒマス故ニ控除申請ノ場合ハ常ニ介護ヲ要スル者ト認ムルニ足ル醫師ノ診斷書ヲ添付スルコト尙必要アリト認ムルトキハ幼老不具癡疾者ノ控除申請ヲナシタル者ニ對シ戶籍ノ謄本若ハ抄本ノ提出ヲ要求スルコトガアリマ

- (九) 勤務所得及幼老不具癡疾者ニ對スル控除額ハ市役所テ計算シマスカラ此申告書ニハ控除シナイ所得額ヲ書ク
- (一〇) 軍人從軍中ノ俸給手當扶助料及傷痍疾者ノ恩給又ハ退隱料旅費學資金法定扶養料及救助金營利ノ事業ニ屬セザル一時ノ所得ハ申告スルニ及ビマセン
- (一一) 正直ニ申告シナイト過料ヲ科セラル、コトガアリマス
- (一二) 左ノ場合ハ其都度届出ナイト思ハヌ損ヲスルコトガアリマス
 - (イ) 住所ヤ氏名ヲ變更シタルトキ(此ノ場合ハ戶籍ヲ寄留係ニ届出ツルト同ニ戶數割係ニモ届出ナイト合書ガ著カヌコトガアリマス)
 - (ロ) 納稅義務消滅シタルトキ(五日以内ニ届出ツルト)
 - (ハ) 相續ノ爲メ納稅義務ヲ繼承シタルトキ
- (一三) 此ノ注意ヲ讀ンテ尙ワカラヌトキハ戶數割係ニオ尋ネ下サイ
- (一四) 此ノ紙ニ書キ切レヌトキハ外ノ紙ニ書イテ離レヌ様ニ綴ツテオクコト

佐世保市稅賦課徵收規則

- 昭和二年三月五日 議決
昭和二年三月二十六日告示第四十七號
- 昭和二年八月三十一日告示第四百二十二號改正
昭和三年八月二十二日告示第七十三號改正
昭和六年五月十四日告示第六十八號改正
昭和八年七月二十日告示第七十七號改正
- 第一條 市稅ノ賦課徵收ハ別段ノ規定アルモノノ外本則ノ定ムルトコロニ依ル
- 第二條 市稅ノ賦課率ハ市會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム
- 第三條 地租附加稅ハ前條ノ課率ヲ二分シ其ノ年四月一日及十月一日現在ノ地租額ヲ標準トシテ本稅ノ納稅義務者ニ之ヲ賦課ス
- 第四條 前條ニ定ムルモノノ外國稅附加稅及縣稅附加稅ハ各其ノ本稅額ヲ標準トシテ本稅ヲ納ムル者ニ之ヲ賦課ス
- 第四條ノ二 前二條ニ定ムル諸稅ノ徵收期ハ當該縣稅ノ徵收

期ニ依ル

- 第四條ノ三 特別稅戶數割ハ左ノ納期ニ依リ之ヲ徵收ス
 - 第一期 其ノ年八月十日ヨリ三十一日限り
 - 第二期 其ノ年十二月一日ヨリ二十六日限り
- 第四條ノ四 都市計畫特別稅地租割及特別地稅ハ第二條ニ定メタル課率ニ依リ其ノ年四月一日現在ノ地租額又ハ貨賃價格ヲ標準トシテ各其ノ本稅ノ納稅義務者ニ之ヲ賦課シ左ノ納期ニ依リ全額ヲ徵收ス
 - 其ノ年四月十五日ヨリ同月三十日限り

- 第四條ノ五 都市計畫特別稅家屋稅ハ第二條ニ定メタル課率ニ依リ本稅額ヲ標準トシ本稅ヲ納ムル者ニ之ヲ賦課シ縣稅第一期ノ徵收期ニ依リ全額ヲ徵收ス
- 第五條 前數條ニ規定スル徵收期限ニ依リ難キモノハ市長ニ於テ隨時之ヲ徵收ス
- 第六條 賦課洩又ハ脱稅者ニ對シテハ納稅義務發生ノ當時ニ適リ各年度ノ稅率ニ依リ一時ニ之ヲ賦課ス
- 第七條 賦課期日後納稅義務消滅スルモ其ノ賦課額ハ之ヲ變更セズ

附則

本則ハ昭和六年度分ヨリ之ヲ適用ス

第七類 財務 第三節 稅務

- 昭和六年度分地租附加稅ハ從前ノ地租ヲ標準トシ從前ノ規定ニ依リ之ヲ賦課ス
- 地租附加稅及特別地稅附加稅ノ賦課期日ハ昭和六年度第一期分ニ限リ六月一日トシ其ノ徵收期ヲ六月十五日ヨリ同月三十日限トス
- 附則
本規則ハ昭和八年度ヨリ之ヲ施行ス
昭和八年度分ニ限リ第四條ノ四ノ改正規定中其ノ年四月一日現在トアルハ其ノ年十月一日トシ其ノ徵收期ヲ其ノ年十月十五日ヨリ同月三十一日限リトス
- 第四條ノ五ノ徵收期ハ昭和八年度分ニ限リ其ノ年十二月一日ヨリ四月十五日限リトス

市稅延滞金規則

大正十五年八月二日告示第一百二十二號

大正十五年六月二十四日勅令第二百一號ニ依リ市稅ノ督促ヲ爲シタル場合徵收スル延滞金ノ割合ハ稅金額ノ萬分ノ四ト定ム

附則

本規則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●佐世保市納稅表彰規則

大正十一年一月十一日告示第三號
大正十四年三月十九日告示第二十六號改正
昭和七年七月二十五日告示第百十號改正

- 第一條** 納稅成績改善ノ目的ヲ以テ納稅組合ヲ組織シ一ケ年度内ニ於ケル組合員ノ納付スヘキ各稅(隨時收入ノ分ヲ除ク)ヲ其ノ納期內ニ完納シタル組合ニ對シ金品ヲ交付シ之ヲ表彰ス但シ特種ノ事情ニ依リ納期日迄ニ完納ニ至ラサルモ市長ニ於テ成績善良ト認メタルトキハ表彰スルコトヲ得
- 第二條** 表彰ハ組合戶數三十戶若ハ組合員四十人以上ノモノニ非サレハ之ヲ行ハス
- 官公衙學校會社其ノ他之ト類似ノ場所ニ勤務スル者ノ組合又ハ本規則施行前市長ニ届出アルモノ若ハ市長ニ於テ特別ノ事情アリト認メタル組合ハ前項ノ制限ニ依ラサルコトヲ得
- 第三條** 表彰金品ハ左ノ等級及區別ニ依リ計算ス
- 一等 各稅一年度ヲ通シ指定納期日迄ニ完納シタル組合一戶又ハ一人當金五拾錢以內
 - 二等 各稅一箇年度ヲ通シ法定納期日迄ニ完納シタル組合一戶又ハ一人當金參拾錢以內
 - 三等 第一條但書該當ノ組合

一戶又ハ一人當金貳拾五錢以內

- 第三條ノ二** 市長ニ於テ特ニ必要ト認メタル組合ニ對シテハ前條ニ依ルノ外仍遊興稅附加稅ニ在リテハ其ノ納入金額ノ百分ノ一以內其ノ他ノ稅ニ在リテハ納入金額ノ千分ノ二以內ノ金額ヲ交付スルコトヲ得
- 第四條** 表彰ハ毎年度其ノ納稅成績ヲ調査シ年度後三箇月以內ニ之ヲ行フ
- 第五條** 市長ハ納稅組合組織又ハ多年納稅獎勵ノ爲メ特ニ盡力シ其ノ功勞顯著ナル者ニ對シ記念品ヲ交付シ表彰スルコトヲ得
- 第六條** 本規則ノ施行ニ必要ナル細則ハ市長之ヲ定ム

附則

本規則ハ大正十一年年度分納稅ヨリ之ヲ施行ス
現行納稅獎勵規則ハ本則施行ノ時ヨリ之ヲ廢止ス
本改正ハ昭和七年度分ヨリ之ヲ施行ス

●納稅表彰規則施行細則

大正十一年四月一日告示第二十七號

第一條 納稅義務者ニシテ納稅組合ヲ組織シタルトキハ組合代表者ハ左記事項ニ組合規約ヲ添付シ市長ニ届出ツヘシ

〔佐世保市例〕

附則

本細則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔佐世保市例〕

●市有地免租手續ニ關スル件

昭和八年五月十五日庶務課長通牒

各課長宛

市ニ於テ公用又ハ公共ノ用ニ供スル土地及公用又ハ公共ノ用ニ供スルモノト決定シタル市有地、道路、用惡水路、溜池、堤塘、井溝、保安林ニ對シテハ免租手續アレバ地租法第二條ニ依リ免租セラル、モノナルニ拘ラズ(有料借地ハ例外)其ノ手續ナキ爲メ往々ニシテ地租及縣稅附加稅ノ賦課ヲ受ケル場合有之土地管理上甚ダ不都合ニ付現在不整理ノ分ハ直チニ尙爾今各課主管事業執行ノ場合右ニ該當スル土地生シタル際ハ速ニ此ノ旨稅務課國稅係ニ通報スルト共ニ速ニ免租手續有之度依命及通牒候也

追而地租法以外ノ法令等ニ免租ノ規定アル場合ハ本文ノ趣旨ニ基キ至急御取扱相成度申添候

●土地臺帳及圖面ニ關スル件

昭和五年十二月二十日廳達第二十七號

二八五

横 約 三 寸

縦 約 三 寸

第 稅金完納證	第 稅金完納證
何々稅 指定納期日	何々稅 指定納期日
何々稅 法定納期日	何々稅 法定納期日
何々組合代表者	何々組合代表者
何々町何番地	何々町何番地
某	某
市役所	市役所
之印	之印
年 月 日	年 月 日
完納	完納
年 月 日	年 月 日

佐世保市役所

當廳備付ノ土地臺帳及圖面ハ最モ重要ナル圖書ニシテ之レカ
訂正加除ハ凡テ主管廳タル稅務署ノ通知ニ基キ係ニ於テ嚴重
整理シ居ルモノナルニ近時廳内吏員ニ於テ之等圖書ヲ借覽シ
勝手ニ「赤線、符號若ハ鉛筆書」等ヲ施スカ如キハ甚タ不都合
ノ次第ニ付爾今必要ノ場合ハ國稅係ノ承諾ヲ得テ其ノ席上ニ
於テ閱覽スヘシ

●新築家屋門戶標札ノ件

明治三十六年九月二十三日告示第六十二號

從來家屋新築ノ場合ハ門戶標札下付願ヲ要セシモ右ハ本年八
月佐告第五一號特別稅家屋稅納稅義務者届出規程第二條ノ家
屋所有届ニ對シ標札下付候條自今門戶標札下付願ハ差出ニ及
ハス

第八類

手數料及使用料

第八類 手數料及使用料

●手數料條例

明治三十六年七月二十九日告示第四十四號

大正十年八月三日告示第五十四號改正
大正十四年五月八日告示第四十六號改正

第一條 市制第百十三條ニ依リ特ニ一個人ノ爲ニスル事件ニ付左ノ手數料ヲ徵收ス但シ法律命令ニ依リ取扱フモノハ此ノ限ニアラス

一 土地ニ關スル證明

壹通貳筆以內金參拾錢但シ以上壹筆ヲ増ス毎ニ金拾錢ヲ増加ス

二 租稅公課ニ關スル證明

壹稅目毎ニ金貳拾錢但シ年度ヲ異ニスルトキハ年度毎ニ壹稅目トシ土地ニ關シテハ貳筆建トシ以上壹筆又ハ壹棟ヲ參拾ス毎ニ金拾錢ヲ増加ス

三 營業ニ關スル證明

壹人壹通ニ付金五拾錢

四 建物船車ニ關スル證明

建物壹棟ニ付金參拾錢船船壹隻ニ付金五拾錢其ノ他ノ車壹輛ニ付金參拾錢

五 身元ニ關スル證明

壹通ニ付金參拾錢

第八類 手數料及使用料

六 住所及居所ニ關スル證明

壹通ニ付金參拾錢

七 公民其他資格ニ關スル證明

壹通ニ付金參拾錢

八 印鑑ニ關スル證明 壹人壹通ニ付金參拾錢

九 公簿書類ノ謄本抄本壹葉ニ付金參拾錢

十 圖面ノ謄本及抄本半紙版壹葉ニ付金五拾錢

十一 公簿圖面類ノ閱覽壹回壹件ニ付金貳拾錢

十二 物價ニ關スル證明壹物件ニ付金壹圓

十三 各項以外ノ諸證明壹通ニ付金參拾錢

第十四 前條證明謄本抄本及閱覽ハ公衆ノ閱覽ニ供シ差支ナキモノニ限ル

第三條 手數料ハ證明謄本抄本閱覽等ノ請求ノ際之ヲ徵收ス

第四條 左ノ場合ニ於テハ手數料ヲ徵收セス

一、本市住民ニシテ現ニ公費ヲ以テ救助ヲ受クル者

二、赤貧ニシテ手數料ヲ納ムル資力ナキト認ムル者

三、天災事變ニ關シ證明謄本抄本閱覽等ヲ要スル者

四、現役陸海軍々人ノ看護及休暇等ニ關スル證明

五、國又ハ公共團體ヨリ恩給受領ニ要スル諸證明

附則

第五條 本條例ハ明治三十六年八月一日ヨリ之ヲ施行ス

●督促手数料條例

明治三十五年十二月四日許可(内務省許可第九七號)

明治四十二年六月十八日改正許可(長崎縣指令第一四九號)

明治四十二年六月二十一日告示第二十四號改正

- 第一條 市税其他市ノ收入ヲ定期内ニ完納セザルモノニ對シ督促狀ヲ發シタルトキハ壹通毎ニ手数料金貳拾錢ヲ徵收ス
- 第二條 督促手数料ハ之ヲ督促狀ニ記載シ別ニ納入告知書ヲ發セス滯納金ト同時ニ徵收ス但手数料ヲ領收シタルトキハ領收證ヲ交付ス
- 第三條 定期内ニ完納セザルトキハ直ニ督促狀ヲ發ス督促狀ニ指定スル期間ハ七日以内トス
- 第四條 督促狀ヲ受ケタルモノ其指定期日内ニ完納セザルトキハ國稅徵收法ノ規定ニ依リ之ヲ徵收ス
- 第五條 本條例ハ明治三十五年十二月八日ヨリ施行ス

●佐世保市汚物搬出委託手数料條例

昭和五年三月十三日議決
昭和五年三月二十日告示第三十六號

昭和六年四月三日告示第二十九號ノ二改正

- 但シ汚物ノ性質ニヨリ條例第二條ノ金額ノ範圍内ニ於テ適宜増額スルコトアルヘシ
- 第三條 前條ノ運搬車ハ左ノ區別ニ依ル
 - 一、塵芥類ハ市ノ塵芥運搬車
 - 二、汚泥泥土瓦礫其他石炭ノ焚殻類ハ市ノ汚泥運搬車
 - 三、屎尿運搬車ハ四斗椀二個ヲ積載シタルモノ
- 第四條 條例第三條ニ依ル一定期間中ノ汚物ノ容量ハ一世帯毎ニ之ヲ決定ス
- 第五條 前條ノ期間カ一ヶ月以上ノ場合ハ一ヶ月分毎ニ手数料ヲ前納スヘシ、一ヶ月未満ノ分ニ付亦同シ
- 第六條 前條ノ場合一ヶ月未満ノ端數ハ之ヲ一ヶ月ト看做シ手数料ヲ計算ス

本細則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●佐世保市細菌検査手数料條例

昭和七年三月二十三日議決
昭和七年四月二十日告示第三十八號

第八類 手数料及使用料

- 第一條 本市ニ汚物搬出ノ委託ヲ爲ス者ニ對シテハ本條例ノ定ムル所ニ依リ手数料ヲ徵收ス
- 第二條 手数料ハ本市汚物運搬車一輛毎ニ金壹圓以内トス但シ一輛ニ滿タサルモノハ之ヲ一輛ト看做ス
- 第三條 市長ハ搬出スル汚物ノ容量ヲ豫定シ一定期間中ノ手数料ヲ定メ之ヲ徵收スルコトヲ得
- 第四條 手数料ハ申込ト同時ニ徵收シ納付後ハ之ヲ還付セス但シ特別ノ事由アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラス
- 第五條 本條例施行ニ關スル細則ハ市長之ヲ定ム

附則

本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●佐世保市汚物搬出委託手数料條例施行細則

昭和五年三月三十一日告示第五十一號

- 第一條 佐世保市汚物搬出委託手数料條例(以下單ニ條例ト稱ス)第一條ニ依リ市ニ汚物搬出ノ委託ヲ爲サントスル者ハ汚物ノ種類及其總量ヲ見積リ市長ニ申込ムヘシ
- 第二條 搬出手手数料ハ當分ノ内運搬車一輛ニ付金五拾錢トス

〔佐世保市例〕

〔佐世保市例〕

- 第一條 本市民ニ非ラサル者ニシテ細菌検査ヲ請フ者ニ對シテハ左ノ區分ニ依リ手数料ヲ徵收ス
 - 一、細菌検査一種ニ付金五拾錢
 - 二、動物試驗ヲ要スルモノ一種ニ付金貳圓

附則

本條例ハ昭和七年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正二年八月佐世保市告示第二七號細菌検査實費徵收規程ハ之ヲ廢止ス

●佐世保市代書手数料條例

昭和九年二月二十八日議決
昭和九年四月二十八日佐保收第六〇四五號許可
昭和九年五月二十三日告示第五十六號

- 第一條 市長ニ提出シ又ハ市街地建築物法ニ依ルモノ及市役所ヲ經由シテ官公署ニ提出スヘキ書類ニシテ其ノ代書ヲ請求スル者ニ對シ市制第百十三條第二項ニ依リ左ノ範圍内ニ於テ手数料ヲ徵收ス但シ特殊ノモノニ在リテハ其ノ實費ヲ徵スルコトアルヘシ
 - 一 願屆書類 一葉(普通ノモノ) 十二錢以内
 - 二 圖 面 一葉(普通ノモノ) 二十五錢以内

長 課	役 助	長 市

第八類 手數料及使用料

畫	書	畫	書	畫	書	畫	書	畫	書

〔佐世保市例〕

第八類 手數料及使用料

畫	書	畫	書	畫	書	畫	書	畫	書

申請者交付年月日

事件名稱

書類ノ紙數及手數料
紙數 料 金

現場調査日數及手數料
日數 料 金

申請者住所氏名

備

考

〔佐世保市例〕

第 號	金 錢
年 月 日	

●佐世保市代書手数料條例ニ依ル代書スヘキ書類ノ件

昭和九年五月二十三日決裁

- 一、市街地建築物法ニ依ルモノ
- 例 建築線指定申請書、建築申請書、建築届
- 二、軍港要港規則及大正元年十二月長崎縣令第三十九號軍港要港規則第十八條ニ關スル事項出願方ニ依ルモノ
- 例 建築願(改築増築ヲ含ム)、塀ノ建築願
- 三、要塞地帶法ニ依ルモノ
- 例 建築願
- 四、明治四十二年六月長崎縣令第四十二號森林法施行細則ニ依ルモノ
- 例 森林、原野ノ開墾願
- 五、大正元年十二月長崎縣令第三十八號土木工事取締規則ニ依ルモノ

- 例 諸工事願
- 六、大正四年四月長崎縣令第十六號國有土地水面及產物處分規則ニ依ルモノ
- 例 水面使用願
- 七、大正十一年八月長崎縣令第四十九號公有水面埋立法施行細則ニ依ルモノ
- 例 公有水面埋立免許願
- 八、昭和七年七月長崎縣令第十五號土地區劃整理施行規定ニ依ルモノ
- 例 土地區劃整理施行認可申請書
- 九、昭和八年九月長崎縣令第四十八號風致區規則ニ依ルモノ
- 例 風致區内建物改築申請書
- 十、佐世保市土地使用規則ニ依ルモノ
- 例 市有地使用願
- 十一、佐世保市道路占用料徵收規程ニ依ルモノ
- 例 道路占用願

〔佐世保市例〕

- 十二、佐世保市道路工事費受益者負擔規程ニ依ルモノ
- 例 負擔金減免願
- 十三、其ノ他市長ニ於テ右ニ關聯スルモノト認メタルモノ

〔佐世保市例〕

●地租條例ニ依ル土地異動ニ關スル願届書類作成手数料條例

昭和四年七月一日議決
昭和四年七月五日告示第八十五號

- 第一條 地租條例ニ依ル土地異動ニ關スル願届書類ノ作成ヲ求ムル者ニ對シテ左ノ手数料ヲ徵收ス
- 一、書類ノミヲ作成スルモノ(土地合併免租地成其ノ他)
 - 一筆ニ付 金貳拾錢
- 二、土地丈量ヲ要スルモノ(有租地成、地目變換、開墾成功、段別誤謬訂正其ノ他)
 - 一筆ニ付 金貳圓
- 三、前各號ニ依ル副本
 - 一通ニ付 第一號ノ分金拾錢
 - 第二號ノ分金貳拾錢

- 丈量ヲ要スル土地ノ實測面積壹百坪ヲ超ユルモノハ五拾坪迄ヲ増ス毎ニ料金五拾錢ヲ増加ス障害物其ノ他ニ依リ著シク丈量ノ困難ナルモノニ在リテハ五割以内ノ料金ヲ増加ス其ノ金額ハ市長之ヲ定ム書類ノ副本ハ請求アリタルトキニ限り之ヲ交付ス第一項第二號ニ依ル筆數ハ合筆丈量ノ場合ハ元地分割ノ場合ハ分割ノ結果増加シタル筆數ニ依ル
- 第二條 丈量ヲ要スル願届書類ニシテ地圖ノ誤謬訂正等ノ件フモノニ在リテハ前條ニ規定スル手数料ノ外更ニ各其ノ事件毎ニ金壹圓ヲ徵收ス
- 第三條 手数料ハ第一條ニ依リ請求アリタル際之ヲ徵收ス但丈量ノ結果ニ依リ其ノ料金ノ増額ヲ要スルモノハ直ニ之ヲ追徵ス既納ノ手数料ハ請求事項ヲ變更又ハ取消スモ之ヲ還付セス
- 第四條 本條例施行ニ關スル必要ナル規定ハ市長之ヲ定ム

附則

本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●地租條例ニ依ル土地異動ニ

關スル願屆書類作成手数料 條例施行細則

昭和四年七月五日告示第八十六號

- 第一條 地租條例ニ依ル土地異動ニ關スル願屆書類ノ作成ヲ請求セントスル者ハ左ノ事項ヲ記載シタル書類ヲ提出スヘシ
- 一、土地ノ所在(地番共)
 - 二、地目
 - 三、異動ノ種類
 - 四、坪數又ハ段別
 - 五、所有者及納稅義務者ノ住所氏名
- 第二條 前條ニ依ル請求者ハ豫メ左記各號ノ準備ヲ爲シ事務進行ニ支障ナキチ期スヘシ
- 一、丈量ヲ要スル土地ノ境界ハ標杭ヲ以テ明示シ置クコト
 - 二、丈量其ノ他實地調査ノ際ハ必ス本人(又ハ實地ニ通曉セル代人)ニ於テ立會フコト
 - 三、隣地主又ハ利害關係者ノ立會ヲ要スルモノニアリテハ其ノ手配ヲ爲シ置クコト

附則

本細則ハ條例施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

佐世保市消毒手数料條例

大正十四年七月二日十四地第五一〇號許可
大正十四年七月九日告示第七十二號

- 第一條 本市ハ傳染病預防法ニ依ル場合ヲ除クノ外消毒ノ申請ヲ爲ス者アルトキハ手数料ヲ徵シ家屋物品等ノ消毒及消毒物品ノ蒐集配達ヲ爲ス
- 第二條 前條ノ消毒蒐集配達手数料ハ左ノ如シ
- 一、建物消毒 一階十二平方米迄ハ金壹圓トシ以上四平方米ヲ増ス毎ニ金貳拾錢ヲ加フ
 - 二、物品消毒 重量二十斤迄ハ金參拾錢トシ以上四斤ヲ増ス毎ニ金五錢ヲ加フ
 - 三、消毒物品ノ蒐集及配達 重量二十斤迄ハ金五拾錢トシ以上四斤ヲ増ス毎ニ金拾錢ヲ加フ
- 建物若ハ物品ノ種類容積等ニ依リ前項ノ手数料ニ依ルテ適當ナラスト認ムル場合ニ在リテハ市長ハ其ノ料金を増減スルコトヲ得
- 第三條 手数料ハ之ヲ前納セシム但シ市長ニ於テ特別ノ事由

〔佐世保市例〕

- アリト認ムルトキハ此ノ限ニ在ラズ
公費ノ救助ヲ受クル者又ハ市長ニ於テ納付ノ責力ナシト認ムル者ニ對シテハ本料金を免除スルコトアルベシ
- 第四條 消毒シタル物品ノ形狀色彩等ニ變遷ヲ生スルコトアルモ市ハ其ノ責ニ任セス
- 第五條 消毒所又ハ消毒事務ニ支障アル場合ハ市ハ消毒申請ニ應セサルコトアルヘシ
- 附則
- 第六條 本條施行ニ關スル細則ハ市長之ヲ定ム

佐世保市消毒手数料條例施行細則

大正十四年十二月二十六日告示第三百三十六號

- 第一條 本市消毒手数料條例ニ依ル消毒及消毒物品ノ蒐集配達ヲ申請セムトスル者ハ第一號乃至第三號様式ニ依リ各其ノ事項ヲ明記シタル文書ニ所定ノ料金ニ相當スル收入證紙ヲ貼付シ差出スヘシ
- 第二條 家屋消毒ノ際ハ申請人若ハ其代理人之ニ立會フヘシ

第八類 手数料及使用料

- 物品ハ市立傳染病院消毒所ニ差出シ蒐集ヲ依頼シタルトキハ市ノ運搬夫ニ引渡スヘシ
- 第三條 消毒物品ヲ受理シタルトキハ引受證ヲ申請人ニ交付シ消毒終リタルトキハ直ニ其ノ旨申請人ニ通知ス
- 申請人前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ該物品ヲ引受證引替ニ受取ルヘシ市ノ運搬夫ヲシテ配達セシムルトキ亦同シ
- 第四條 物品消毒終了ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ三日以内ニ該物品ノ引取りヲ爲サ、ルトキハ運搬ヲ依頼シタルモノト見做シ處置スルコトアルヘシ
- 第五條 市ノ運搬夫ニハ左記雛形ノ證票ヲ携帯セシム

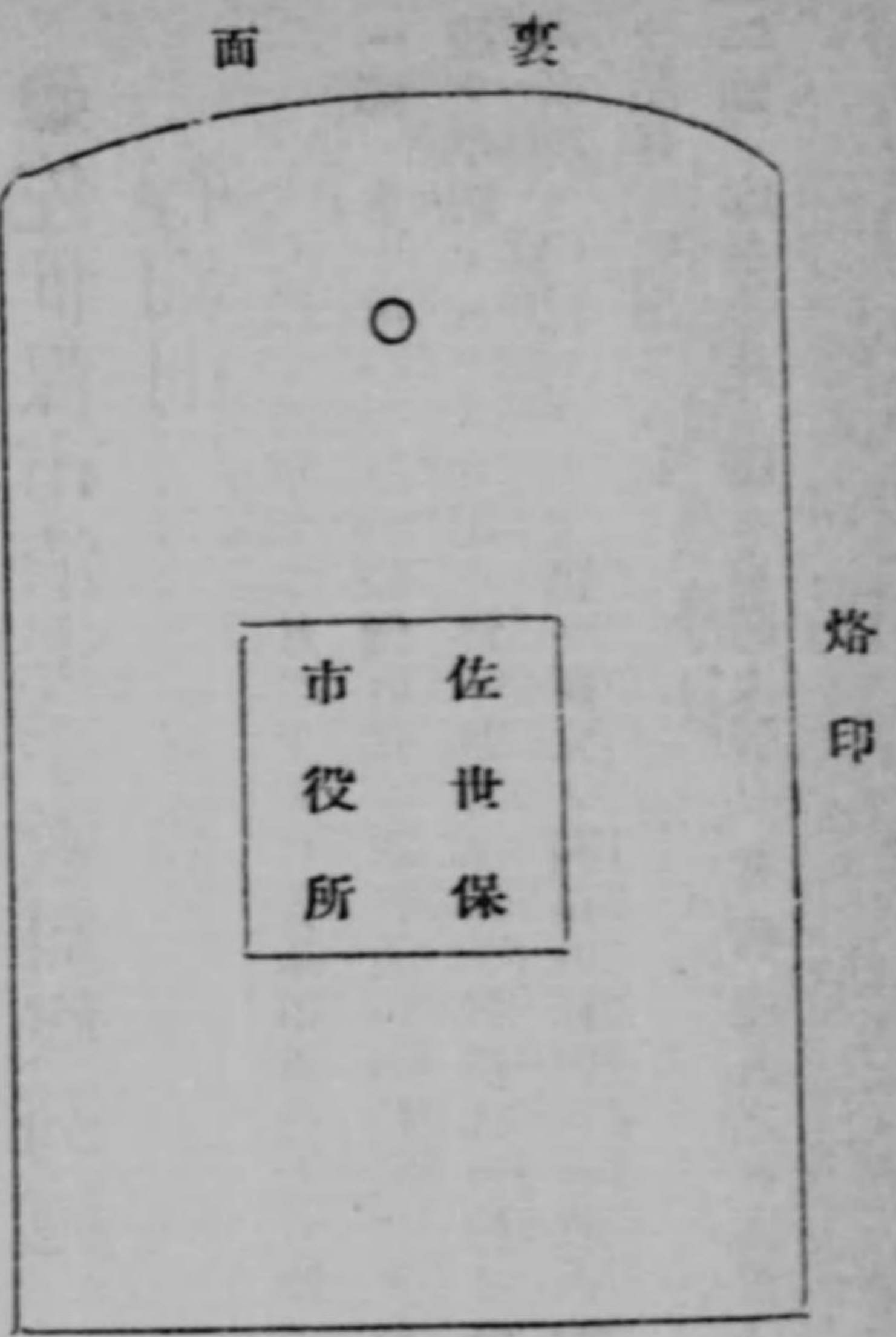
〔佐世保市例〕

木札

八 糶

第 號
○ 消毒物品運搬夫證
佐世保市
五糶五

第八類 手数料及使用料



- 一、建物ノ所在
 - 一、建物ノ構造
 - 一、消毒スヘキ面積
 - 一、消毒スヘキ日時
- 右建物消毒施行相成度消毒手数料條例並同施行細則ニ依リ此段申請候也

年月日

佐世保市長 殿

表記申請ニ對スル調定料金

(此ノ所ニ收入證紙貼付)

圓 錢

佐世保市 町 番地

氏 名印

處理	消毒施行 月 日
	消毒施行者 (認印)

第六條 本市消毒手数料條例第三條該當者ハ其ノ事由ヲ詳記シ市長ノ許可ヲ受ケヘシ

附則

第七條 本細則ハ消毒手数料條例施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號様式 建物消毒申請書

第二號様式 物品消毒申請書

品	目	員	數	重	量	摘

〔佐世保市例〕

計	點	此總重量	貳

〔佐世保市例〕

右物品消毒施行相成度消毒手数料條例並同施行細則ニ依リ此段申請候也

年 月 日

佐世保市長 殿

表記申請ニ對スル調定料金

(此ノ所ニ收入證紙貼付)

圓 錢

佐世保市

町 番地

氏

名印

處理	消毒完了通知月日	月 日
	消毒物品引渡月日	月 日

第三號様式

消毒物品運搬申請書

品	目	員	數	重	量	摘

第八類 手数料及使用料

要

第八類 手数料及使用料

發行スルコトアルヘシ

第五條 乗合自動車ニ乗車スル者ハ別ニ定ムル乗車券ヲ購入シ車掌ノ改札ヲ受ケ下車ノトキ之ヲ車掌ニ交付スヘシ乗車中一旦下車シタルトキハ殘區間アル場合ト雖改札セシ乗車券ハ無効トス

但シ本支線乗換ノトキハ此ノ限ニアラス

第六條 乗客ハ係員ノ請求アルトキハ乗車券ノ査閲ヲ拒ムコトヲ得ス

第七條 市長ハ事業上ノ必要其ノ他特別ノ事由アルモノニ對シ定期無料乗車券ヲ發行スルコトヲ得

前項乗車券ヲ記名人以外ノ者ニ於テ使用シタルトキハ無効トシ之ヲ沒收ス

第八條 詐欺其ノ他不正ノ行爲ニ依リ料金ヲ免レタル者ニ對シテハ相當ノ料金ヲ支拂ハシメ又ハ五圓以下ノ過料ヲ科スルコトアルヘシ

第九條 本條例施行ニ關シ必要ナル事項ハ市長之ヲ定ム

附則

第十條 本條例ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●佐世保市市營自動車使用料
條例施行細則

昭和二年八月三十日告示第四百十號

昭和六年五月十三日告示第六十七號改正

昭和七年五月十八日告示第六十九號改正

第一條 本市市營自動車乗客ノ乗降所ハ左ノ個所トス

- 一、本線 境木終點、西海中學校前、山ノ田、山ノ田橋、大正橋、上佐世保驛前、俵町、宮田橋、城山町交番所前、城山橋通、秋川橋、八幡町、市役所前、天満町、相生町、谷郷通角、海軍橋通、名切通、榮町、島瀬橋、光月町通、小佐世保通、夜店通、戸尾橋、三浦町、佐世保驛前、防備隊入口、潮見町山手入口、變電所前、福石觀音前、崎邊道、海軍墓地入口、坂ノ下、西龍橋、新地橋、松尾山入口、日字驛前、櫻馬場、猫山入口、榎木茶屋、大塔免、大塔免新田終點

二、支線

- 小佐世保線 花園橋、火葬場、火藥庫裏、穴妙見、勝富町、勝富町門前、高天町分レ道、高天町祇園通、司令部前、宮崎町光月町通、京ノ坪、小佐世保通角

〔佐世保市例〕

〔佐世保市例〕

通角八幡町間

五、本線乗客ニシテ西龍橋以北ヨリ乗車スル者ハ西龍橋新地橋間

六、鶴渡越線乗客ニ在リテハ本線海軍橋通角島瀬橋間、海軍橋通角八幡町間又ハ海軍橋通角今福町(貯水池)間

第三條 一區以上ヲ乗車スル者ハ各區ヲ區劃スル乗降所ト其ノ直前乗降所トノ間ノ料金ハ之ヲ徵收セス

第四條 乗換ノ改札ナキ乗車券ハ乗換無効トス

第五條 乗客ノ携帶シ得ル荷物ハ各自膝ノ上ニ所置シ得ヘキモノヲ以テ限度トス

前項以上ノ荷物ヲ携帶シタルモノニ對シテハ乗車ヲ拒ム事ヲ得

第六條 自動車臺ニ廣告板ヲ設ケ營業其ノ他ニ關スル廣告ヲナサシム但シ公共ノ安寧秩序ヲ害シ又ハ善良ノ風俗ヲ紊スノ虞アルモノ其ノ他不適當ト認ムルモノハ此ノ限ニ在ラス

第七條 前條ノ廣告料金ハ一廣告ニ付一日五拾錢トス但シ十一月、十二月、四月、六月、七月ノ期間中ハ其ノ料金ヲ一日壹圓トス

前項ノ料金廣告申込ト同時ニ徵收ス

特ニ必要アリト認ムルトキハ前二項ノ規定ニ拘ラス廣告料金ヲ減免スルコトアルヘシ

第八類 手数料及使用料

名切線 上佐世保驛前、俵町、俵町舊道、折橋免入口、授産場前、名切免、花園町境、花園町中央通、花園橋、名切橋、公設市場前、宮地町、彌生座通、名切通角

鶴渡越線 鶴渡越終點、弓張、下弓張、砲臺下、元陸軍倉庫前、大久保小學校前、比良町、東大久保入口、相生橋、中ノ橋、海軍橋通

日野線 日野峠終點、赤崎分道、西小島、角辻、鶴渡越入口、金比良町交番所前、煉瓦橋、今福町(貯水池)、上矢岳町、上町入口、郵便局前、海軍橋通角

棧橋線 市營棧橋終點、水産倉庫前、戸尾橋

尼湯線 尼湯海水浴場、新地橋

第二條 本線又ハ本支線若ハ支線相互間ニ連續乗車スル者ハ左ニ定ムル區間ニ限リ料金ヲ徵收セス

一、棧橋線乗客ニ在リテハ本線戸尾橋佐世保驛間又ハ戸尾橋島瀬橋間又ハ戸尾橋勝富町間

二、小佐世保線乗客ニ在リテハ本線小佐世保通角島瀬橋間又ハ小佐世保通角佐世保驛間

三、名切線乗客ニ在リテハ本線名切通角島瀬橋間及花園橋火葬場間

四、日野線ニ在リテハ本線海軍橋通角島瀬橋間又ハ海軍橋

第八類 手数料及使用料

第八條 廣告申込後天災其ノ他ノ事故ニ依リ自動車運轉不能ノトキハ廣告ヲ爲ササルコトアルヘシ
 廣告自動車運轉シタルトキハ廣告時間ノ長短ヲ問ハス一日間廣告シタルモノト看做ス
 廣告申込後ハ廣告期間ノ短縮ヲ爲スコトヲ得ス
 主務課長ハ廣告取扱事件ヲ明ニスル爲廣告取扱原簿ヲ備フヘシ

第九條 自動車使用料金ハ第一號様式拂込書ニ依リ主務課長ヨリ即日市金庫ニ拂込ムヘシ但シ休日又ハ市金庫閉鎖後ニ於ケル料金ハ翌日之ヲ拂込ムヘシ

第十條 主務課長ハ事業ノ成績ヲ別記様式第二號ノ一ニ依リ日報及同様式ノ二ニ依リ月報ヲ作製シ市長ニ報告スヘシ

(第一號様式)

第十一條 佐世保市營自動車使用料條例(以下單ニ條例ト稱ス) 第四條ニ依リ左ノ區別ニ依リ回数乗車券ヲ發行ス

- 一、十二區分綴 金五拾錢
- 二、二十六區分綴 金壹圓
- 三、五十五區分綴 金貳圓
- 四、八十八區分綴 金參圓

附則
 條例第三條及前項ノ乗車券ハ別記様式第三號ニ依リ

第十二條 本細則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十三條 従前ノ細則ハ本則施行ト同時ニ廢止ス

第十四條 本細則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第十五條 本細則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

元

第 號	昭和 年度	佐世保市營自動車課納
特別自動車事業費計	使 用 料	使 用 料
金	圓	圓

〔佐世保市例〕

昭和 年 月 日 收入分
 昭和 年 月 日 拂込

〔佐世保市例〕

割 印
 割 印

書 込 拂

第 號	昭和 年度	佐世保市營自動車課納
特別自動車事業費計	使 用 料	使 用 料
金	圓	圓
昭和 年 月 日 收入分	昭和 年 月 日 收入分	昭和 年 月 日 收入分
右拂込候也		
昭和 年 月 日		
内 譯		
回 數	50 錢	
	1 圓	
	2 圓	
	3 圓	
	合 計	
	普 通 券	
	割 引 券	
	其 他	

第八類 手数料及使用料

第八類 手数料及使用料

第	號	昭和	年度	佐世保市營自動車課納
自特別	社會	使	用	料
自動車	事業	使	用	料
費計				自動車使用料

金 圓

昭和 年 月 日 收入分

右領收候也

昭和 年 月 日

佐世保市金庫

〔佐世保市例〕

領 收 書

月 日 曜 天

者	員	車	長	役	助	長
取	課	動	課	務	助	市
		自	務	庶		
		長	庶			
		課				

〔佐世保市例〕

出時刻	退時刻	勤務時間	運區	轉間	車番	輛號	故障個所	運轉停止時間	收入金額	運轉手	車掌	摘	要
前 5.30	後 3.00	9.30	堺八幡	木町								計	
後 3.00	前 11.00	8.00	同上	上									
前 5.00	後 3.00	10.00	上佐世保	佐世保驛									
後 7.00	前 7.30	12.30	同上	上									
前 7.00	後 7.30	12.30	同上	上									
後 7.00	前 8.00	13.00	同上	上									
前 8.00	後 9.00	13.00	同上	上									
後 9.00	前 9.30	12.30	同上	上									
前 9.30	後 10.00	12.30	同上	上									
後 4.00	前 12.40	8.40	同上	上								計	
前 9.00	後 8.30	11.30	八幡町	佐世保驛									
後 5.30	前 9.00	9.30	同上	上									
前 5.00	後 11.00	9.30	同上	上								計	

〔別記様式第二號ノ一〕

第八類 手数料及使用料

第八類 手数料及使用料

三二二

前	後	平均	区内	券割引	現金	回	數	券	雜收入	合計	前	年	月	比較	備	考
前	後	平均	区内	券割引	現金	回	數	券	雜收入	合計	前	年	月	比較	備	考
5.40	"	3.00	9.20	八幡邊町道	上											
"	"	3.00	9.10	同	上											
5.50	"	7.00	12.10	同	上											
6.50	"	7.30	12.30	同	上											
7.00	"	8.30	12.30	同	上											
8.00	"	9.30	12.30	同	上											
9.00	"	12.40	8.40	同	上											
4.00	"	12.40	8.40	同	上											
4.00	"	12.40	8.40	同	上											
5.40	"	3.00	9.20	佐世保驛 大塔新田	上											
3.00	"	11.00	8.00	同	上											
計																
前	後	平均	区内 <td>券割引</td> <td>現金</td> <td>回</td> <td>數</td> <td>券</td> <td>雜收入</td> <td>合計</td> <td>前</td> <td>年</td> <td>月</td> <td>比較</td> <td>備</td> <td>考</td>	券割引	現金	回	數	券	雜收入	合計	前	年	月	比較	備	考
6.30	"	4.00	9.30	金比良線	上											
"	"	8.00	11.00	同	上											
9.00	"	11.00	11.10	同	上											
11.50	"	11.00	11.10	同	上											
7.00	前	11.00	10.00	同	上											
4.00	後	10.00	10.00	同	上											
計																

〔佐世保市例〕

前	後	平均	区内	券割引	現金	回	數	券	雜收入	合計	前	年	月	比較	備	考
8.00	"	9.0	13.00	名切線	上											
"	"	8.30	13.00	小佐世保 棧橋線	上											
計																

〔佐世保市例〕

別記様式第二號ノ二)

自動車成績月報

昭和 年 月 分

線	路	一日平均	車	区内	券割引	現金	回	數	券	雜收入	合計	前	年	月	比較	備	考
線	路	一日平均	車	区内	券割引	現金	回	數	券	雜收入	合計	前	年	月	比較	備	考
本	八幡町																
	上佐世保																
	八幡町																
	佐世保驛																
	八幡町																
	八幡邊																
	佐世保驛																
	大塔新田																
支	金比良線																
	名切線																
	小佐世保線																
	棧橋線																
合	計																

第八類 手数料及使用料

三二三

第八類 手数料及使用料

海水浴期間中ハ市營棧橋ヨリ野崎及尼湯海水浴場間往復大人金拾五錢子供金拾錢トス但シ小學生團體(二十人以上)ニ對シテハ一人ニ付金六錢其ノ他ノ團體(二十人以上)ニ對シテハ一人ニ付金八錢トス

第二條ノ二 佐世保市營自動車回数乗車券ハ之ヲ前條ノ使用料金(定期乗船者及物件ヲ除ク)五錢毎ニ一區ノ割合ヲ以テ代用スルコトヲ得但シ此ノ場合五錢未滿ノ端數ハ一區トシテ計算ス

第三條 條例第三條但書ハ乗船ノ場合ニ準用ス

第四條 條例第四條ニ依ル借切使用料金ハ一時間毎ニ金貳圓五拾錢トス

第五條 市營自動車使用料條例ニ依リ交付ヲ受ケタル市營自動車優待車券ハ市營交通船使用料條例ニ依リ交付ヲ受ケタルモノト見做ス

第六條 交通船ニハ左ノ料金を徴シ營業其ノ他ニ關スル廣告ヲナサシムルコトヲ得但シ公共ノ安寧秩序ヲ害シ又ハ善良ノ風俗ヲ紊スノ虞アルモノ其ノ他不適當ト認ムルモノハ此ノ限リニアラス

一廣告ニ付一日金貳拾錢但シ十一月、十二月、四月、六月、七月ノ期間中ハ一日金參拾錢

本規則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔佐世保市例〕

●佐世保市營棧橋使用料條例

大正十二年十二月三日許可内務省地第四八六號
大正十二年十二月十八日告示第百十四號

第一條 本市營棧橋ヲ使用スルモノハ左ノ範圍内ニ於テ市長ノ定ムル使用料金を納付スヘシ

一、繫船料

總噸數一噸毎ニ金一錢

但シ繫船ノ時ヨリ起算シ十二時間ヲ超ヘ尙繫船スルトキハ其ノ超過六時間毎ニ前使用料ノ半額ヲ増徴ス

二、貨物料

壹個ニ付(手荷物ヲ除ク)六錢以下

但貨物ノ滯積二時間ヲ超ユルトキハ一個ニ付其超過一時間毎ニ前使用料ノ半額ヲ増徴ス

三、通行料

一人ニ付(四歳未滿ノ者ヲ除ク)五錢以下但回数通行券ヲ發賣スルトキハ其ノ二割引トス

牛馬ハ一頭ニ付五錢以上十五錢以下

第八類 手数料及使用料

●佐世保市營棧橋使用料細則

大正十二年十二月三十一日告示第百十九號

昭和五年四月一日告示第五十二號 改正

第一條 棧橋使用料ノ徵收及取締ハ係員之ニ當ル

前項ノ料金ハ廣告申込ト同時ニ徵收ス

第七條 前條ノ廣告ニ關シテハ佐世保市自動車使用料條例施行細則第八條ヲ準用ス

第八條 使用料金ハ第一號様式拂込書ニ依リ主務課長ヨリ即日市金庫ニ拂込ムヘシ但シ休日又ハ市金庫閉鎖後ニ於ケル料金ハ翌日之ヲ拂込ムヘシ

第九條 主務課長ハ事業ノ成績ヲ第二號及第三號様式ニ依リ市長ニ報告スヘシ

第十條 乗船券ノ種類ハ左ノ如シ

一、普通乗船券 [片道乗船券
往復乗船券]

二、定期乗船券 [學生定期乗船券(中等學生通學用ノモノ)
通勤者定期乗船券(市内各所へ通勤用ノモノ)
無料定期乗船券(小學生通學用ノモノ)]

三、團體乗船券

四、貨物券

前各號ノ乗船券及貨物券ハ別記様式ニ依ル(様式ハ略ス)

第十一條 前條第二號ニ定ムル通勤者定期乗船券ヲ需メムトスルモノハ所屬長又ハ雇主ノ通勤證明書ヲ係員ニ提示スヘシ

附則

〔佐世保市例〕

四、入場料

一人ニ付(四歳未滿ノ者ヲ除ク)貳錢以下

但作業スルモノハ一人ニ付六時間毎ニ二十錢以下

通行料及入場料ハ小兒及學生ハ之ヲ半額トス

第二條 市長ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルトキハ前條ノ使用料金を減額シ又ハ免除スルコトアルヘシ

第三條 第一條ノ使用時間ニ計算單位未滿ノ時間アルトキハ之ヲ一單位時間トシテ計算ス

第四條 使用料算定額ニ錢位未滿ノ端數ヲ生シタルトキハ之ヲ錢位ニ止ム

第五條 貨物及手荷物ノ重量容積取締其ノ他本條例施行ニ關スル細則ハ市長之ヲ定ム

附則

第六條 本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第八類 手数料及使用料

- 第二條** 棧橋ヲ使用シテ旅客貨物ノ取扱ヲ爲ス營業者ハ豫メ市長ノ認可ヲ受クヘシ
前項ニ依リ認可シタル營業者ニハ棧橋通行券ノ發賣ヲ爲サシムルコトアルヘシ
- 第三條** 棧橋ヲ通行スル者ハ(四歳未滿ノ者ヲ除ク)左ノ通行料ヲ納ムヘシ但シ前條ニ依リ市長ノ認可ヲ受ケタル營業者ノ取扱ヒタル證票ヲ有スルモノハ此ノ限ニ在ラス
一、一人ニ付 金五錢
一、十歳未滿ノ者及學生ハ一人ニ付 金貳錢
一、牛馬一頭ニ付 金拾錢
- 一、團體旅行者並ニ市長ニ於テ必要ト認ムル者ニハ時宜ニ依リ割引スルコトアルヘシ
回数券ハ一人ニシテ一時ニ十回以上分ヲ需ムルモノニ之ヲ發賣ス
- 第四條** 送迎又ハ作業ノ爲メ棧橋ニ立チ入ル者ハ左ノ入場料ヲ納ムヘシ
一、送迎ノ爲メ入場スルモノ一人ニ付 金貳錢
一、其他作業ノ爲メ入場スル者ハ一人ニ付六時間毎ニ 金貳拾錢
- 第五條** 定期航海船ハ噸數、著船時刻及繫留時間ヲ記シタル

- 願書ヲ棧橋事務所ニ差出シ置クヘシ
- 第六條** 繫船ノ位置ハ係員之ヲ指定ス
- 第七條** 繫船料ハ十二時間以内ニ付一噸又ハ積量十石毎ニ金壹錢ノ割合ヲ以テ繫船ト同時納入スヘシ但シ特ニ納入期ヲ定メタル定期船ハ此ノ限ニ在ラス
- 第八條** 先著繫留船アル場合ハ先著繫留船ノ棧橋ヲ離ル、チ待チ係員ノ指揮ヲ受ケ順次繫留スヘシ
棧橋ノ都合ニ依リ一時棧橋ヲ離レタル船舶ノ繫船料ハ前後ノ時間ヲ合併シテ繫船料金ヲ定ムルモノトス
- 第九條** 繫船料ヲ納入シタル時間ヲ過キ尙繫留セムトスルトキハ條例第一條ニ依リ更ニ其半額宛ヲ納入スヘシ
- 第十條** 繫船シ時間ヲ經過シタル船舶ハ直ニ棧橋ヲ離ルヘシ
- 第十一條** 繫船シタル船舶ニシテ此ノ細則ニ違背シ又ハ係員ノ指揮ニ従ハサルモノハ棧橋ヲ退去セシメ棧橋ノ使用ヲ禁スルコトアルヘシ
- 第十二條** 左ニ掲クルモノハ棧橋ヨリ陸揚ケ又ハ船積スルコトヲ得ス
一、爆發貨物
一、高度燃焼貨物
一、惡臭アル肥料

- 一、係員ニ於テ危險若ハ汚染ノ虞アリト認ムルモノ
- 第十三條** 棧橋ヲ使用シ貨物ヲ陸揚ケ又ハ船積チナスモノハ手荷物ヲ除ク外別表ニ依リ使用料ヲ納付スヘシ
- 第十四條** 棧橋使用者ニシテ棧橋ヲ毀損シタルトキハ市長ノ認定シタル修繕料ヲ納入スヘシ

棧橋使用規則第十三條貨物料金表

品目	摘要	料
穀類	四斗入以下	二俵ヲ以テ一個トス 壹錢
素麵	四箱ヲ以テ一個トス	壹錢
ビール箱	一個	壹錢
石油箱	二箱ヲ以テ一個トス	壹錢
大豆箱	二玉ヲ以テ一個トス	壹錢
樽物	二斗入以下二樽ヲ以テ一個トス	壹錢
同物	一個トス	壹錢
麥粉	四袋ヲ以テ一個トス	壹錢
砂糖	百斤入	壹錢

第八類 手数料及使用料

- 第十五條** 棧橋ニ繫留スル船舶ハ總テ自己ノ船具ヲ用フヘシ
- 第十六條** 本市營棧橋ニ於テ發行スル通行券、入場券ノ形式ハ第一號樣式ニ依ル
- 附則**
- 第十七條** 本規程ハ大正十三年一月一日ヨリ之ヲ實施ス

物	樽	魚	子戸
同	四斗入以下	二樽ヲ以テ一個トス	二個分一個
金	二斗入以下	四樽ヲ以テ一個トス	一箱
物	百斤以下	同	同
	貳錢	貳錢	壹錢
	貳錢	壹錢	壹錢

右掲記外ノ貨物ニシテ重量ニ依ルモノハ百斤毎ニ其ノ他ノ貨物ニアリテハ其ノ積量六立方尺毎ニ各貳錢ノ使用料金ヲ徴收ス

通行券並入場券様式

	佐世保市保世佐	橋棧營市保世佐	同	同	同
	券行通	券行通	同	同	同
	限回一人一	限回一人一	同	同	同
	佐世保市營棧橋	同	同	同	同
	同	同	同	同	同
	數	同	同	同	同
	佐世保市	同	同	同	同
	行券	同	同	同	同
	(拾回)	同	同	同	同
	市	同	同	同	同

六寸二ツ折

〔佐世保市例〕

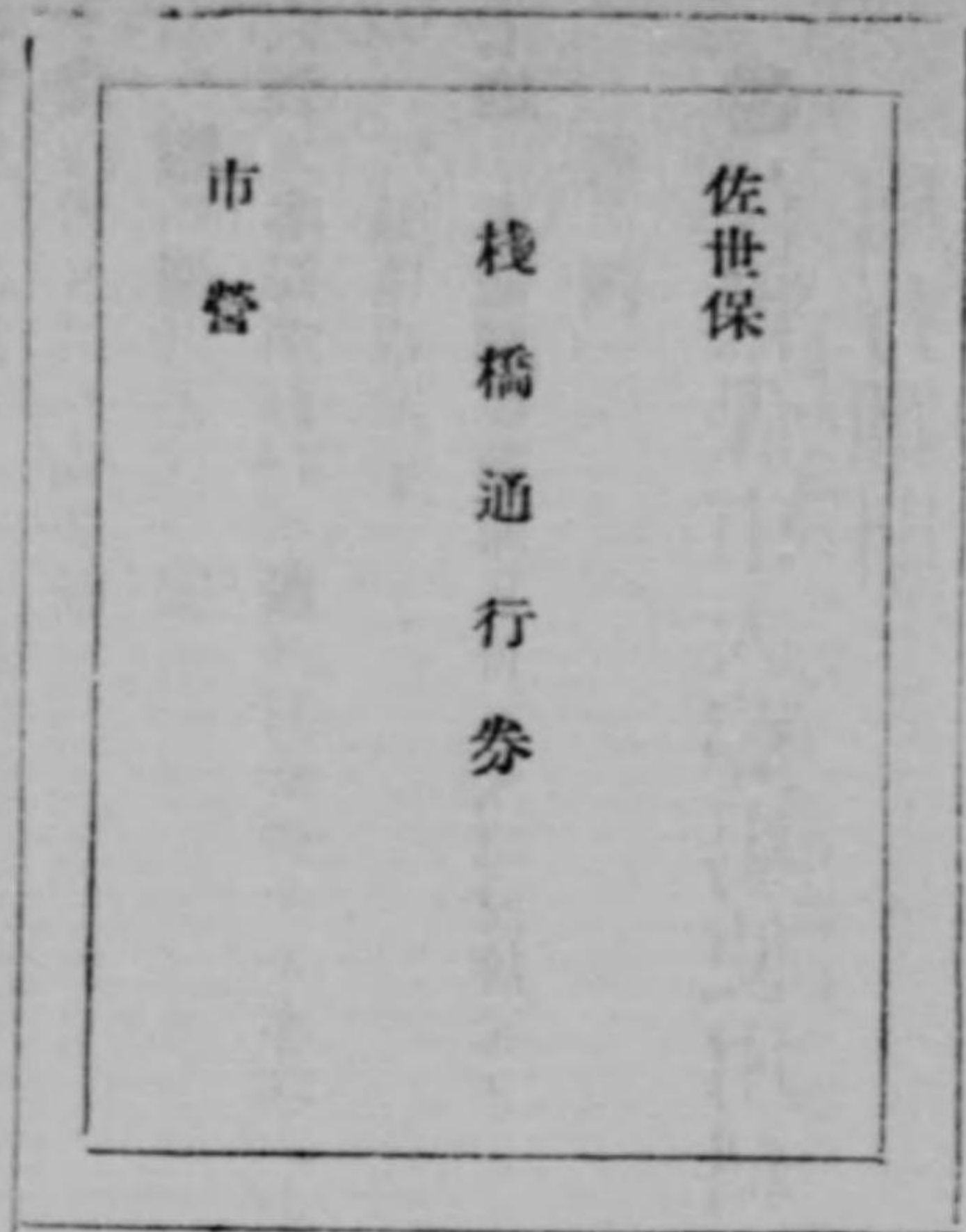
.....寸二.....

佐世保

棧橋通行券

市營

輪廓文字黒

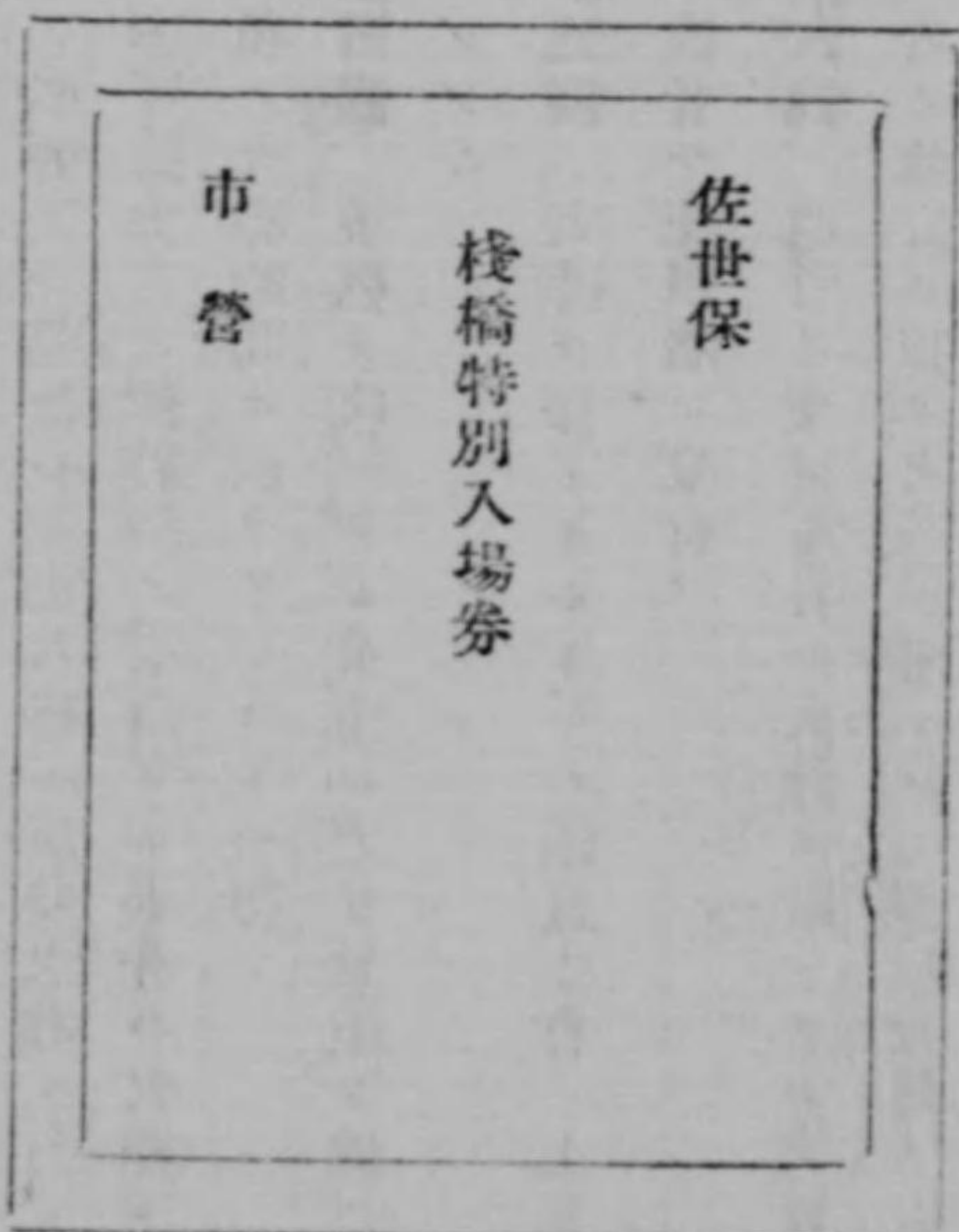


佐世保

棧橋特別入場券

市營

輪廓文字青



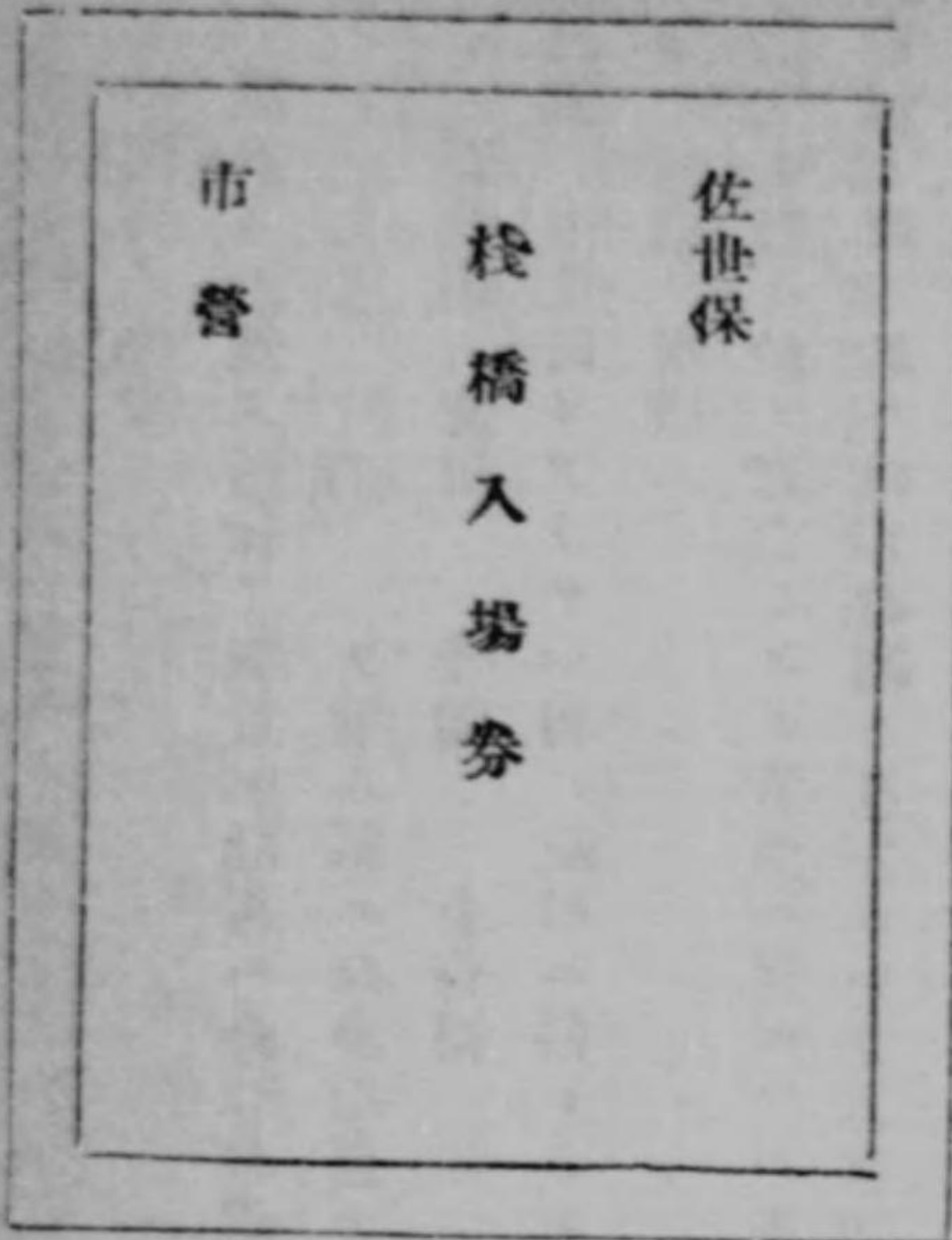
〔佐世保市例〕

佐世保

棧橋入場券

市營

輪廓文字赤



●佐世保市火葬場使用料條例

大正十五年三月二十三日十五地第三〇六號許可
大正十五年四月一日告示第三十五號

昭和九年四月十四日告示第三十九號改正

第一條 火葬場及葬祭場ヲ使用スルモノニ對シテハ本條例ノ

規定ニ依リ使用料ヲ徴收ス

第二條 使用料ノ區別左ノ如シ

一、遺骸ノ火葬

寢棺壹體 金拾五圓 但シ十二歳未滿金拾圓

第八類 手数料及使用料

座棺壹體 金五圓 但シ十二歳未満金參圓
二、汚物ノ焼却

胞衣其ノ他ノ汚物 重量四匁迄ハ金五拾錢トシ以上四匁
ヲ増ス毎ニ金參拾錢ヲ増徴ス

三、葬祭場ノ使用 壹回 金壹圓

第三條 市住民ニアラサル者ノ使用ニ係ルトキハ前條使用料
金ノ五割ヲ増徴ス

但シ市内ニ於テ死亡シタル遺骸ニ對シテハ本條ヲ適用セス
第四條 使用料ハ總テ前納トス

第五條 市長ハ使用料納付ノ資力ナシト認ムル者又ハ特別ノ
事情アリト認ムル者ニ對シテハ其ノ使用料ヲ減免スルコト
ヲ得

附則

第六條 本條例施行ニ關スル必要ナル事項ハ市長別ニ之ヲ定
ム

第七條 本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

●佐世保市火葬場使用料條例
施行細則

大正十五年五月六日告示第七十六號

昭和四年三月十八日告示第四十一號改正
昭和九年七月二十三日告示第百六號改正

第一條 火葬場及葬祭場ヲ使用スル者ハ所定ノ使用申請書ニ
規定ノ使用料ニ相當スル收入證紙ヲ貼付シ市長ニ提出スヘ
シ

第二條 火葬場使用料條例第五條該當者ハ其ノ事由ヲ詳具シ
豫メ市長ノ許可ヲ受クヘシ

第三條 火葬場及葬祭場ノ使用ハ靈柩到着ノ順序ニ從フモノ
トス

第三條ノ二 火葬ハ毎日午後四時及同六時ノ二回之ヲ行フ但
シ必要アル場合ハ午後八時ニ臨時火葬ヲ行フコトアルヘシ
不可抗力其ノ他特別ノ事由アル場合ハ火葬ヲ中止シ又ハ前
項ノ火葬時間ニ依ラサルコトヲ得

第四條 靈柩ヲ收メタル火壇ハ之ヲ封鎖シ鍵ハ使用者ニ保管
セシム

第五條 火葬ヲ終リタルトキハ係員立會ノ上其ノ封鎖ヲ解キ
遺骨ヲ使用者ニ交付ス

第六條 遺骨ノ交付期日ハ火葬ニ附シタル當日トス但シ使用
者ノ便宜ニ依リ火葬ニ附シタル翌日交付スルコトアルヘシ

〔佐世保市例〕

葬祭場使用料金	
汚物焼却料金	

〔佐世保市例〕

第七條 前條ノ期日ヲ經過スルモ遺骨ヲ受取ラサルトキハ市
ニ於テ適宜之ヲ處置ス但シ之方爲特ニ要シタル費用ハ使用
者ノ負擔トス

附則

第八條 本則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

使用申請書

一、火葬場使用 棺 體

一、葬祭場使用 同

死亡者ノ氏名及年齢

死亡ノ場所

一汚物焼却 庇

右使用ニ付規定ノ使用料ニ相當スル收入證紙貼付此段及申
請候也

年月日 使用者 住所 氏名
市長 殿

(收入證紙貼付處)

調 定 者 印	
火葬場使用料金	

第八類 手数料及使用料

●佐世保市墓地使用料條例

昭和三年三月十二日議決
昭和四年一月十四日市地第一八八四號許可
昭和四年四月十日告示第五十五號

第一條 本市ノ管理ニ屬スル墓地ヲ使用セムトスル者ハ市長
ノ許可ヲ受クヘシ

第二條 使用ノ許可ヲ受ケタル者ハ其ノ權利ヲ他ニ移轉スル
コトヲ得ス

第三條 墓地ノ使用ハ一戸ニ付八十莖地ヲ超ユルコトヲ得ス
但シ埋葬ノ餘地ナキ場合ハ新ニ使用ヲ許可スルコトアルヘ
シ

第四條 一莖地トハ三尺平方トス

第五條 墓地ヲ使用セムトスル者ニ對シテハ許可ノ際使用料
ヲ徴收ス

第六條 使用料ハ別表ヲ以テ之ヲ定ム

第八類 手数料及使用料

第七條 現ニ公費ノ救助ヲ受ケ又ハ市長ニ於テ使用料納付ノ責力ナシト認ムル者ニ對シテハ使用料ヲ減免スルコトヲ得
前項ノ場合ハ墓地ノ位置及塋地數ハ市長之ヲ指定ス
第八條 使用ノ權利ヲ得タル墓地ニシテ不用ニ歸シタルトキハ之ヲ返還スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ豫メ市長ノ承認ヲ受クヘシ
前項ニ依リ返還シタル墓地ハ左ノ區分ニヨリ既納料金を還付ス

- 一、墓地使用前ニ在リテハ既納料金を十分ノ六
- 二、墓地使用後ニ在リテハ既納料金を十分ノ四

第九條 墓地使用權者ニシテ墓地使用ノ許可ノ日ヨリ滿五年使用權ヲ行使セサルトキハ其權利ヲ失フ
前項ノ使用權喪失ハ市長ニ於テ豫メ期限ヲ指定シ墓碑其他ノ設備ヲ撤去スルモ之ニ應セサル場合ニ限ル

第十條 墓地使用權者及其ノ家族ノ所在不明又ハ緣故者ナキニ至リタルトキヨリ滿三十年ヲ經過シタルトキハ市長ハ其ノ墓地ニ埋葬セル遺骨及地上物件等一切ヲ一定ノ場所ニ改葬移轉スルコトアルヘシ

第十一條 前條ノ處分ヲ爲ス場合ハ三ヶ月前市長之ヲ告示ス
第十二條 本條例又ハ本條例ニ基キテ發スル規定ニ違背シタ

ル者ニ對シテハ墓地ノ使用權ヲ取消シ又ハ五圓以下ノ過料ヲ科ス

第十三條 本條例施行ニ關スル細則ハ市長之ヲ定ム

附則

本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

佐世保市墓地使用料表

使用塋地	料	金付	摘	要
自 一 塋地	二〇〇	〇	一 塋地ハ三尺平方トス	
至 八 塋地	三〇〇	〇		
自 九 塋地	四〇〇	〇		
至 十二 塋地	五〇〇	〇		
自 十三 塋地	六〇〇	〇		
至 十六 塋地	七〇〇	〇		
自 十七 塋地	八〇〇	〇		
至 二十 塋地	九〇〇	〇		
自 二十一 塋地	一〇〇〇	〇		

〔佐世保市例〕

至二十四塋地	七〇〇
自二十五塋地	八〇〇
至二十八塋地	九〇〇
自二十九塋地	一〇〇〇
至三十二塋地	一〇〇〇
自三十三塋地	一〇〇〇
至三十六塋地	一〇〇〇
自三十七塋地	一〇〇〇
至四十塋地	一〇〇〇
自四十一塋地	一〇〇〇
至四十八塋地	一〇〇〇
自四十九塋地	一〇〇〇
至五十六塋地	一〇〇〇
自五十七塋地	一〇〇〇
至六十四塋地	一〇〇〇
自六十五塋地	一〇〇〇
至七十二塋地	一〇〇〇

第八類 手数料及使用料

●佐世保市墓地使用料條例施行細則

〔佐世保市例〕

昭和四年五月一日告示第六十二號

第一條 本市墓地ノ使用許可ヲ受ケムトスル者ハ第一號様式ニ依リ願出ツヘシ但シ墓地使用料條例(以下單ニ條例ト稱ス)第三條但書ノ場合ハ第二號様式ニ依ルヘシ同條ノ制限内ニ於テ更ニ墓地ノ追加使用ヲ要スル場合亦同シ

第二條 墓地ノ使用ヲ許可シタルトキハ第三號様式ノ墓地使用許可證ヲ交付ス

第三條 條例第三條ノ制限内追加使用ニ對スル使用料額ハ左ノ區分ニ依リ算定ス

- 一、其ノ墓地ニシテ既定使用墓地ト接続シ擴張スルモノナル場合ハ其ノ墓地數ト既定使用墓地數ト合算シタル墓地數ニ對スル使用料額ヨリ既納料金額ヲ控除シタル金額
- 二、前號以外ノ場合ナルニ於テハ其ノ部分ノ墓地數ニ對スル相當使用料額

第八類 手数料及使用料

條例第三條ノ制限外又ハ制限内外ニ互リテノ追加使用ニ對スル使用料額ハ左ノ區分ニ依リ算定ス

一、其ノ墓地ニシテ既定使用墓地ト接續シ擴張スルモノナル場合(制限迄ハ前項第一號ニ依リ制限外)ハ條例第六條別表ノ最高額ノ割合ニ依ル

二、前號以外ノ場合ナルニ於テハ前項第二號ノ例ニ依ル

第四條 條例第七條第一項該當者ニ在リテハ其事由ヲ記シ市長ニ之ヲ願出ヘシ

第五條 條例第八條ノ規定ニ依リ墓地返還ノ承認ヲ受ケムトスル者ハ其ノ事由墓籍番號及返還スヘキ墓地數ヲ記シ墓地使用許可證ヲ添エ返還ノ手續ヲ爲スヘシ但シ墓地使用後ノ分ニ在リテハ埋葬ノ遺骨及既設ノ碑標其他ノ工作物ハ總テ撤去スルヲ要ス

前項ニ依リ返還ノ手續ヲ了シタルトキハ規定ニ依リ既納料金ノ還付ヲ請求スヘシ

第六條 條例第九條ノ權利喪失ノ期日ハ同條第二項ノ催告書ニ併セテ之ヲ表示スルモノトス

第七條 墓地使用許可證ヲ毀損シ又ハ亡失シタルトキハ三十日以内ニ再交付ヲ申請スヘシ但シ毀損ノ場合ハ其ノ許可證ノ添付ヲ要ス

亡失シタル許可證ヲ發見シタルトキハ直ニ之ヲ返還スヘシ

第八條 墓地使用許可證ノ記載事項ニ變更ヲ生シタルトキハ其事由ヲ記シ許可證ヲ添ヘ(氏名變更ノトキハ戶籍謄本若ハ抄本添付ヲ要ス)三十日以内ニ其書換ヲ申請スヘシ

第九條 左ノ場合ハ設計書ヲ添ヘ市長ノ承認ヲ經ヘシ但シ誌銘傳贊等ノ碑文ヲ刻シタル碑標ヲ建設セムトスルトキハ警察官署ノ許可證寫ノ添付ヲ要ス

一、墓地ノ地形ヲ變更セムトスルトキ

二、墓碑墓標其他ノ工作物ヲ建設改築又ハ之ヲ撤去セムトスルトキ

三、樹木ヲ植栽セムトスルトキ

第十條 墓碑墓標ノ外ノ工作物其他ハ概ネ左ノ制限ニ依ルヘシ但シ前條ニ依リ承認ヲ經タルモノ又ハ一時限ノモノニシテ隣接墓地ニ支障ヲ來サ、ルモノハ此限ニアラス

一、玉垣鐵柵等ノ類ハ高サ地盤ヨリ三尺以下トシ其他ノ加工物ハ同一尺以下トス

二、樹木ハ高サ五尺以下トス

第十一條 墓地ニ植栽シタル樹木ハ墓地返還ト同時ニ市ノ所有ニ歸屬スルモノトス

第十二條 墓地ハ其ノ使用者ニ於テ常ニ清掃シ碑標其他ノ工作物ノ保存樹木ノ手入等ニ注意シ苟モ危險ノ虞アル場合若ハ

〔佐世保市例〕

隣接墓地ニ障害ヲ來ス虞アルトキハ直ニ之カ原因ヲ排除スヘシ

前項ノ義務ヲ履行セサルトキハ市長ハ期日ヲ指定シ之カ施設ヲ催告シ其ノ催告ヲ受ケルモ尙履行セサルトキハ市長ニ於テ必要ナル處分ヲナシ之カ爲要シタル費用ハ使用者ヲシテ辨償セシム

條例第十二條ニ依リ使用權ヲ取消シタルトキ亦同シ

第十三條 墓地使用者本市ニ居住セサルトキハ管理人ヲ定メ連署ノ上市長ニ届出ツヘシ

第十四條 墓地ニハ墓籍番號ヲ刻シタル標石ヲ立ツヘシ

附則

本則ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

(第一號様式)

佐世保市墓地使用願

佐世保市長宛

何 某

〔佐世保市例〕

佐世保市墓地制限外使用願

使用セムトスル墓地 既定使用墓地

墓地所在地 許可年月日

墓籍番號

使用地數 使用地數

既ニ許可ヲ得タル墓地ハ埋葬ノ餘地ナキニ至リタル爲更ニ右使用致度候ニ付佐世保市墓地使用料條例第三條但書(又ハ墓地使用料條例施行細則第三條)ニ依リ相願候也

年 月 日

本籍及戸主又ハ戸主トノ續柄

住 所

既ニ許可ヲ受ケタル者トノ續柄 氏 名

佐世保市長宛

備考 一追加ニシテ制限内ナル場合ハ制限外追加使用願ト書スヘシ

(第三號様式)

墓地所在地

一、使用地數

右使用致度候ニ付佐世保市墓地使用料條例及同施行細則ニ依リ相願候也

年 月 日

本籍及戸主又ハ戸主トノ續柄

住 所

第八類 手数料及使用料

縦五寸五分
(曲尺)
横四寸
(曲尺)

第 號
本籍及戸主又ハ戸主トノ續柄
住所
氏 名
契印

墓籍(小名)第 號
一、使用墓地數 墓地
右使用ヲ許可ス
年 月 日

佐世保市長 氏 名
市長
市印

備考 再交附又ハ書換交附ノ際ハ新ニ交附スル許可書ノ裏面ニ其ノ事由ヲ朱書ス

●屠場使用料條例

明治三十三年七月七日許可(長崎縣指令第三〇九號)
明治四十二年七月十九日告示第二十九號
明治四十三年一月十三日改正許可(長崎縣指令第七八號)
明治四十三年一月十七日告示第一號改正

- 第一條 本市立屠場ニ於テ獸畜ヲ屠殺スル者ニ對シ本條例ノ規定ニ依リ使用料ヲ徵收ス
- 第二條 屠場使用料ハ左ノ範圍内ニ於テ市長之ヲ定ム
- 成牛 一頭ニ付 金壹圓以上貳圓以下
 - 犢牛 一頭ニ付 金四拾錢以上壹圓以下
 - 馬 一頭ニ付 金壹圓以上貳圓以下
 - 豚 一頭ニ付 金參拾錢以上壹圓以下
 - 山羊 一頭ニ付 金貳拾錢以上五拾錢以下
 - 羊 一頭ニ付 金參拾錢以上壹圓以下
- 市ノ屠夫ヲシテ屠殺セシムル場合ハ前項ニ依リ定メタル使用料ノ外其ノ十分ノ五使用料ヲ增徴ス
- 第三條 病毒アル獸畜ヲ屠殺シタル場合ハ前條ニ依リ定メタル使用料ニ相當スルノ外同條第一項ニ依リ定メタル使用料十分ノ五ノ使用料ヲ增徴ス
- 附 則

〔佐世保市例〕

第四條 本條例ハ明治四十二年七月一日ヨリ施行ス

●屠場使用料條例施行細則

昭和四年四月一日告示第四十八號

- 第一條 本市屠場ヲ使用セムトスル者ハ使用ノ前日執務時間内ニ別記様式ノ使用申請書ニ使用料相當ノ收入證紙ヲ貼付シ市長ニ差出スヘシ但シ前日休職日ニ當ルトキ若ハ急ヲ要スル使用申請ニ在リテハ所定ノ時間ニ依ラサルコトヲ得
- 第二條 使用者ハ屠殺セムトスル獸畜ノ毛色、牝牡ノ別、年齡及産地ヲ屠場係員ニ申告スヘシ

附 則

本則ハ昭和四年度分ヨリ之ヲ施行ス
從來ノ佐世保市屠場使用規程ハ本則施行ト同時ニ之ヲ廢止ス

(面 表)

種 類	頭 數	體 重

第八類 手数料及使用料

(面 裏)

(收入證紙貼付處)

使用料金	取 扱
者印	者印

右 月 日午前 時使用ニ付規定ノ使用料ニ相當スル收入證紙貼付此段及申請候也

年 月 日 (使用者住所)

佐世保市長殿 (氏名印)

〔佐世保市例〕

●屠場使用料ニ關スル件

明治四十二年六月二十八日市參事會議決
大正十三年四月一日告示第二十九號 改正
昭和三年四月十三日告示第十八號 改正

- 本市屠場使用料條例第二條ノ使用料ハ當分ノ内左ノ通り定ム
- 成牛 一頭ニ付 金貳圓
 - 犢牛 一頭ニ付 金壹圓
 - 馬 一頭ニ付 金貳圓
 - 豚 一頭ニ付 金壹圓